

NSX6.2.4 / DS9.6SP1

vShield Endpoint PoC 環境構築ガイド

VMware株式会社
2016 年 11月

vmware®

© 2016 VMware Inc. All rights reserved.

目次

- 事前準備
- SQL インストール
- Deep Security Manager インストール
- NSX Manager インストール
- Guest Introspection サービスのデプロイ
- NSX & Deep Security 連携設定
- Deep Security サービスのデプロイ
- Security Group & Policy 設定
- 動作確認
- Appendix 1: モジュールの追加
- Appendix 2: NSX File Introspectionインストール
- Appendix 3: Notifier インストール

<本書の位置付け>

Horizon View 7 環境向けの最低限必要な設定項目を抜粋した
NSX(vShield Endpoint) / Deep Security の
PoC向け環境構築ガイドになります。
詳細な設定内容に関しては、下記のドキュメントを参照願います。

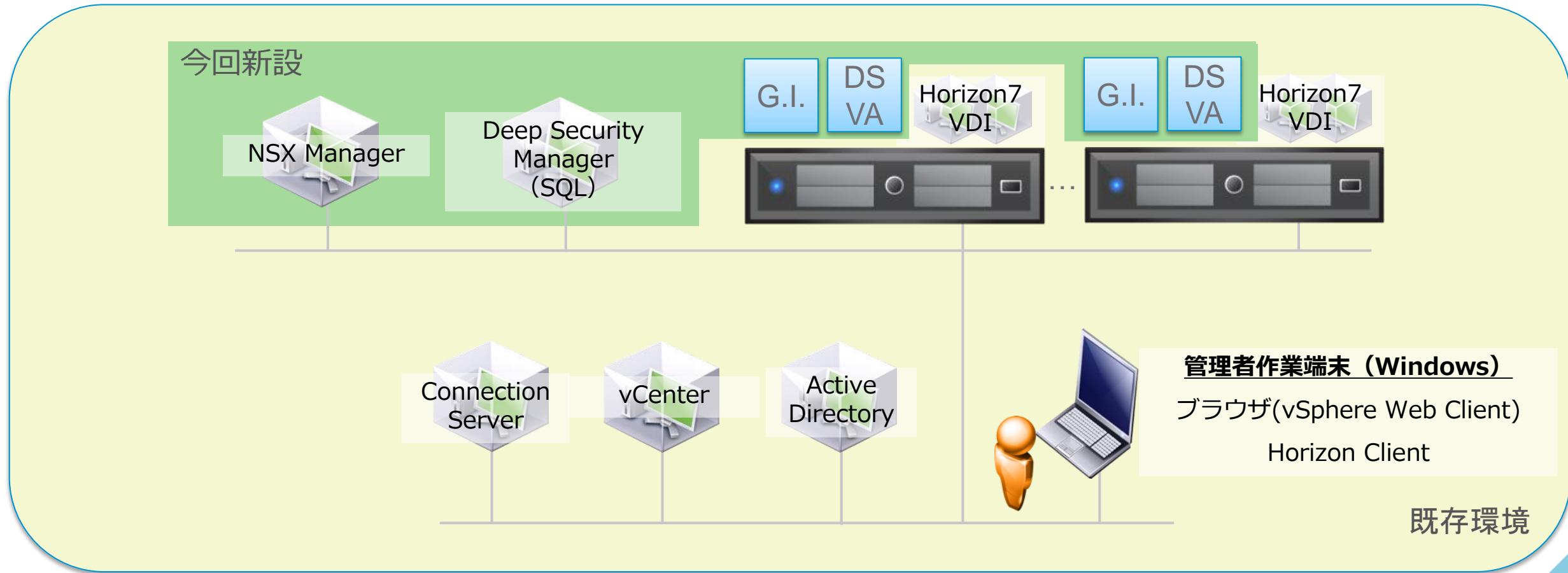
参考資料：

[http://files.trendmicro.com/jp/ucmodule/
tmds/96/sp1/Deep_Security_9.6_SP1_Install_Guide_nsx_JP.pdf](http://files.trendmicro.com/jp/ucmodule/tmds/96/sp1/Deep_Security_9.6_SP1_Install_Guide_nsx_JP.pdf)
<https://kb.vmware.com/kb/2110078>
<https://kb.vmware.com/kb/2105558>

免責：本ドキュメントは、検証環境での動作確認を目的とし、
完全な動作を保証するものではありません。

構成図

本作業に必要な環境



略語

G.I. : Guest Introspection

DSVA : Deep Security Virtual Appliance

事前準備

事前準備

本手順書に従い作業する前に以下の環境が準備されていること

- vCenter / ESXi 環境
- Horizon 7 環境 (本書では、CS と Windows7 の Instant Clone 展開環境がある前提)
- MS SQL インストール環境
- NSX Manager をダウンロードできる環境
- Deep Security コンポーネント をダウンロードできる環境

事前準備

VMware vSphere ダウンロード サイト

ホーム / VMware vSphere

ダウンロード VMware vSphere

バージョンの選択: VMware vSphere 6.0 をご購入いただいたお客様は、以下の製品ダウンロードタブから、関連するインストール パッケージをダウンロードできます。vSphere 5 からのアップグレードをご希望の場合、VMware vSphere アップグレード センターでアップグレード方法をご確認ください。

6.0

続きを読む

製品リソース

ダウンロード履歴の確認

製品情報

ドキュメント

vSphere コミュニティ (英語)

サポート リソース

無償評価版

製品のダウンロード ドライバとツール オープン ソース カスタム ISO

製品	リリース日
Essentials	
VMware ESXi 6.0 U2	2016-03-15 ダウンロードする
VMware vCenter Server 6.0 U2	2016-03-15 ダウンロードする
VMware vCenter Server 6.0 U2M (Migration)	2016-09-15 ダウンロードする
VMware vCenter Operations Manager Foundation 5.8.5	2015-03-12 ダウンロードする
Essentials Plus	
VMware ESXi 6.0 U2	2016-03-15 ダウンロードする
VMware vCenter Server 6.0 U2	2016-03-15 ダウンロードする
VMware vCenter Server 6.0 U2M (Migration)	2016-09-15 ダウンロードする
VMware NSX for vSphere 6.2.4	2016-08-25 ダウンロードする

NSX Manager ダウンロード

ダウンロード VMware NSX for vSphere 6.2.4

バージョン 6.2.4

説明 VMware NSX for vSphere 6.2.4

ドキュメント リリースノート

リリース日 2016-08-25

種類 製品バイナリ

製品リソース

ダウンロード履歴の確認

製品情報

ドキュメント

vSphere コミュニティ (英語)

サポート リソース

無償評価版

製品のダウンロード ドライバとツール オープン ソース カスタム ISO

製品および詳細

NSX for vSphere 6.2.4

ファイル サイズ: 2.561 GB

ファイル タイプ: ova

今すぐダウンロード

Name: VMware-NSX-Manager-6.2.4-4292526.ova

リリース日: 2016-08-25

ビルド番号: 4292526

NSX for vSphere 6.2.4

This is the NSX Manager Appliance in Open Virtualization Appliance Format (OVA). The NSX Manager appliance packages various NSX components such as NSX Management application, Edge, Controller and Endpoint appliances and firewall, VXLan, VDR modules. Download the NSX Manager on a computer and use vSphere Client or vSphere Web Client to deploy.

MD5SUM: a6da5c89e657569d9a7b185b1fddac

SHA1SUM: 2a02323fedf3017f8e6a5969ac7202db2567a87c

SHA256SUM: 9f08411670e3db84b28140e3282c26be3454f36fee72d466ab90bb8aaae0214c

vmware®

6

事前準備

Deep Security Manager ダウンロード

TREND MICRO Securing Your Journey to the Cloud

購入・更新 | ダウンロード | パートナー | お問い合わせ | サイトマップ

個人のお客さま 法人のお客さま セキュリティ情報 技術・研究開発 サポート

ダウンロード

製品・パッチ検索エンジン
パターンファイル情報
体験版

Deep Security Manager 9.6 SP1 Patch1 Update1

チェックリストで確実導入！ 運用後も安心！
Deep Security Support Web

他のバージョンを見る

プロダクト・アップデート

オペレーティングシステム: Windows 64bit

ダウンロード内容	リリース日付	ファイル名	サイズ(MB)
インストールプログラム Build: 4014.00 日本語版	2016-08-04	Manager-Windows-9.6.4014.x64.exe	251.65

詳細情報

このモジュールについて

ファイル名: Manager-Windows-9.6.4014.x64.exe
SHA256 checksum: 9426525a1195c01c23b159cbc3395df1daca288816a2bde960f5b3543fbd9b20

Windows 版 Deep Security Manager 9.6 Service Pack 1 Patch 1 Update 1 のマスタープログラムです。

インストールの注意事項

インストール前に、必ず **Readme** をご覧ください。また、旧バージョンからアップグレードする場合は、**こちら**も合わせてご覧ください。

Deep Security Manager (以下、DSM) 9.5 Service Pack 1 Patch 1 (Build 6006) には、データベースのスキーマの変更が含まれており、SQL Server を使用している環境にて、データベースのサイズが非常に大きい場合やマルチテナント環境の場合は、DSM のアップグレードに数時間程度の時間がかかったり、失敗する場合があります。

そのため、アップグレード前には必ずデータベースをバックアップし、こちらの製品 Q&A (日本語版) かこちらの製品 Q&A (英語版) に記載された手順を実施して頂くことを推奨いたします。

Notifier ダウンロード

インストールプログラム	2016-09-08	Notifier-Windows-9.6.2-7050.i386.msi	6.8
Build: 7050.00 日本語版			

詳細情報

このモジュールについて

ファイル名: Notifier-Windows-9.6.2-7050.i386.msi
SHA256 checksum: 3a1e22f5b24a6e9b5981137a19f103dfba62ad519a37b30383c37ba84657ebff

Windows 32 bit 版 Deep Security Notifier のインストーラです (64bit 環境にもインストールすることができます)。
このインストーラは Deep Security Agent 9.6 Service Pack 1 Patch 1 Update 2 の環境でもご利用いただけます。

インストールの注意事項

インストール前に、必ず **Readme** をご覧ください。

特記事項

古いビルドで発生した問題は、最新ビルドにアップグレードすることで改善する場合があります。
プログラムのビルドは可能な限り最新に保っていただきますようお願いします。
なお、各コンポーネント間のビルドが異なる場合のサポートポリシーについては、**こちら**をご覧ください。

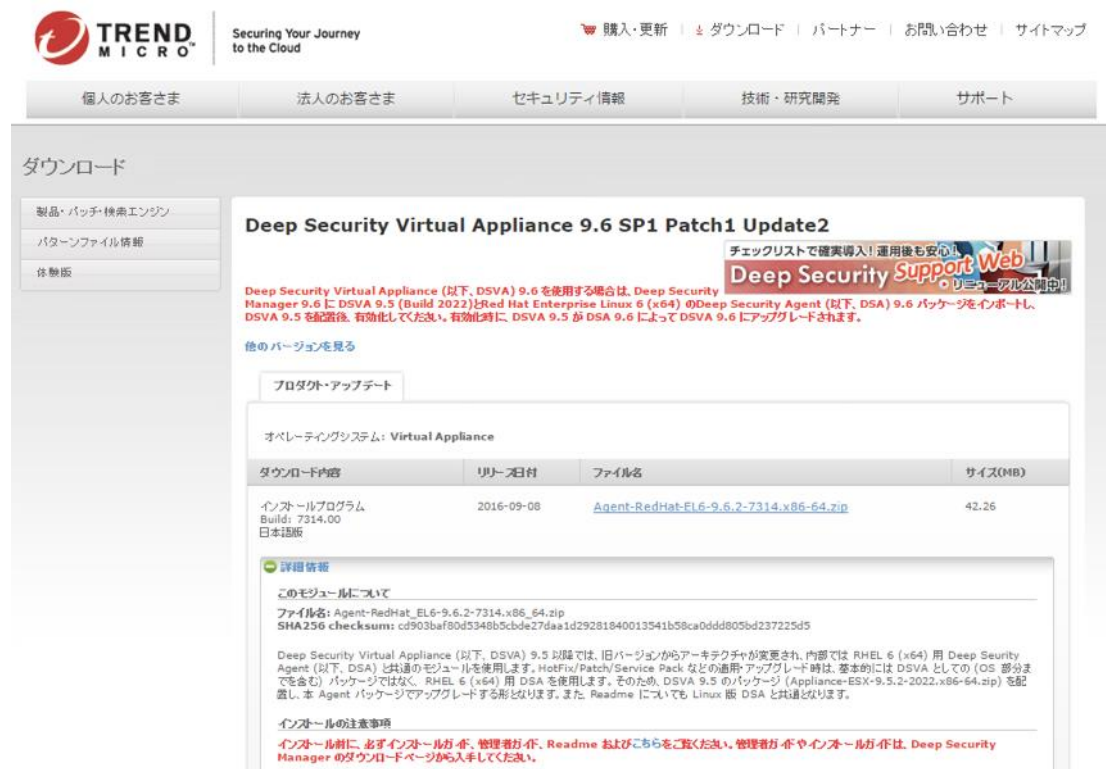
ドキュメント & サポート

- [Readme](#)

オペレーティングシステム: Windows 64bit

事前準備

DSVA ダウンロード(1/2)



TREND MICRO Securing Your Journey to the Cloud

購入・更新 | ダウンロード | パートナー | お問い合わせ | サイトマップ

個人のお客様 | 法人のお客様 | セキュリティ情報 | 技術・研究開発 | サポート

ダウンロード

製品・パッチ・検索エンジン
パターンファイル情報
体験版

Deep Security Virtual Appliance 9.6 SP1 Patch1 Update2

チェックリストで確実導入！運用後も安心！
Deep Security Support Web リニューアル公開中！

Deep Security Virtual Appliance (以下、DSVA) 9.6 を使用する場合は、Deep Security Manager 9.6 に DSVa 9.5 (Build 2022) と Red Hat Enterprise Linux 6 (x64) の Deep Security Agent (以下、DSA) 9.6 パッケージをインポートし、DSVA 9.5 を配置後、有効化してください。有効化時に、DSVA 9.5 が DSA 9.6 によって DSVa 9.6 にアップグレードされます。

他のバージョンを見る

プロダクト・アップデート

オペレーティングシステム: Virtual Appliance

ダウンロード内容	リリース日付	ファイル名	サイズ(MB)
インストールプログラム Build: 7314.00 日本語版	2016-09-08	Agent-RedHat-EL6-9.6.2-7314.x86-64.zip	42.26

詳細情報

このモジュールについて

ファイル名: Agent-RedHat-EL6-9.6.2-7314.x86_64.zip
SHA256 checksum: cd903baf80d5348b5c8de27daa1d29281840013541b58ca0dd805bd237225d5

Deep Security Virtual Appliance (以下、DSVA) 9.5 以降では、旧バージョンからアーキテクチャが変更され、内部では RHEL 6 (x64) 用 Deep Security Agent (以下、DSA) と共通のモジュールを使用します。HotFix/Patch/Service Pack などの通称「アップグレード」時は、基本的には DSVa としての (OS 部分までを含む) パッケージではなく、RHEL 6 (x64) 用 DSA を使用します。そのため、DSVA 9.5 のパッケージ (Appliance-ESX-9.5.2-2022.x86-64.zip) を配置し、本 Agent パッケージでアップグレードする形となります。また、Readme についても Linux 版 DSA と共通となります。

インストールの注意事項

インストール前、必ずインストールガイド、管理者ガイド、Readme およびこちらをご覧ください。管理者ガイドやインストールガイドは、Deep Security Manager のダウンロードページから入手してください。

DSVA ダウンロード(2/2)

Deep Security Virtual Appliance 9.5



チェックリストで確実導入！運用後も安心！
Deep Security Support Web リニューアル公開中！

Deep Security Virtual Appliance (以下、DSVA) 9.6 を使用する場合は、Deep Security Manager 9.6 に DSVa 9.5 (Build 2022) と Red Hat Enterprise Linux 6 (x64) の Deep Security Agent (以下、DSA) 9.6 パッケージをインポートし、DSVA 9.5 を配置後、有効化してください。有効化時に、DSVA 9.5 が DSA 9.6 によって DSVa 9.6 にアップグレードされます。

他のバージョンを見る

プロダクト・アップデート | Patch

オペレーティングシステム: Virtual Appliance

ダウンロード内容	リリース日付	ファイル名	サイズ(MB)
インストールプログラム Build: 2022.00 日本語版	2015-01-08	Appliance-ESX-9.5.2-2022.x86-64.zip Deep Security Virtual Appliance 9.5 (Build 2022)	548

詳細情報

このモジュールについて

ファイル名: Appliance-ESX-9.5.2-2022.x86_64.zip
SHA256 checksum: c659e8953a49a710c6a943a1c355a966856ba784bda9c4372d0c0e2c8caeb69a

VMware ESXi 5.x 用 Filter Driver については、[Patch]タブの[詳細情報]セクションから取得ください。

Deep Security Virtual Appliance 9.5 を最新バージョンにアップグレードする場合は以下モジュールが必要です。

- Deep Security Virtual Appliance 9.5 (Build 2022)
- 最新の Deep Security Agent 9.5 ([Patch]タブに公開されています。)
- 最新の Filter Driver ([Patch]タブに公開されています。)

Deep Security Virtual Appliance 9.6 にアップグレードする場合は以下モジュールが必要です。

- Deep Security Virtual Appliance 9.5 (Build 2022)
- 最新の Deep Security Agent 9.6 (Deep Security Virtual Appliance 9.6 に公開されています。)

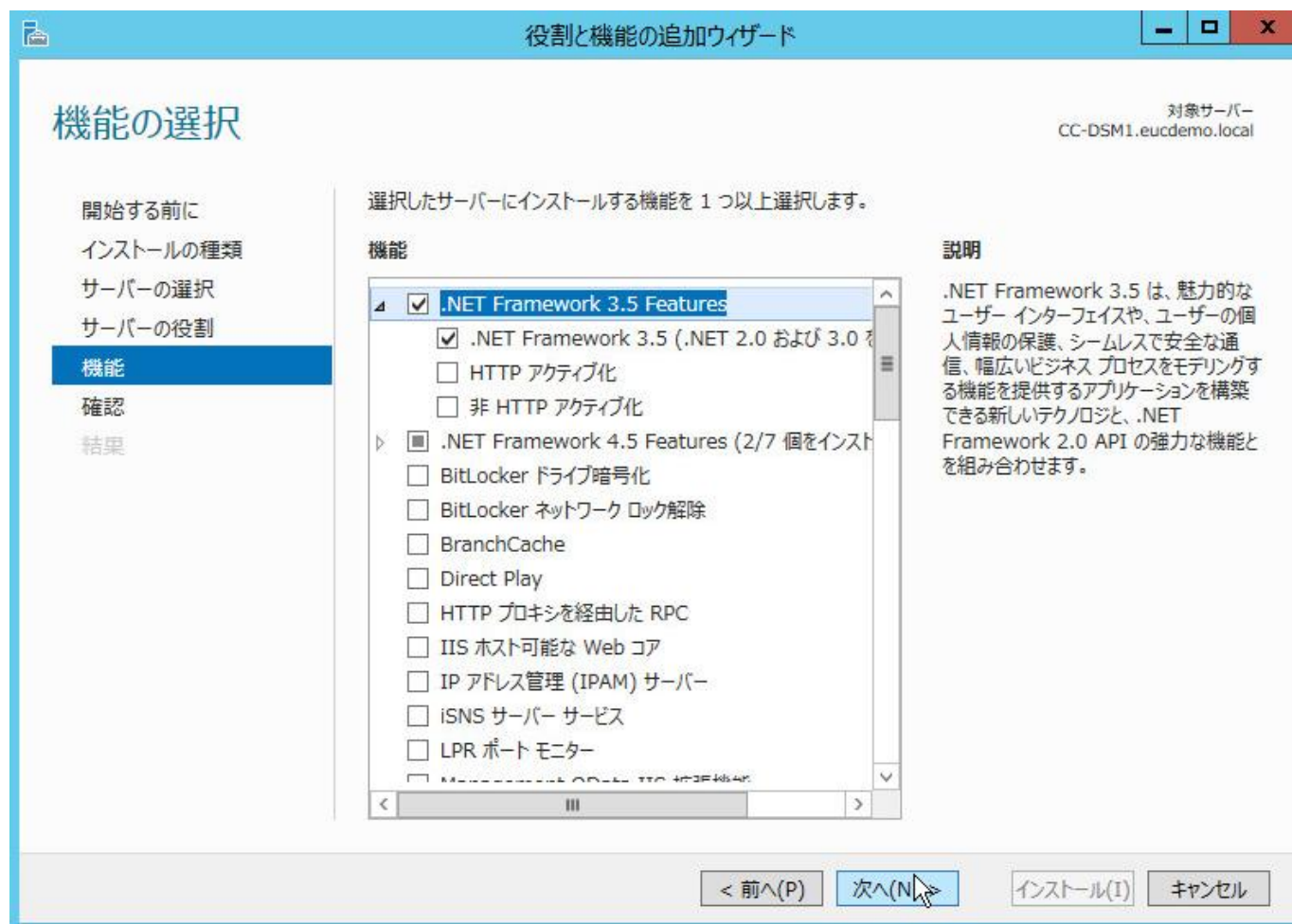
インストールの注意事項

Deep Security Virtual Appliance (以下、DSVA) 9.5 には以下の問題が確認されています。本問題は、DSVA 9.5 Service Pack 1 Patch 1 (Build 4017) にて修正されていますので、DSVA 9.5 Service Pack 1 (Build 9.5.3.2754) 以下をご利用のお客様は、DSVA 9.5 Service Pack 1 Patch 1 以降へアップグレードしてください。

SQL インストール

SQL インストール

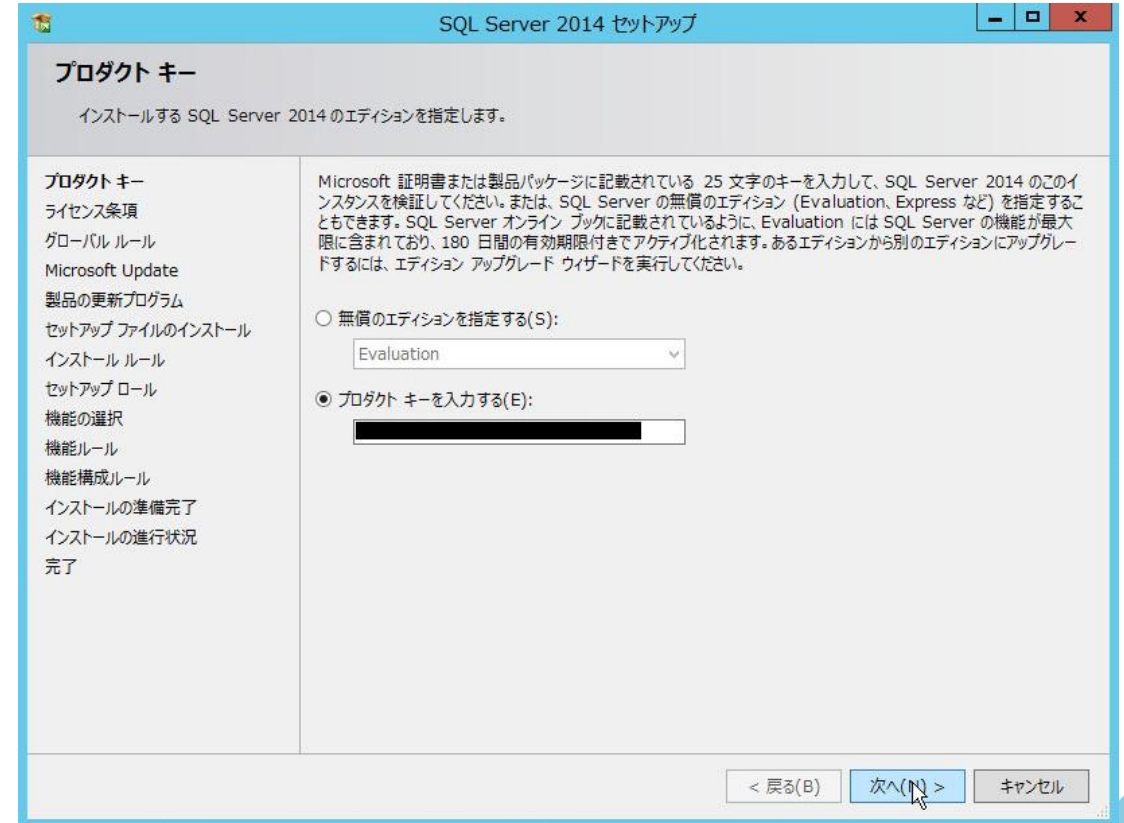
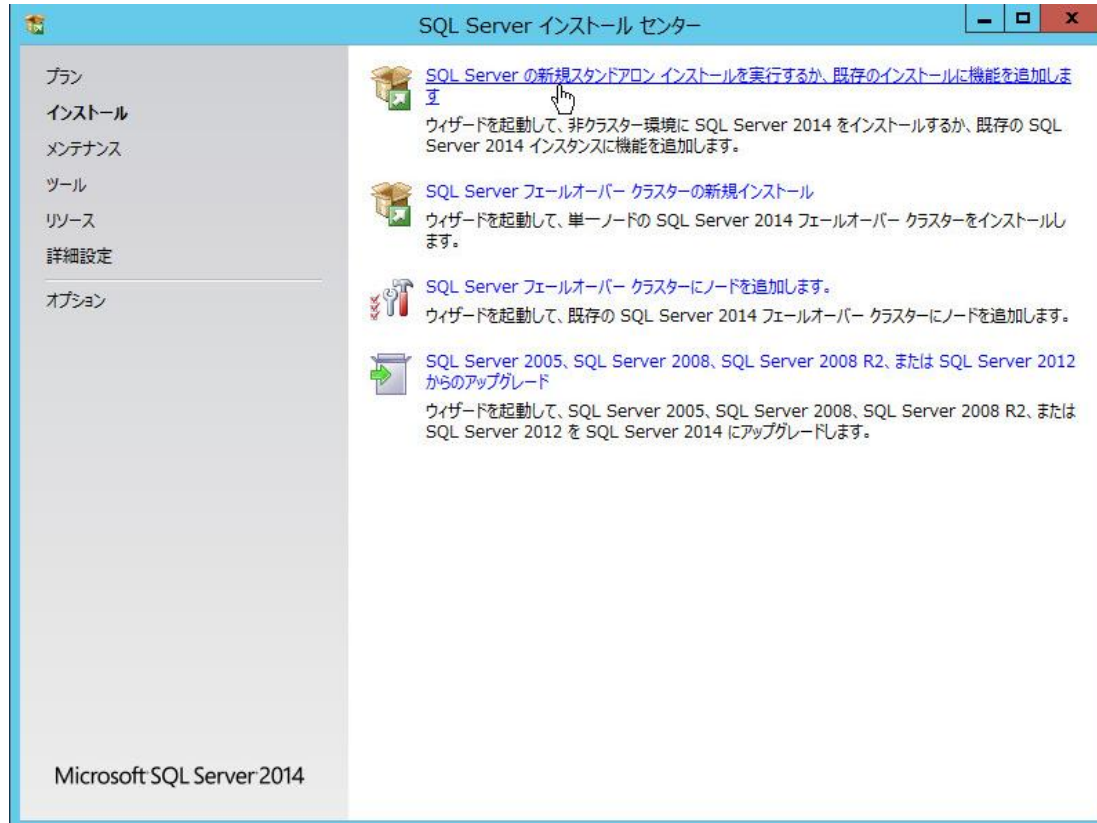
(SQLインストール時に求められるため) NET Framework 3.5 の事前インストール



SQL インストール

インストール > スタンドアロンインストール

ライセンスキー登録 > 次へ

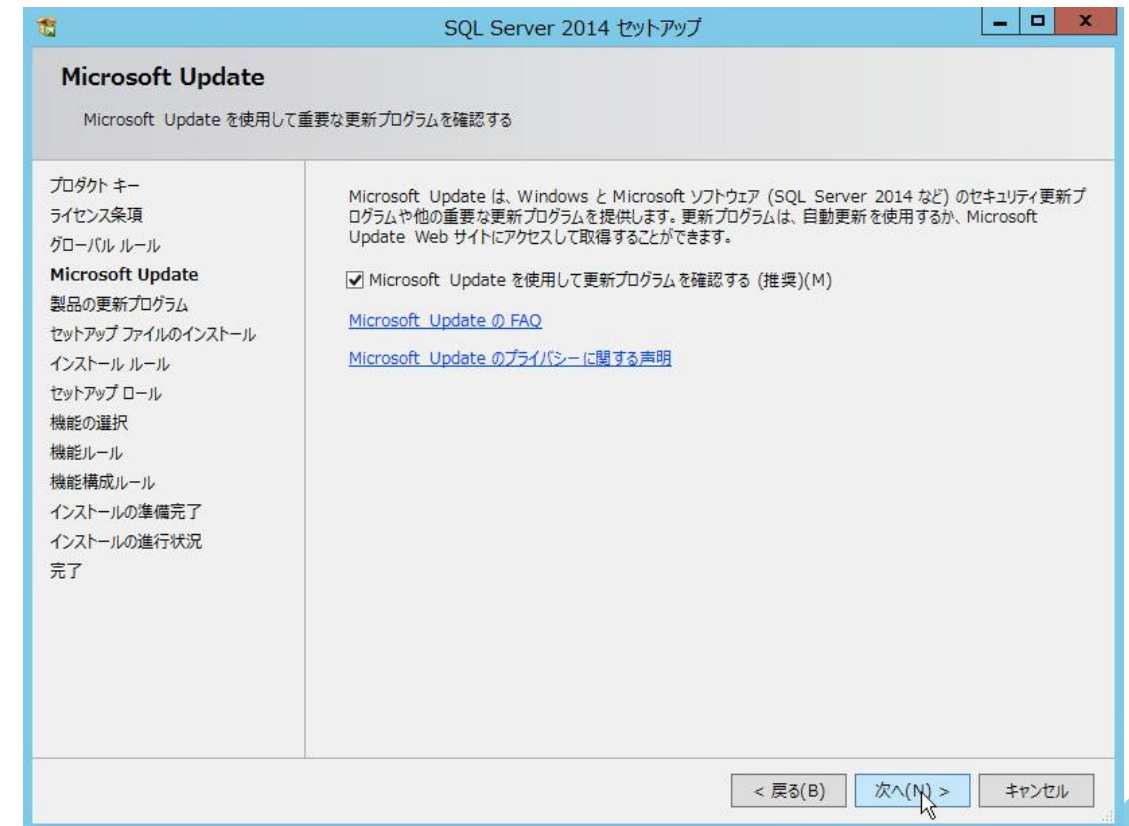


SQL インストール

同意 > 次へ

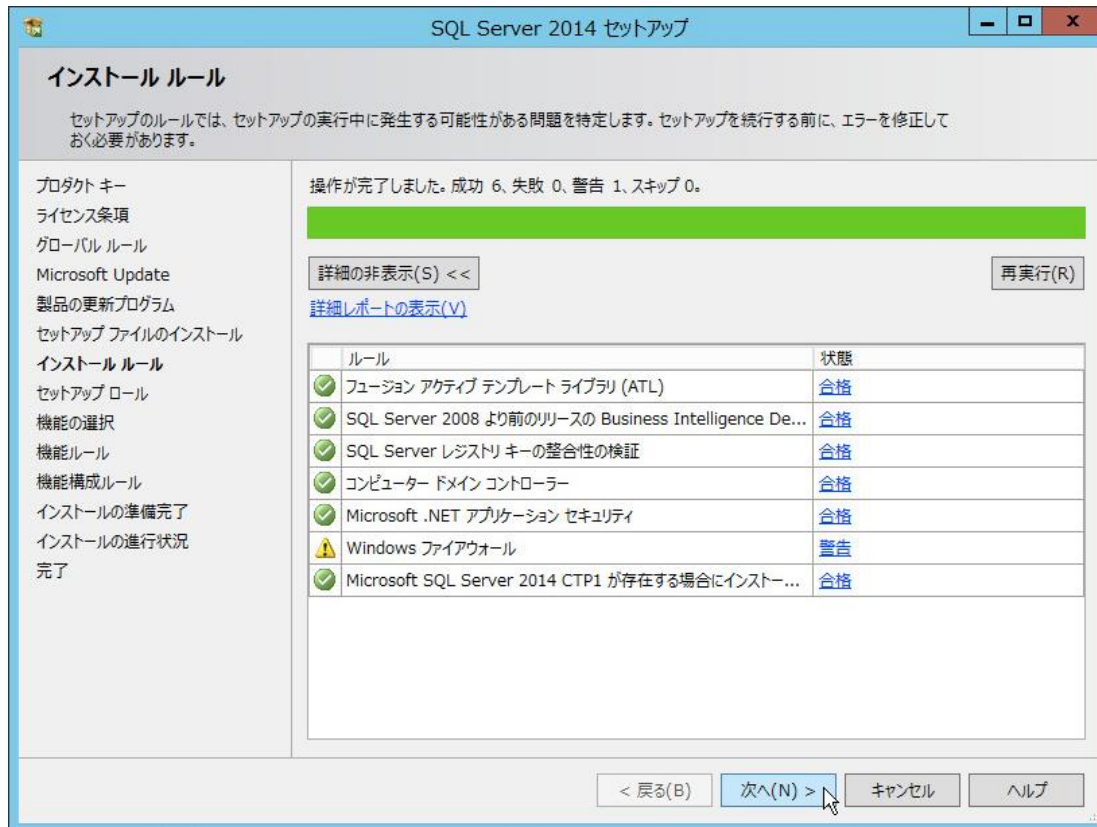


Update チェック > 次へ

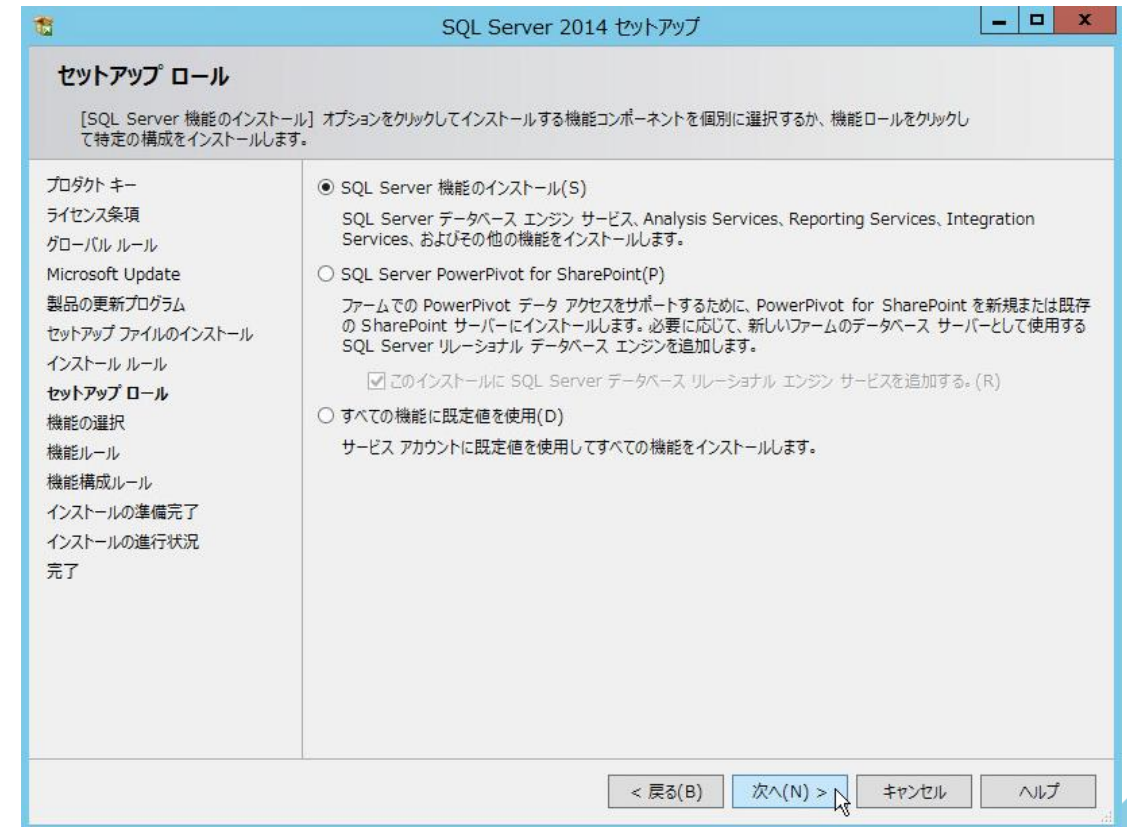


SQL インストール

次へ

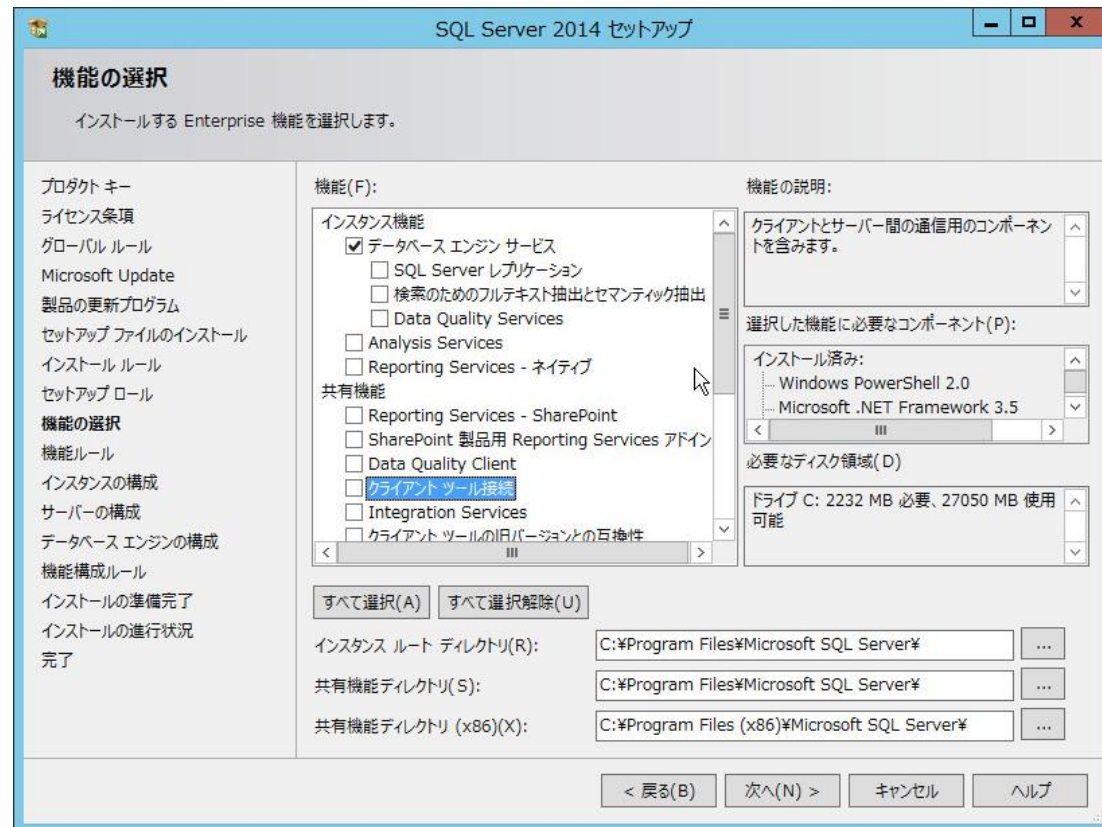


次へ

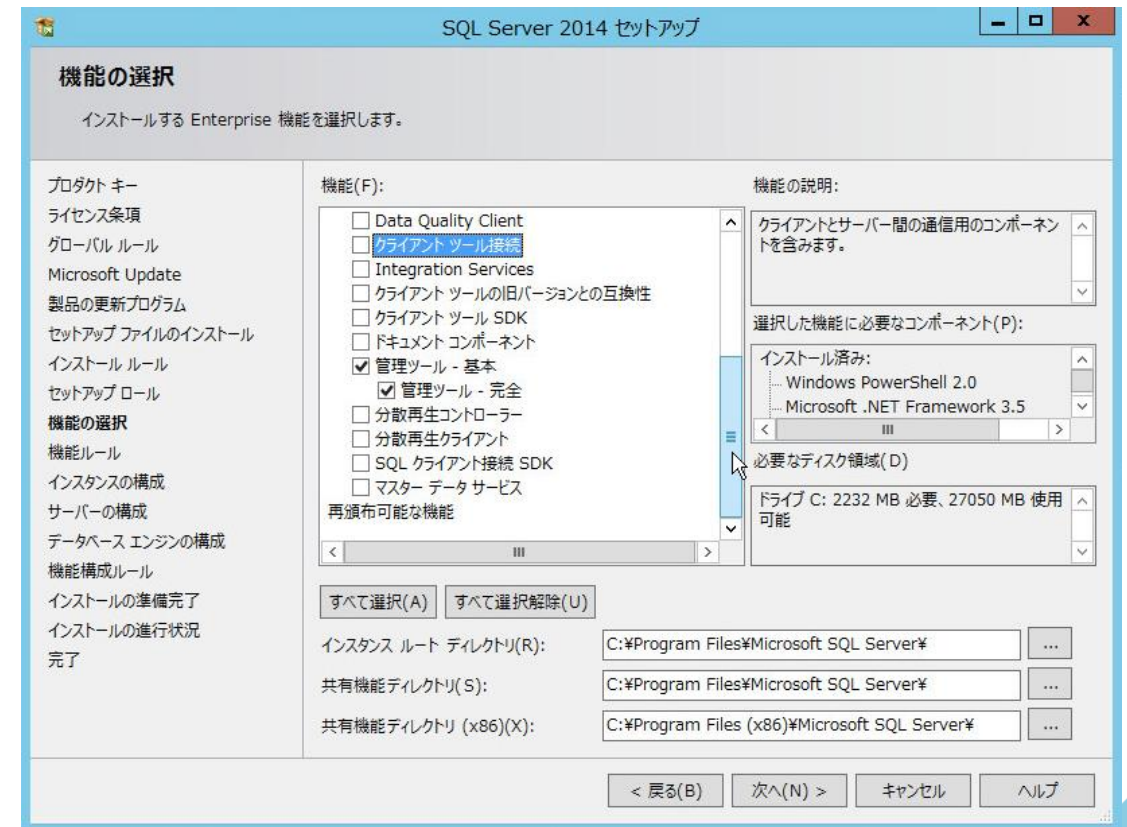


SQL インストール

DB エンジンサービス チェック

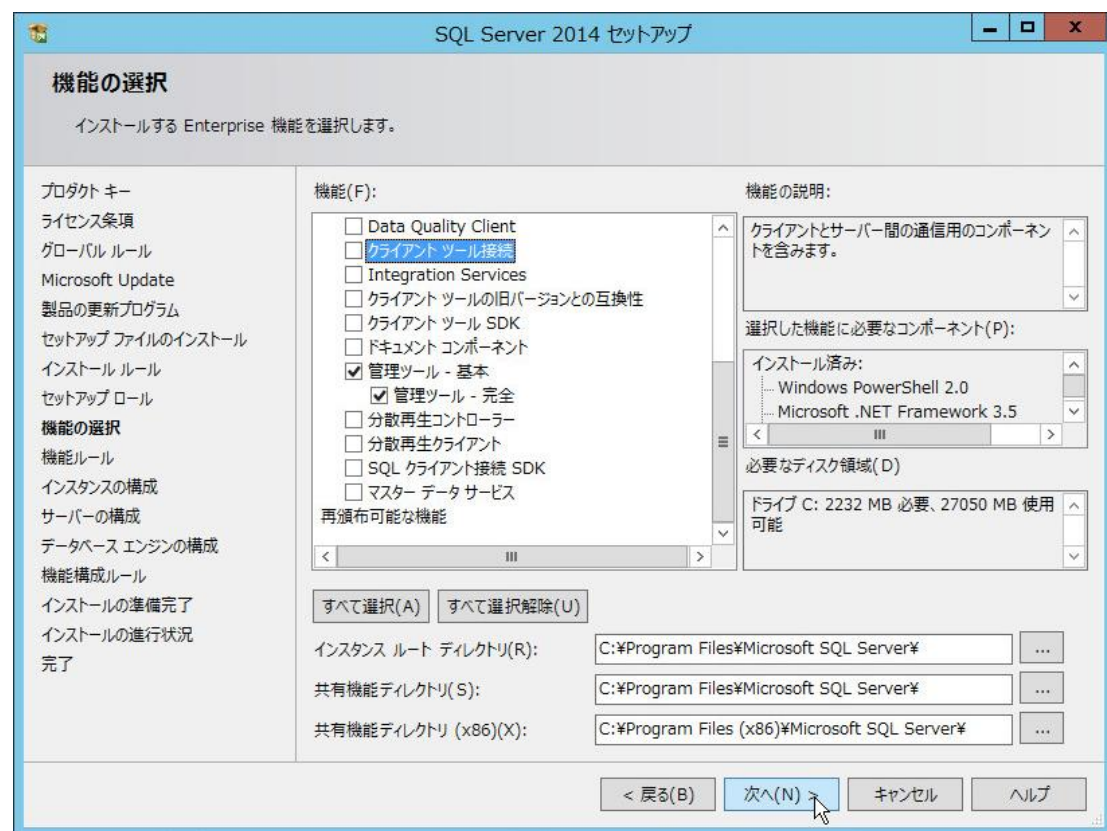


管理ツール基本 チェック

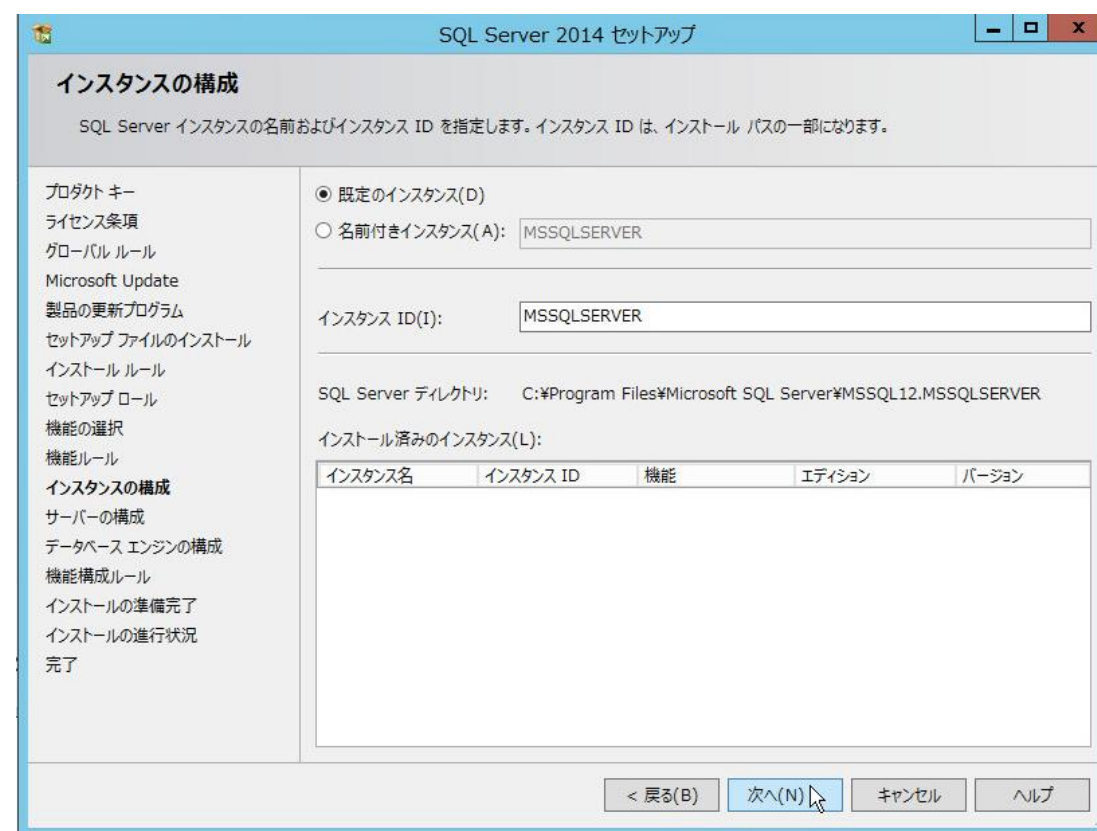


SQL インストール

次へ



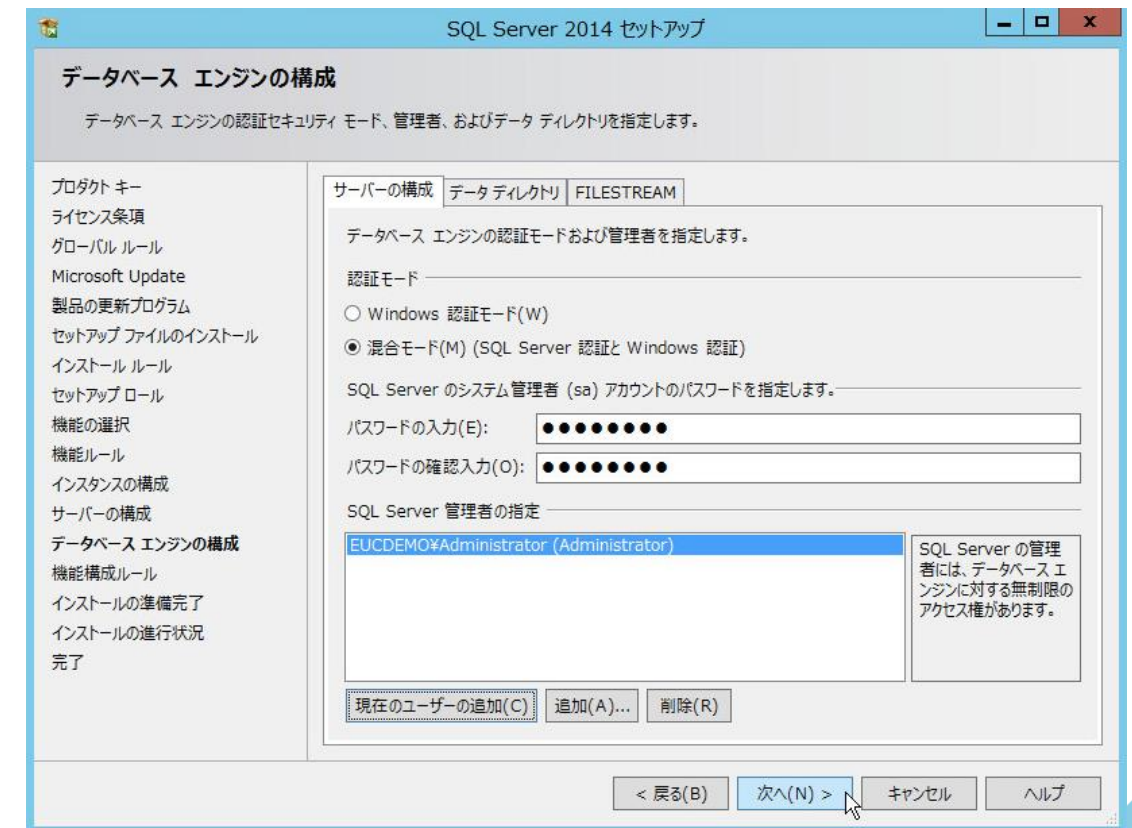
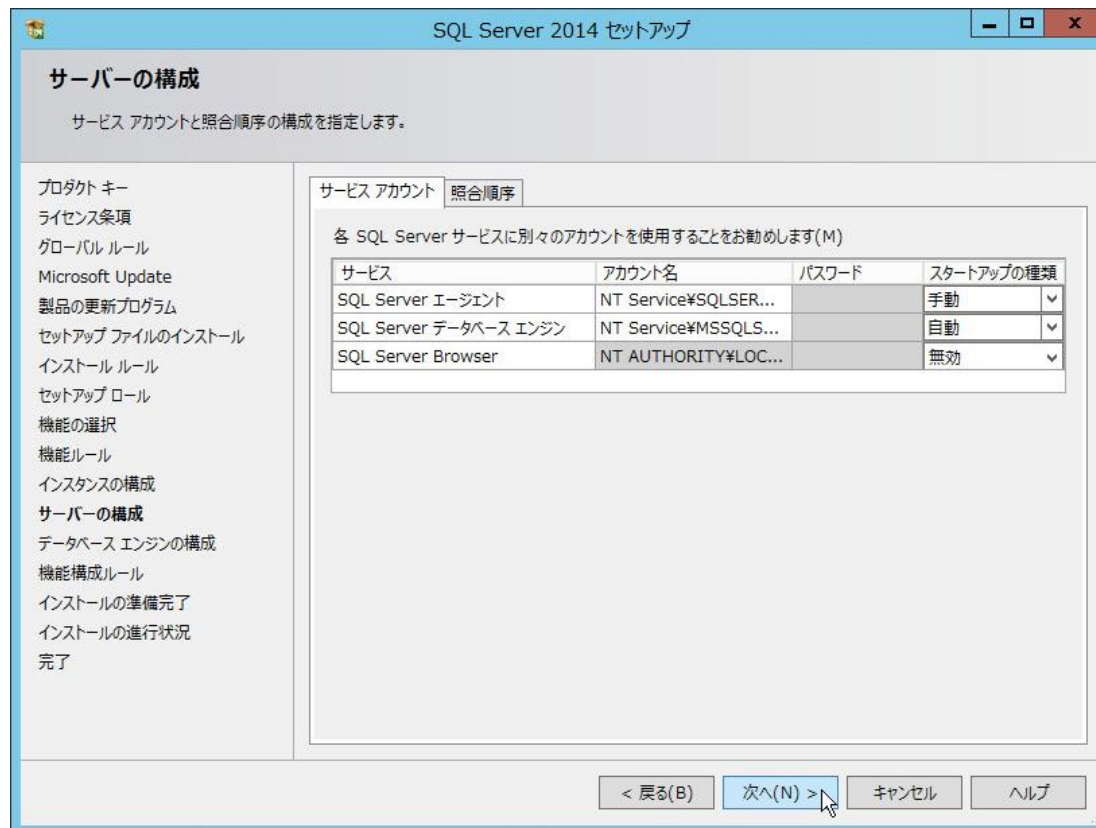
次へ



SQL インストール

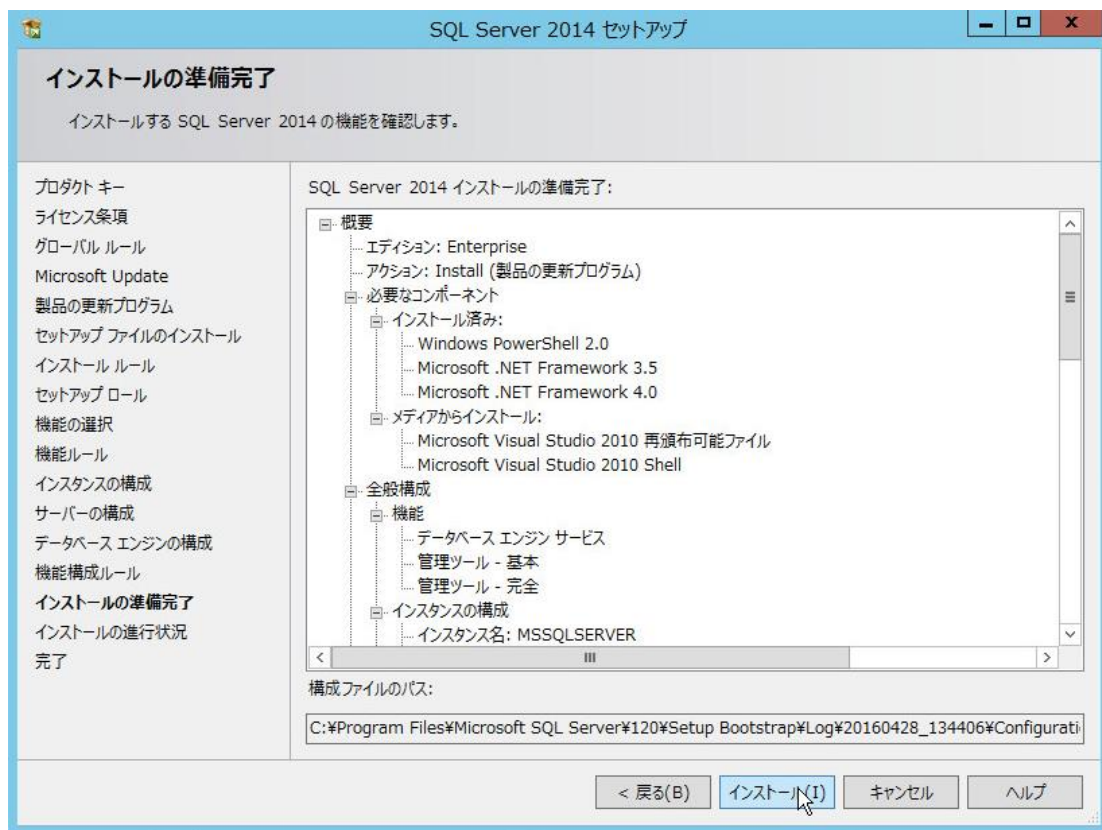
次へ

混合モード > SA パスワードを記載 > 現在のユーザの追加 > 次へ

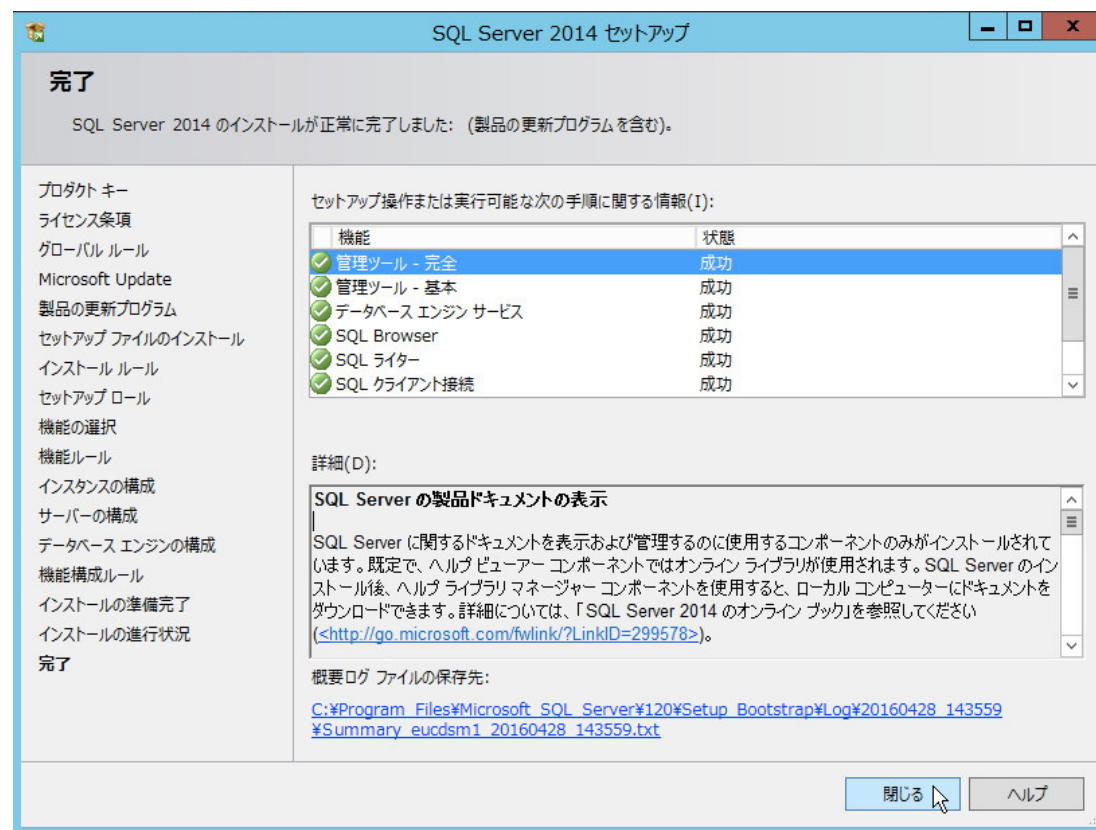


SQL インストール

インストール

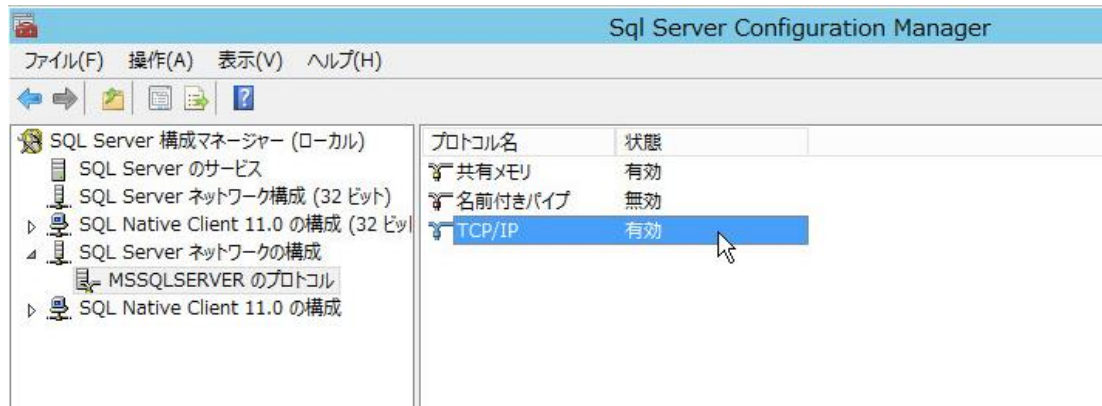


閉じる

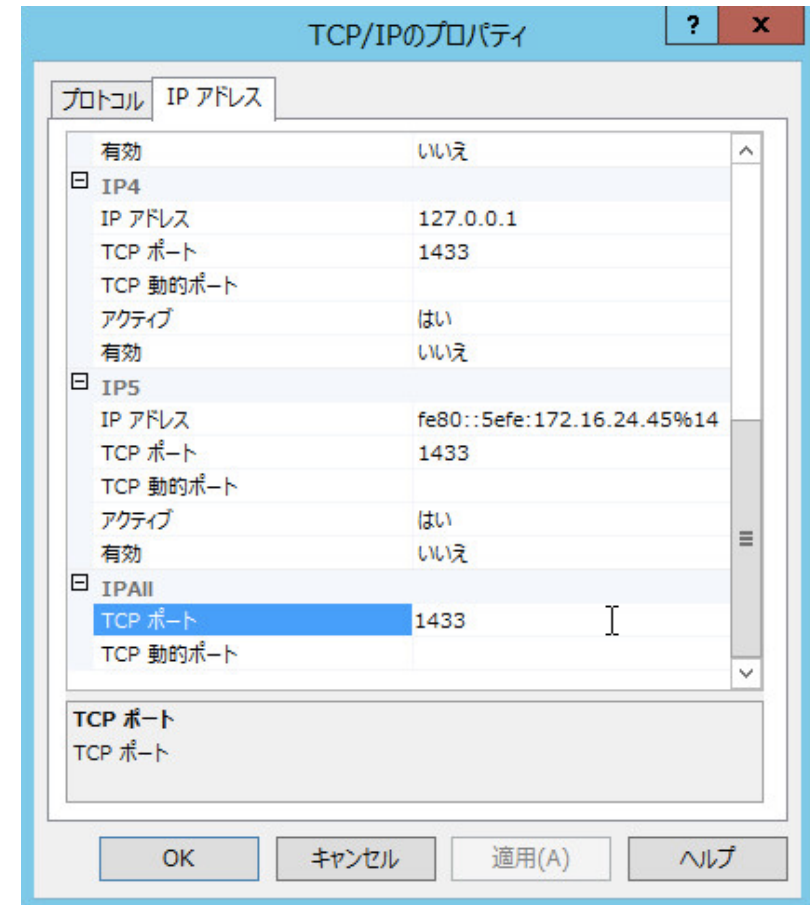


SQL インストール

(Server Configuration Manager起動) >
MSSQLServerのプロトコル > TCP/IP 有効
を確認



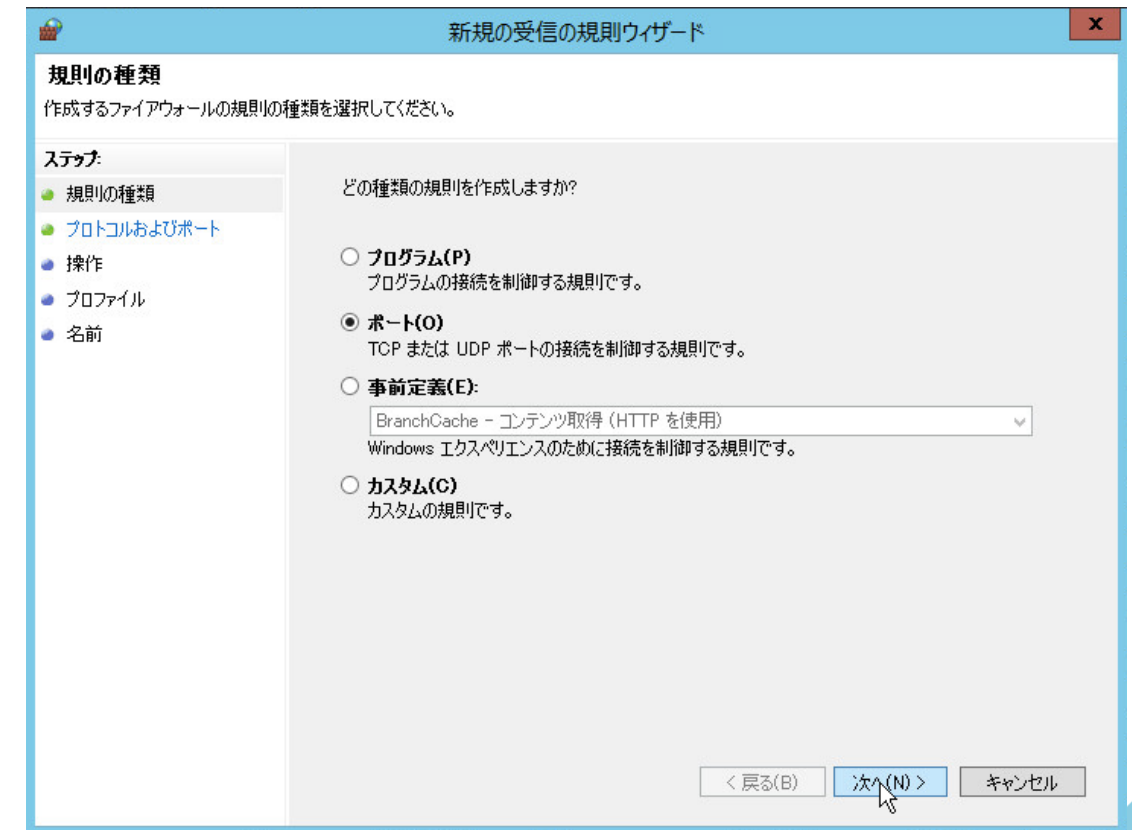
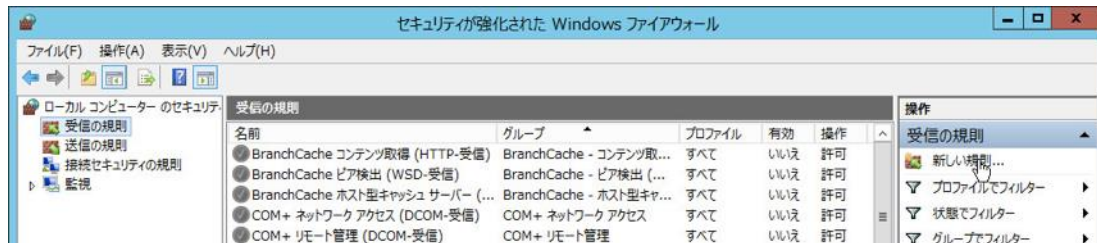
(TCP/IPを右クリック) > プロパティ > IPAll
でTCPポート: 1433を確認



SQL インストール

Windowsファイアウォール > 受信の規則 > 新しい規則

ポート > 次へ



SQL インストール

TCP 選択 > 特定のローカルポート >
1433 記載 > 次へ

新規の受信の規則ウィザード

プロトコルおよびポート
この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

ステップ:
● 規則の種類
● プロトコルおよびポート
● 操作
● プロファイル
● 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

☒ TCP(T)
☐ UDP(U)

すべてのローカル ポートと特定のローカル ポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。

☐ すべてのローカル ポート(A)
☒ 特定のローカル ポート(S):
例: 80、443、5000-5010

< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

接続を許可する > 次へ

新規の受信の規則ウィザード

操作
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:
● 規則の種類
● プロトコルおよびポート
● 操作
● プロファイル
● 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

☒ 接続を許可する(A)
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

☐ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

カスタマイズ(Z)...

☐ 接続をブロックする(K)

< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

SQL インストール

次へ

(F/Wルールの名前を定義) > 完了

新規の受信の規則ウィザード

プロフィール
この規則が適用されるプロフィールを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロフィール
- 名前

この規則はいつ適用しますか?

- ☒ **ドメイン(D)**
コンピュータがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。
- ☒ **プライベート(P)**
コンピュータが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。
- ☒ **パブリック(U)**
コンピュータがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。

< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

新規の受信の規則ウィザード

名前
この規則の名前と説明を指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロフィール
- 名前

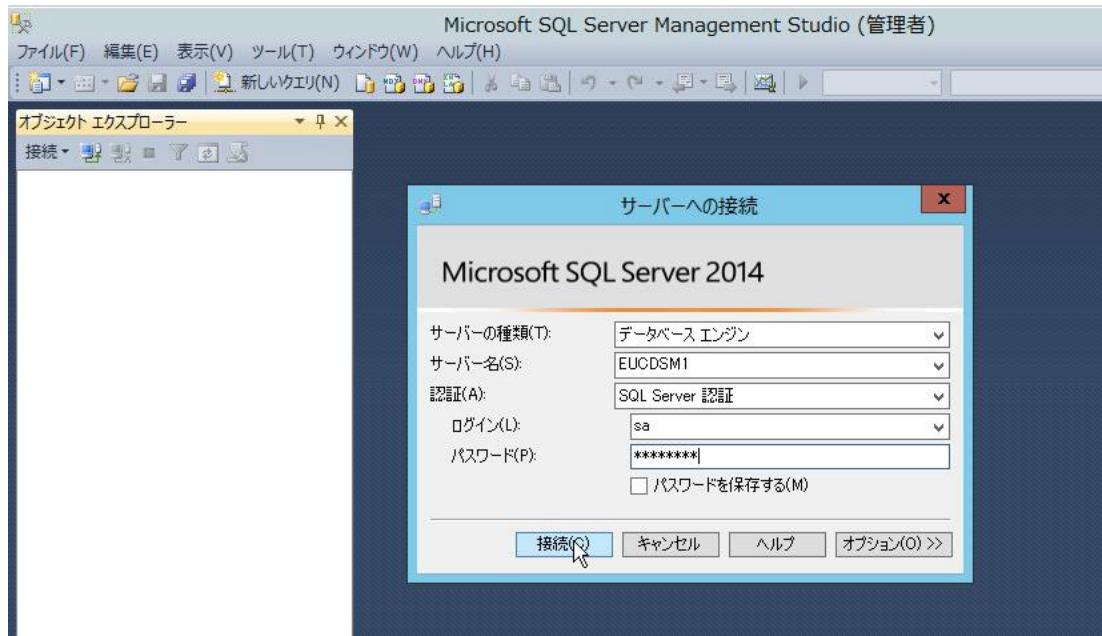
名前(N):
SQL

説明 (オプション)(O):

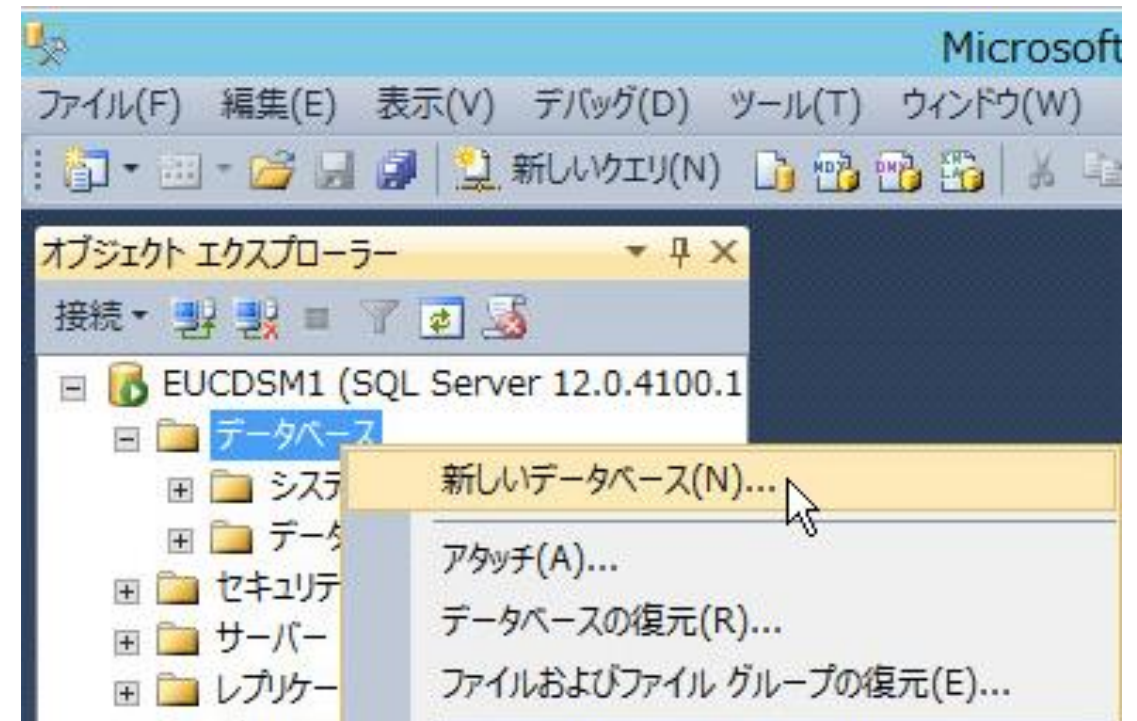
< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

SQL インストール

SQL Management Studio > sa ログイン



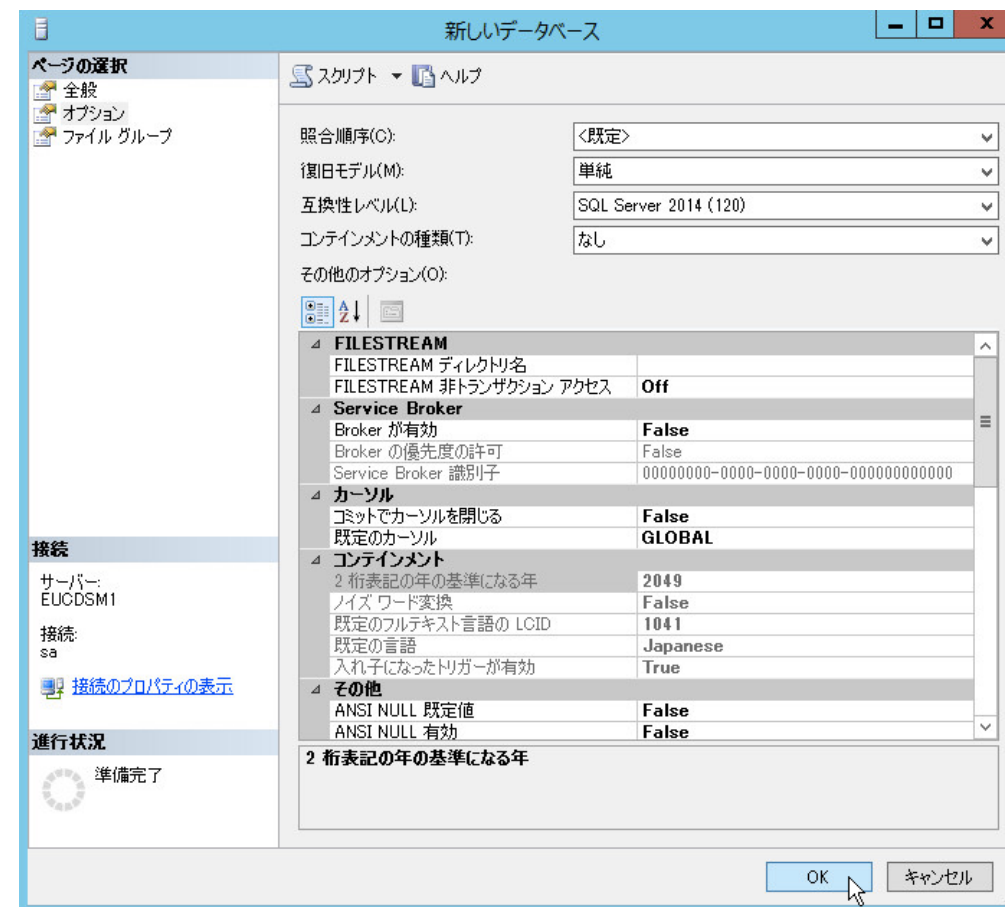
データベース (右クリック) > 新しいDB



SQL インストール

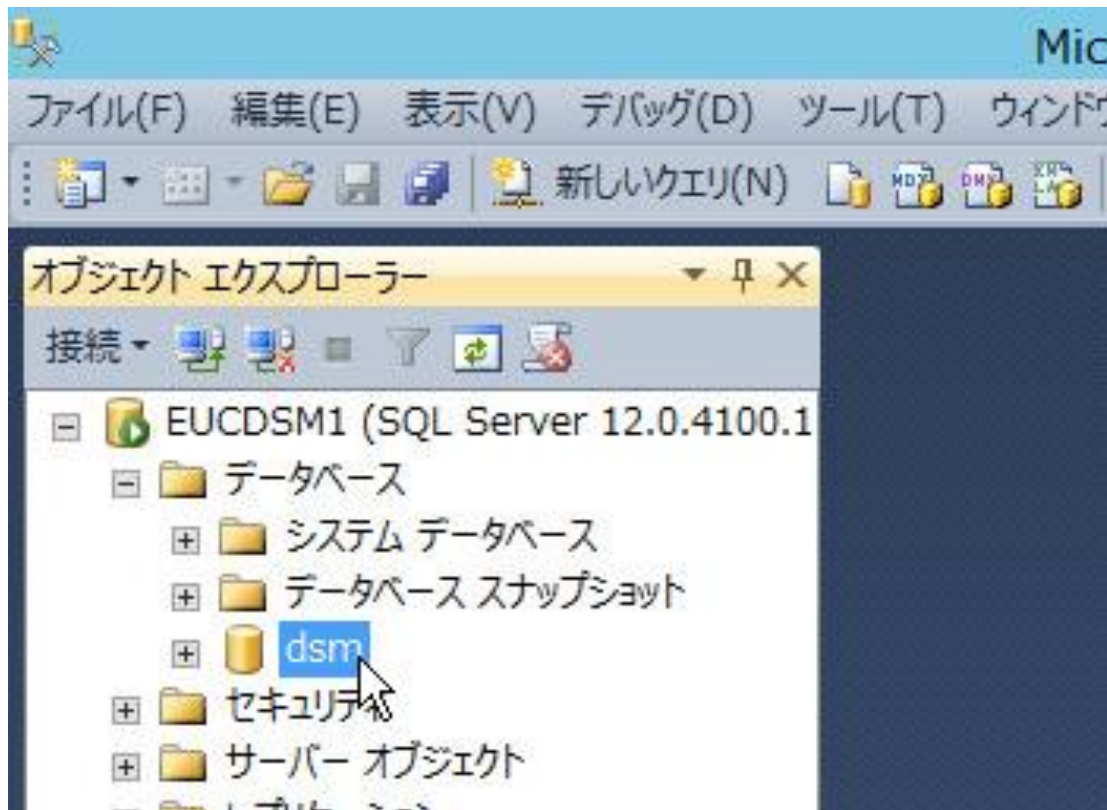
DB名 : dsm

オプション > 復旧モデル:単純 > OK
(※PoC環境のため)



SQL インストール

dsm があることを確認

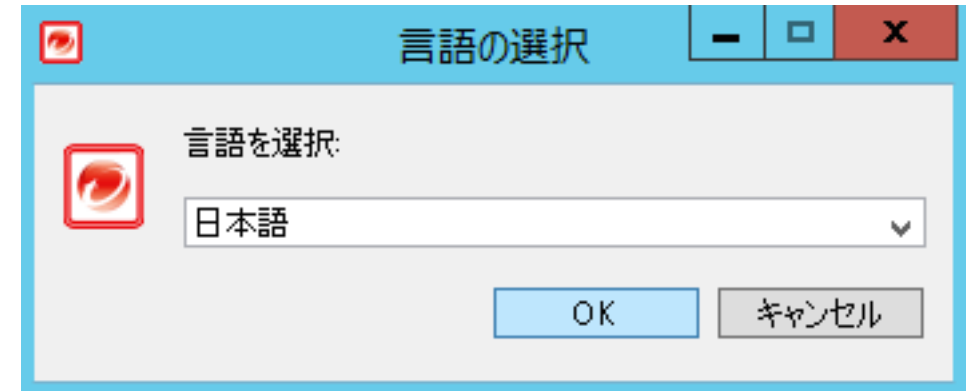
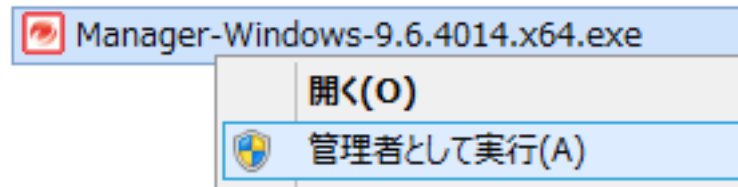


Deep Security Manager インストール

Deep Security Manager インストール

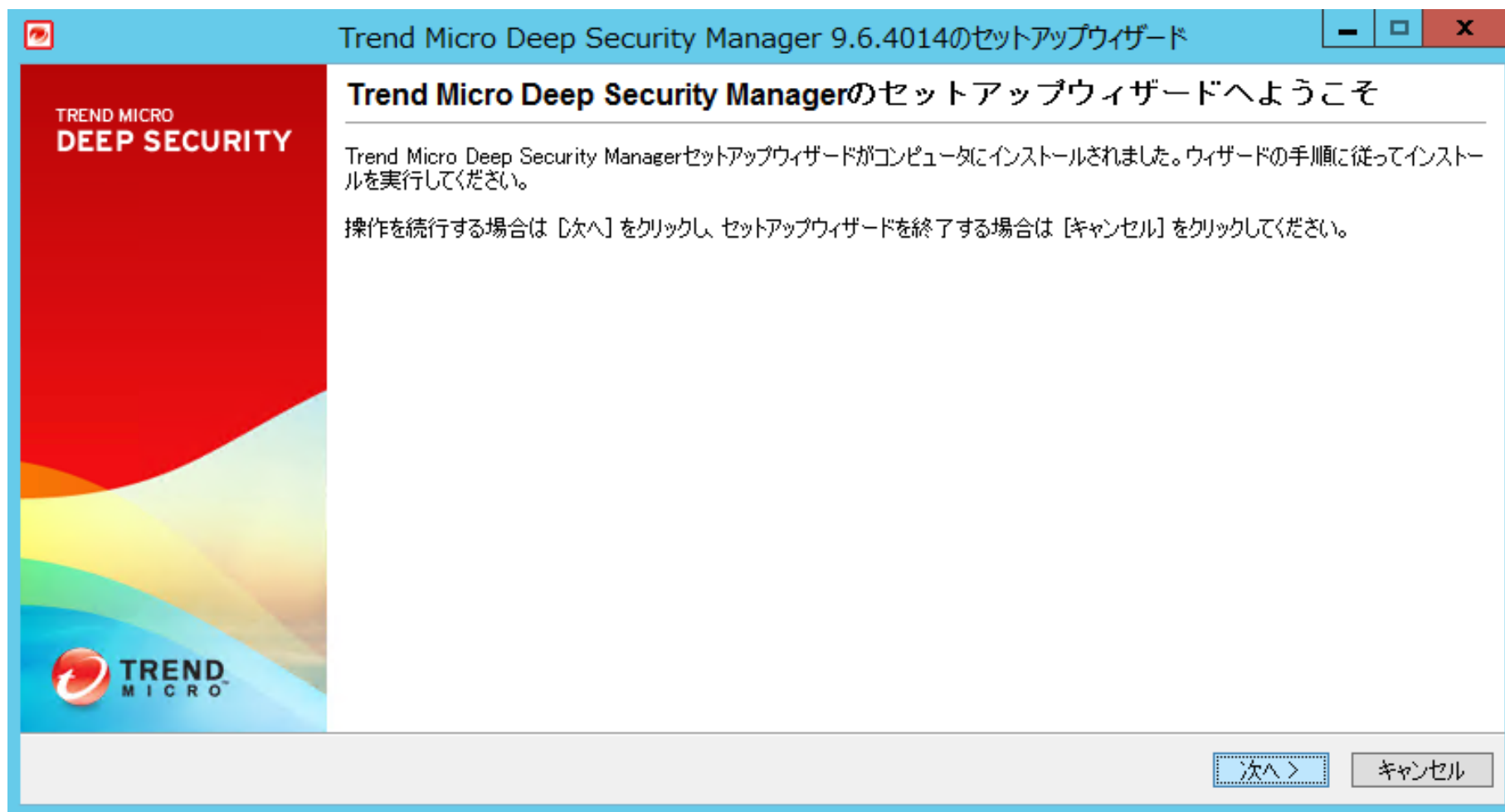
インストーラー実行

OK



Deep Security Manager インストール

次へ



Deep Security Manager インストール

同意 > 次へ

Trend Micro Deep Security Manager 9.6.4014のセットアップウィザード

使用許諾契約書

次の使用許諾契約書をよくお読みください。

使用許諾契約書について

本製品の使用許諾契約の内容につきましては、製品インストールメディア内に格納されている使用許諾契約書をご確認ください。

格納されている使用許諾契約書と当社Webサイトに掲載している使用許諾契約書に異なる定めがあった場合には、当社Webサイトに掲載されている使用許諾契約書が優先されます。

また、CD-ROMなどのインストールメディアのない製品やサービスにつきましては、当社Webサイトに掲載している契約書をご確認くださいようお願いいたします。

<http://www.trendmicro.co.jp/jp/business/buy/permit/index.html>

トレンドマイクロ株式会社

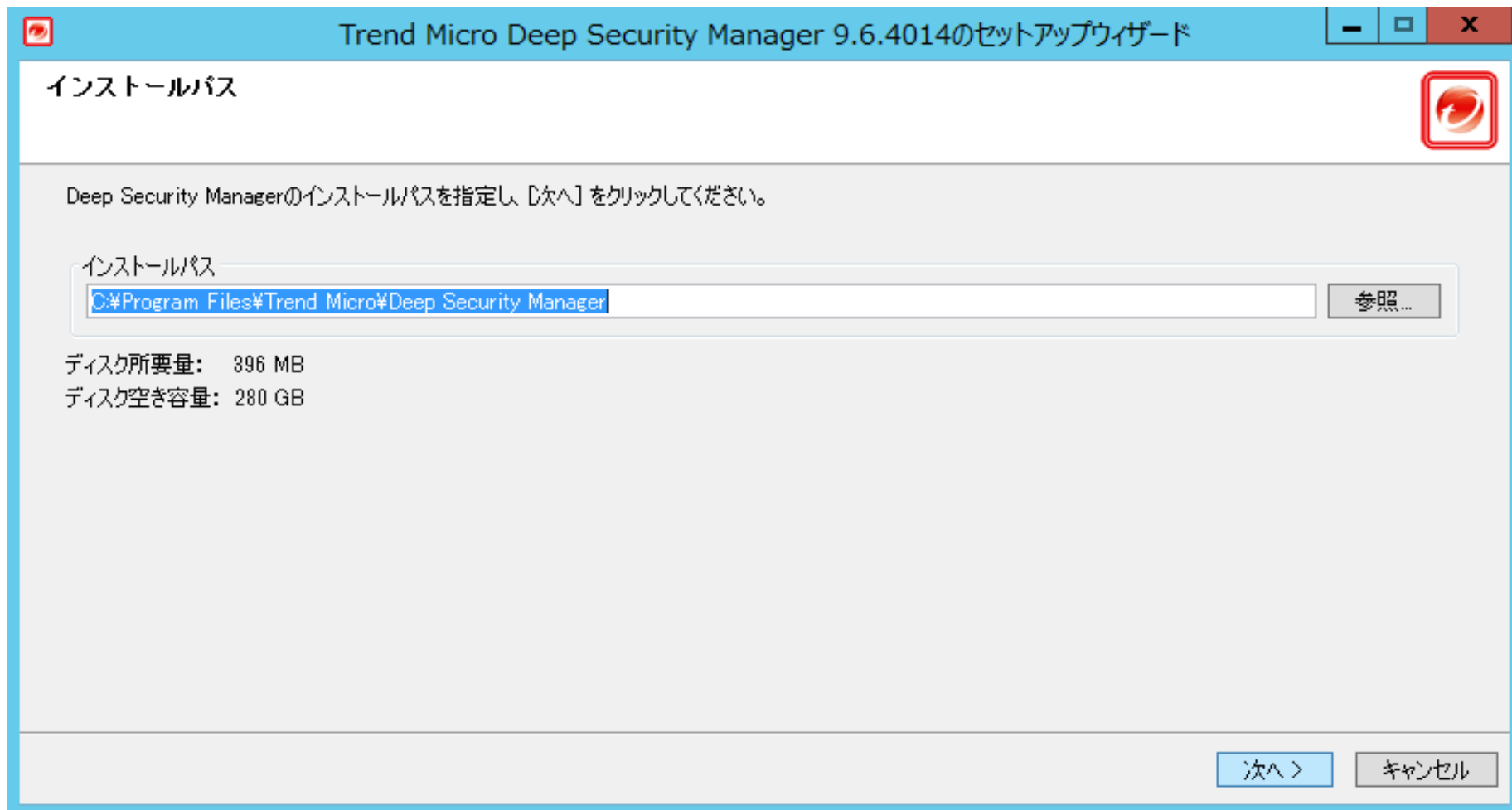
☒ トレンドマイクロの使用許諾契約の全条項に同意します

☐ トレンドマイクロの使用許諾契約の条項に同意しません

< 戻る 次へ > キャンセル

Deep Security Manager インストール

次へ



Deep Security Manager インストール

“ユーザ名”、“パスワード” 入力 > 次へ

Trend Micro Deep Security Manager 9.6.4014のセットアップウィザード

データベース

データベースおよび接続設定を指定してください。

オプション

☒ Microsoft SQL Server ☐ Oracle Database ☐ 組み込み (評価目的のみ)

接続設定

ホスト名: CC-DSM1

データベース名: dsm

トランスポート: ☒ TCP ☐ 名前付きパイプ

ユーザ名: sa

パスワード: ●●●●●●●●

詳細

< 戻る 次へ > キャンセル

Deep Security Manager インストール

コード入力 > 次へ

Trend Micro Deep Security Manager 9.6.4014のセットアップウィザード

製品のアクティベーション

アクティベーションコードを入力してください。

☒ 複数の保護モジュール用の単一アクティベーションコード

すべての保護モジュール - - - - - -

☐ 各保護モジュール用の個別アクティベーションコード

不正プログラム対策とWebレピュテーション - - - - - -

ファイアウォールと侵入防御 - - - - - -

変更監視 - - - - - -

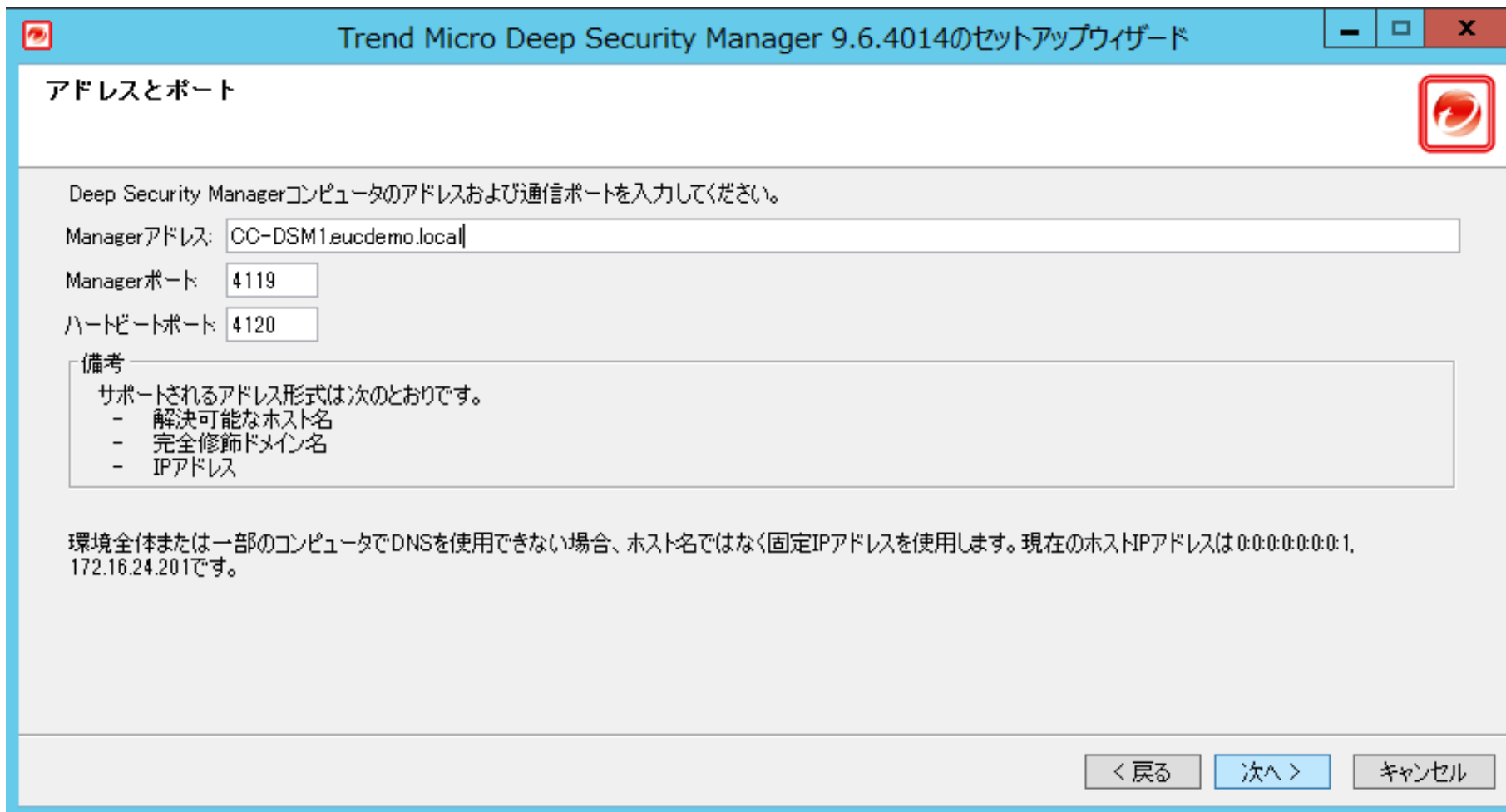
セキュリティログ監視 - - - - - -

☐ アクティベーションを実行せずに続行

< 戻る 次へ > キャンセル

Deep Security Manager インストール

次へ



Trend Micro Deep Security Manager 9.6.4014のセットアップウィザード

アドレスとポート

Deep Security Managerコンピュータのアドレスおよび通信ポートを入力してください。

Managerアドレス: CC-DSM1.eucdemo.local

Managerポート: 4119

ハートビートポート: 4120

備考

サポートされるアドレス形式は次のとおりです。

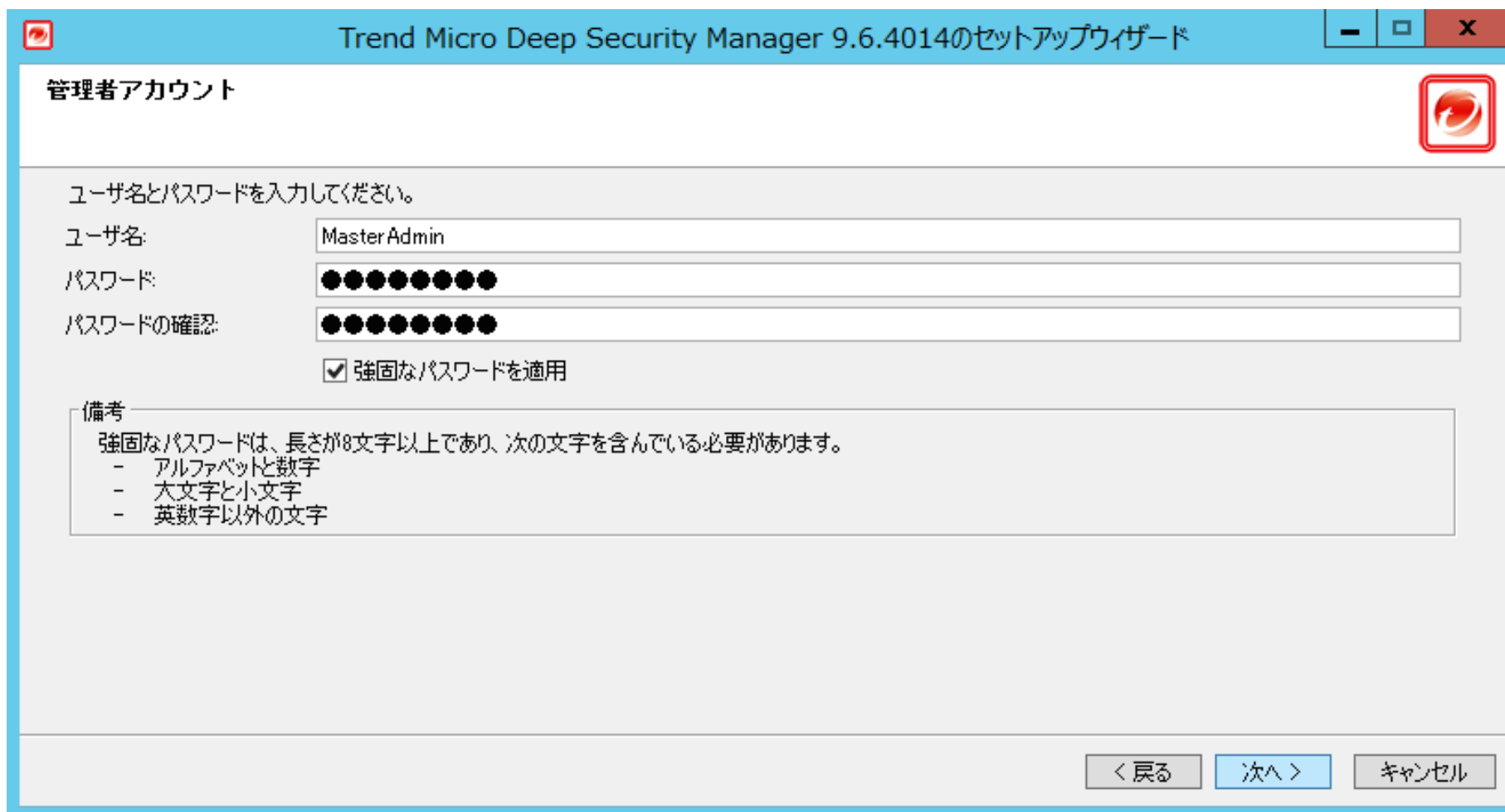
- 解決可能なホスト名
- 完全修飾ドメイン名
- IPアドレス

環境全体または一部のコンピュータでDNSを使用できない場合、ホスト名ではなく固定IPアドレスを使用します。現在のホストIPアドレスは0:0:0:0:0:0:1, 172.16.24.201です。

< 戻る 次へ > キャンセル

Deep Security Manager インストール

ユーザ名、パスワードを指定 > 次へ



Trend Micro Deep Security Manager 9.6.4014のセットアップウィザード

管理者アカウント

ユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名: MasterAdmin

パスワード: ●●●●●●●●

パスワードの確認: ●●●●●●●●

☒ 強固なパスワードを適用

備考

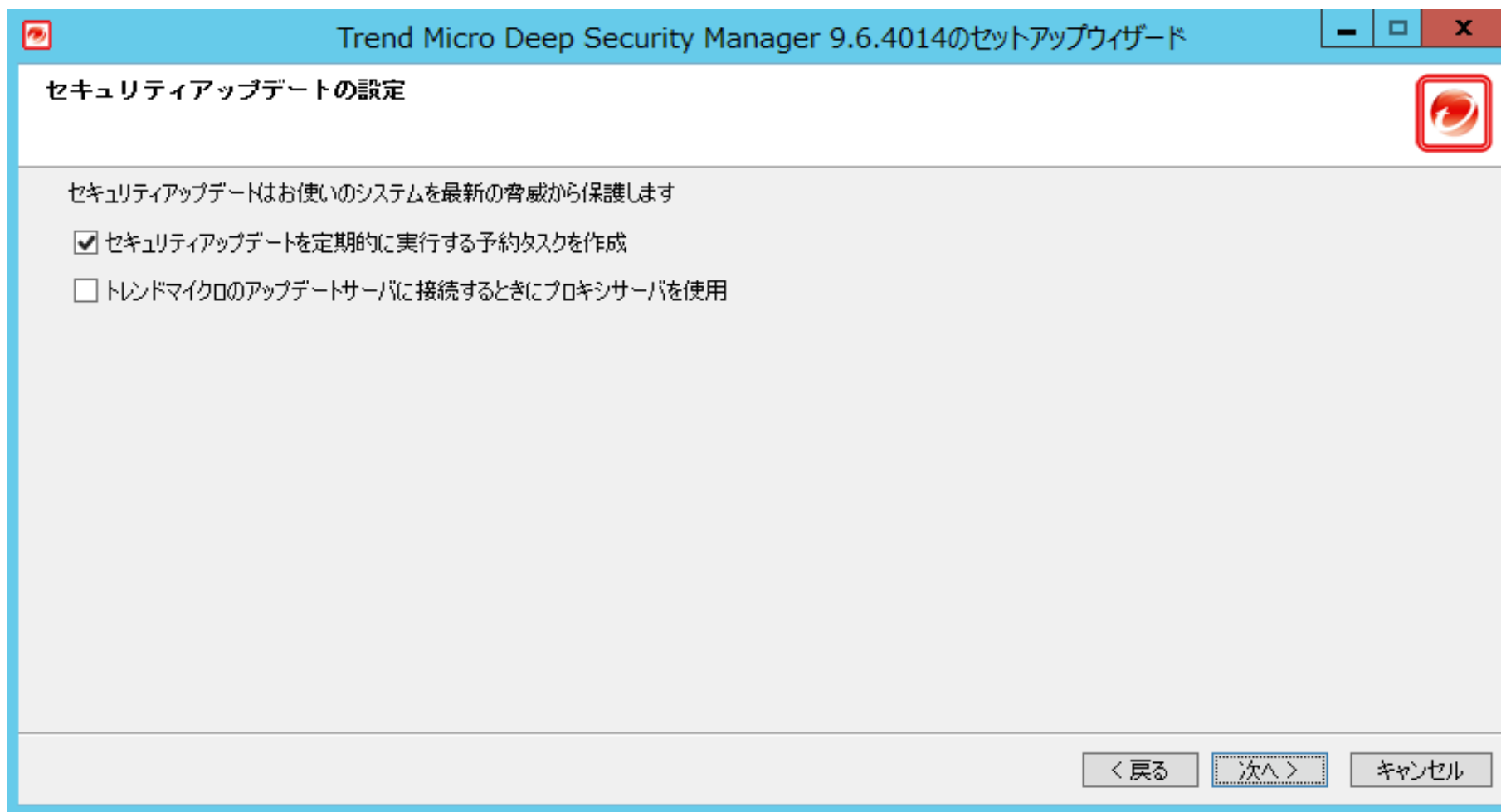
強固なパスワードは、長さが8文字以上であり、次の文字を含んでいる必要があります。

- アルファベットと数字
- 大文字と小文字
- 英数字以外の文字

< 戻る 次へ > キャンセル

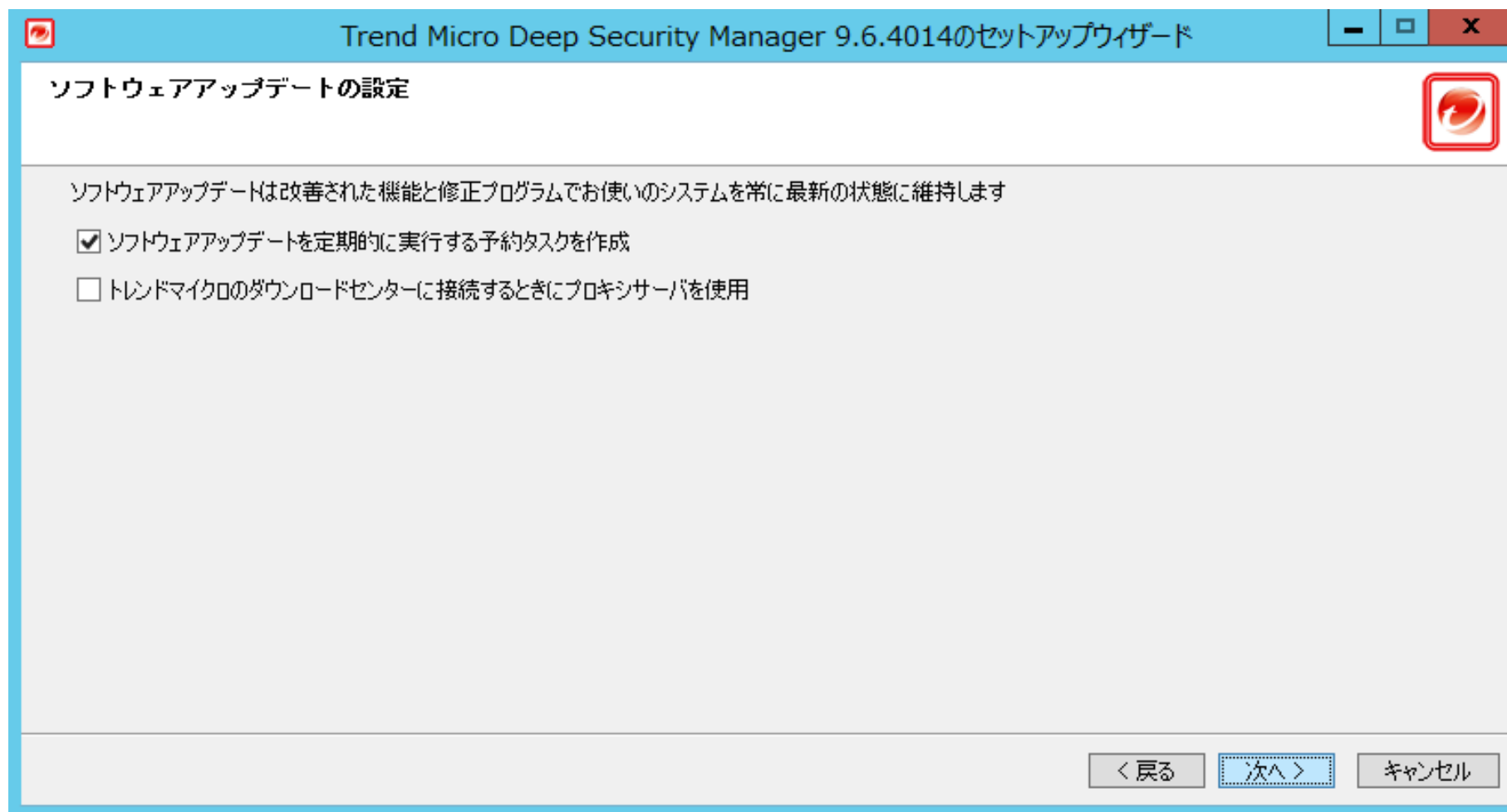
Deep Security Manager インストール

次へ



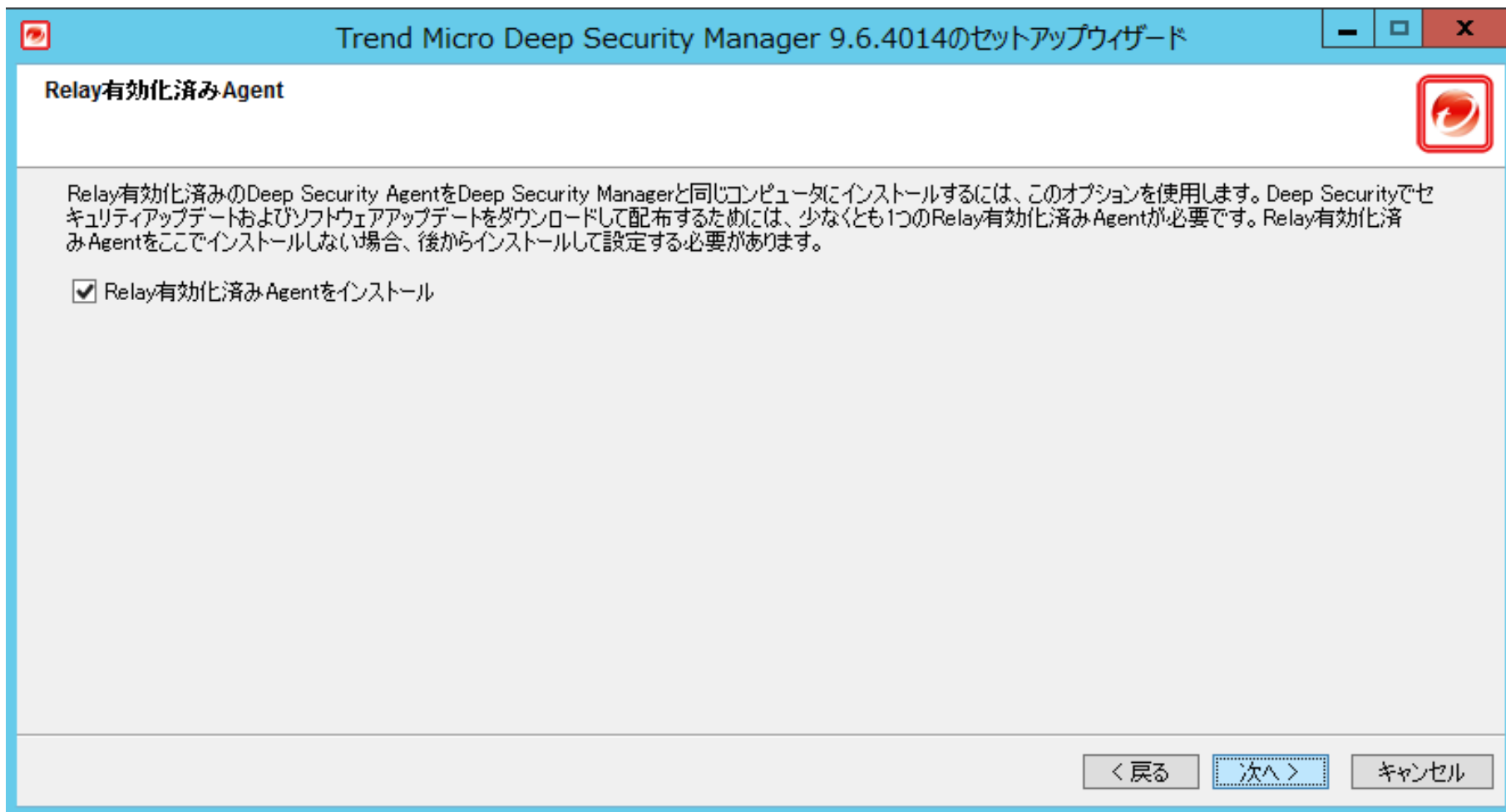
Deep Security Manager インストール

次へ



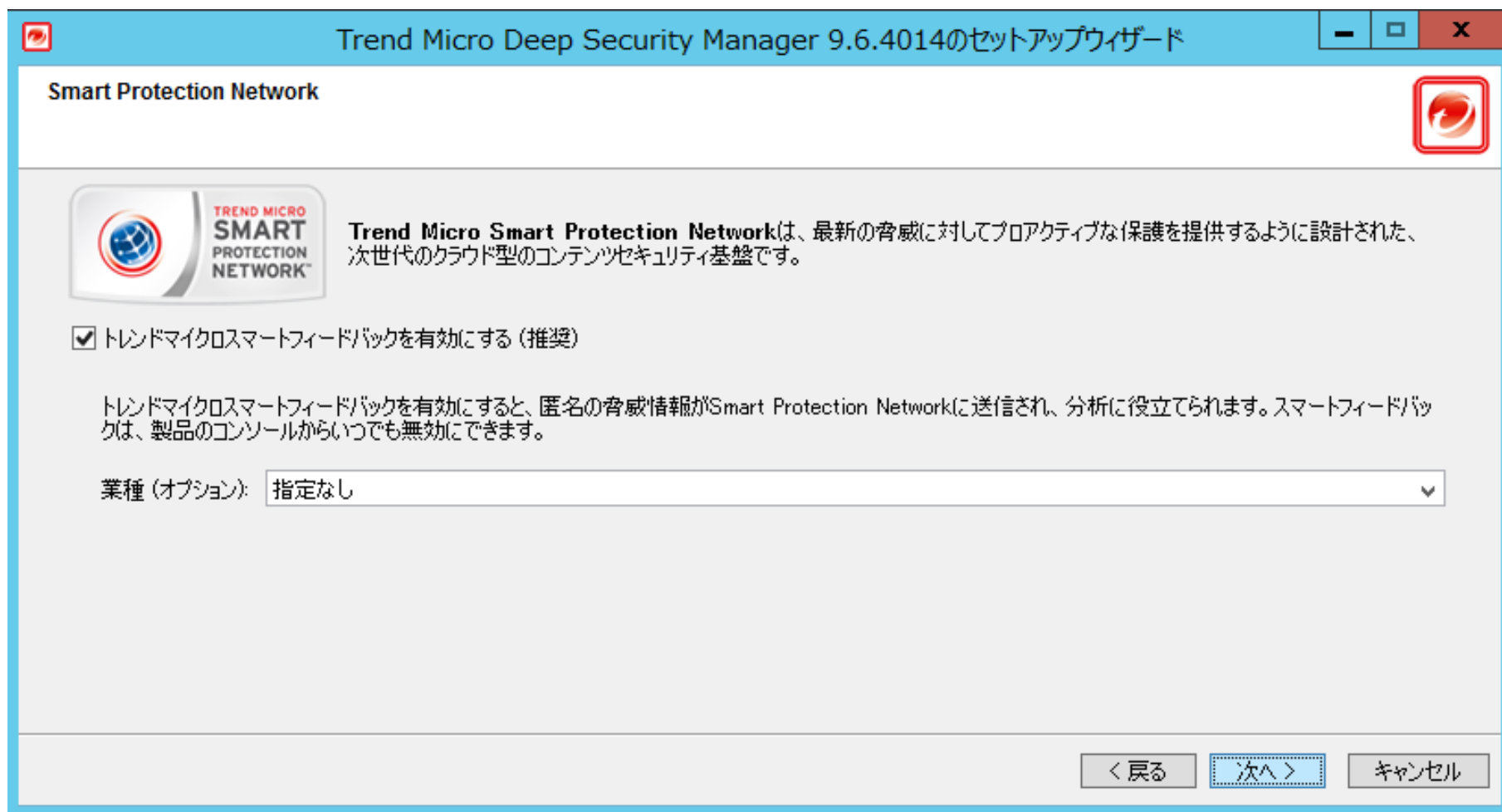
Deep Security Manager インストール

次へ



Deep Security Manager インストール

次へ



Deep Security Manager インストール

インストール (15-20分かかる)

Trend Micro Deep Security Manager 9.6.4014のセットアップウィザード

インストール情報

Deep Security Managerのインストールの概要を確認してください。

インストールパス:	C:\Program Files\Trend Micro\Deep Security Manager
インストールモード:	新規インストール
Managerアドレス:	https://CC-DSM1.eucdemo.local
Managerポート:	4119
ハートビートポート:	4120
管理者アカウント:	MasterAdmin
データベース:	Microsoft SQL Server

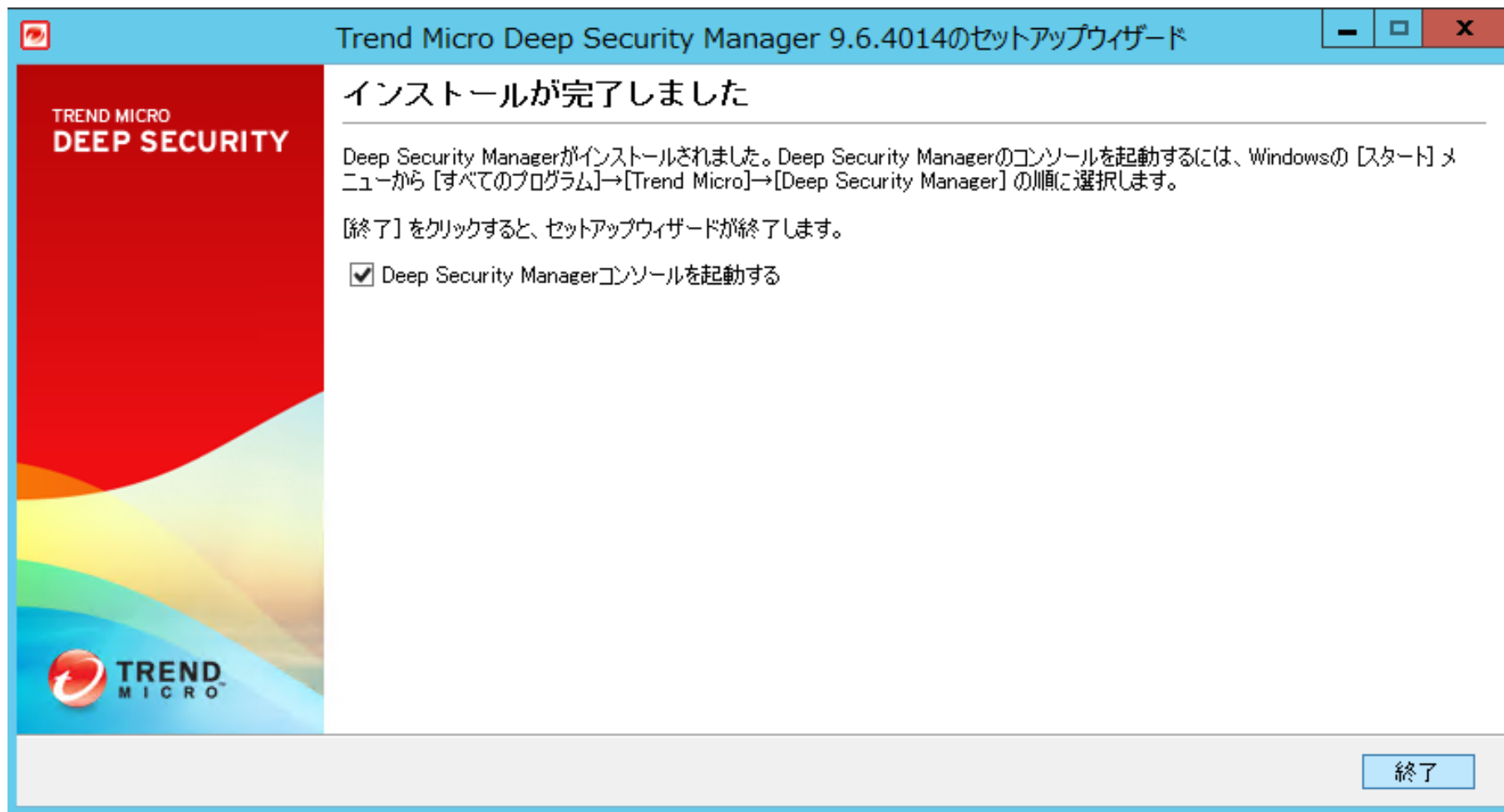
データベース:	Microsoft SQL Server
データベースのホスト名:	CC-DSM1
データベース名:	dsm
データベースユーザ名:	sa

Relay有効化済み Agentのインストール: はい

< 戻る インストール キャンセル

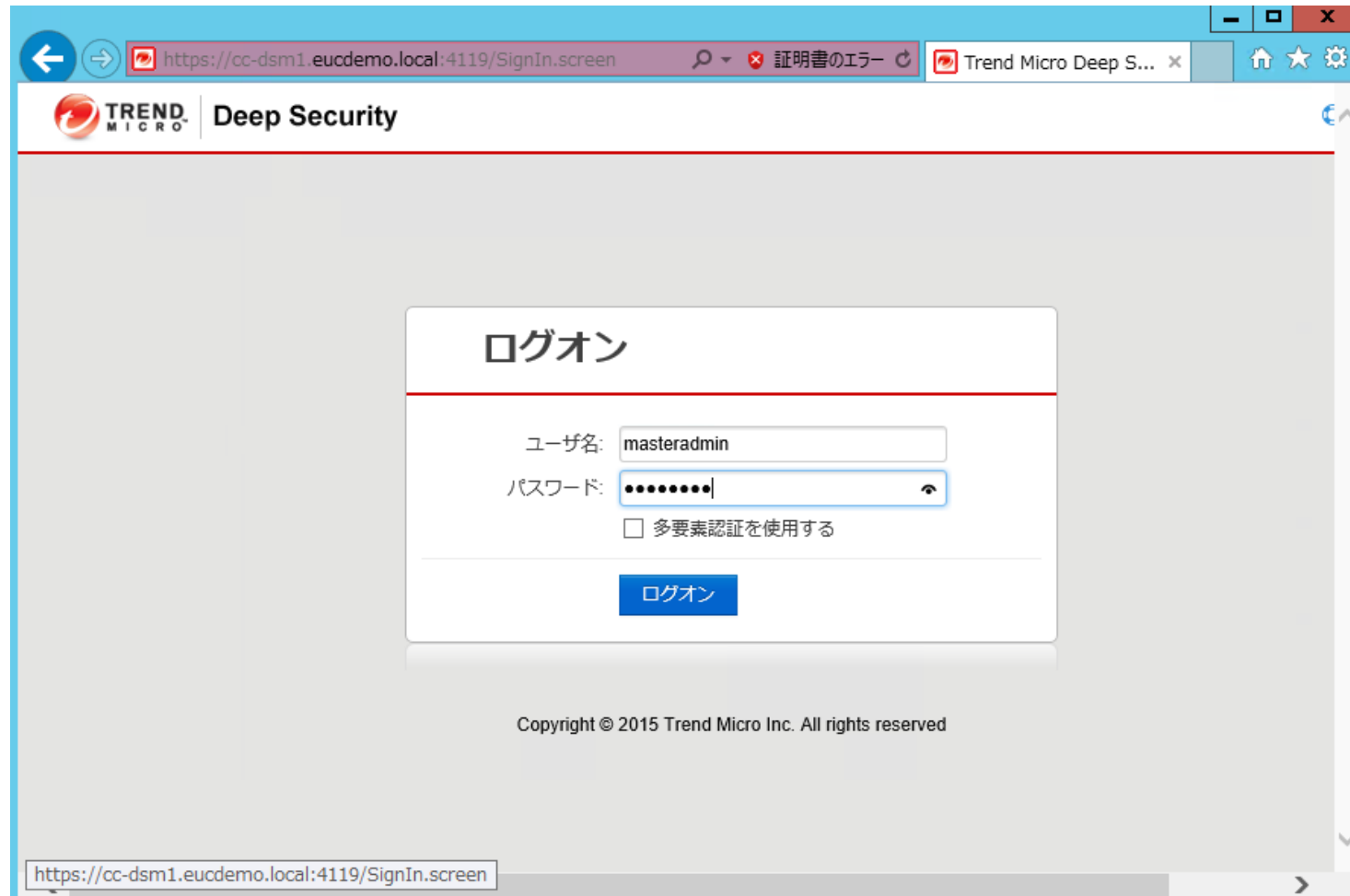
Deep Security Manager インストール

終了



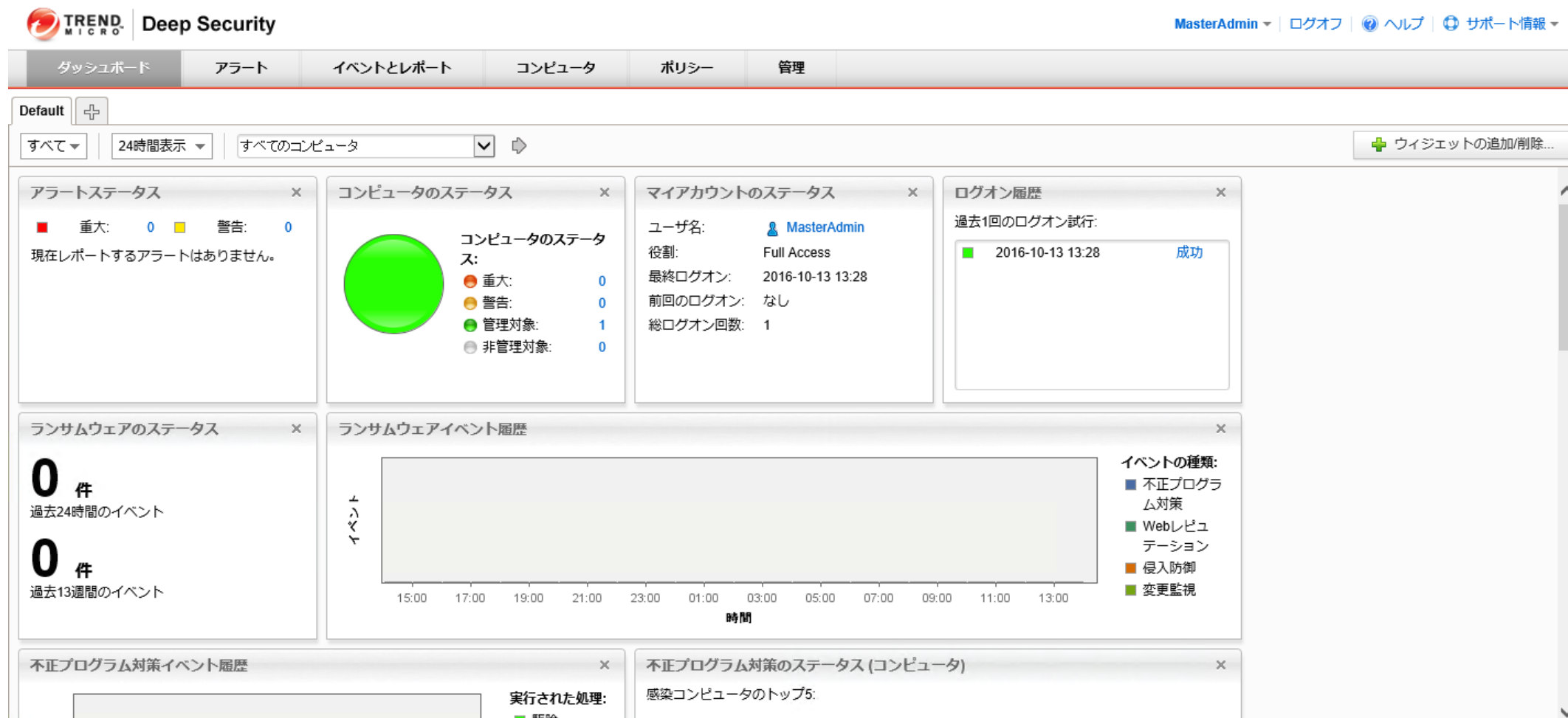
Deep Security Manager インストール

https://<DSM-IP>:4119 > ログイン



Deep Security Manager インストール

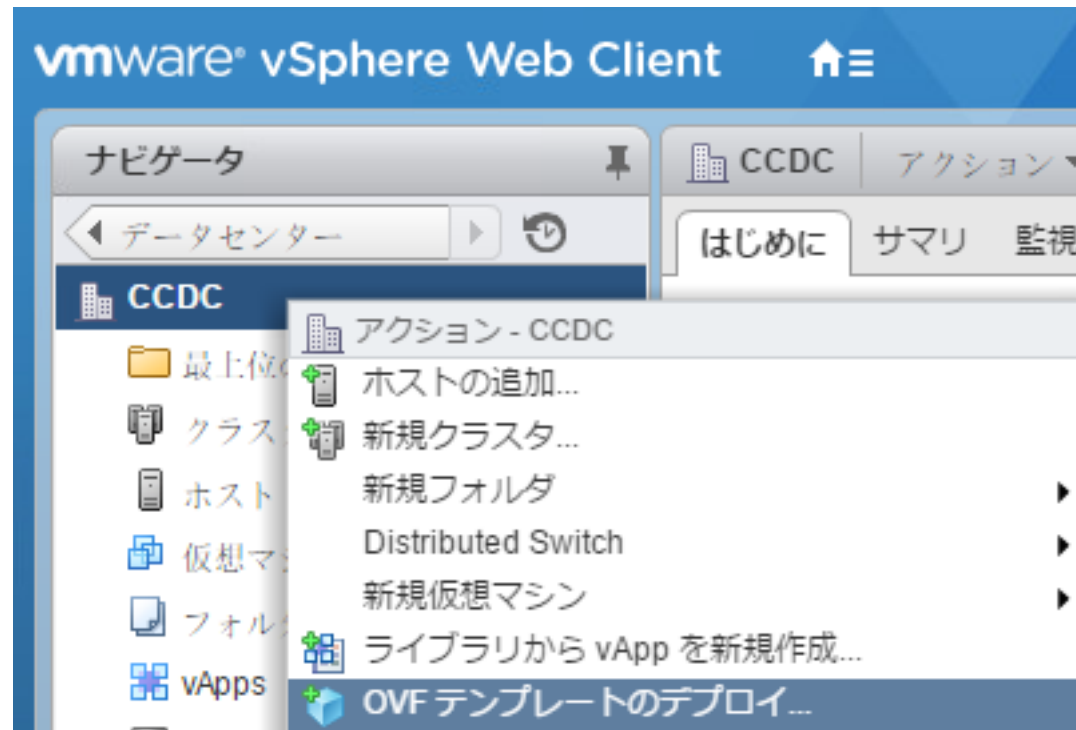
(参考) ダッシュボード



NSX Manager インストール

NSX Manager インストール

(vCenterに接続) > OVF テンプレートのデプロイ



NSX Manager インストール

OVA ファイル選択 > 次へ

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

✓ 1a ソースの選択

1b 詳細の確認

2 ターゲット

2a 名前およびフォルダの選択

2b リソースの選択

2c ストレージの選択

3 終了準備の完了

ソースの選択

ソースの場所を選択します

URL を入力してインターネットから OVF パッケージをダウンロードおよびインストールするか、またはコンピュータからアクセス可能な場所 (ローカル ハード ドライブ、ネットワーク共有、CD/DVD ドライブなど) を参照します。

☐ URL

☒ ローカル ファイル

参照...

C:\Users\limoto\Downloads\VMware-NSX-Manager-6.2.4-4292526.ova

戻る

次へ

終了

キャンセル

NSX Manager インストール

次へ

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

✓ 1a ソースの選択

✓ 1b 詳細の確認

1c 使用許諾契約書の承諾

2 ターゲット

2a 名前およびフォルダの選択

2b リソースの選択

2c ストレージの選択

2d テンプレートのカスタマイズ

3 終了準備の完了

詳細の確認

OVF テンプレートの詳細を確認します

⚠ OVF パッケージに、セキュリティ リスクの可能性がある追加の構成オプションが含まれています。続行するには、オプションを確認して承諾してください。

☒ 追加の構成オプションの承諾

製品	NSX Manager
バージョン	6.2.4-4292526
ベンダー	VMware, Inc.
発行者	✓ 不明 (信頼性のある証明書)
ダウンロードサイズ	2.6 GB
ディスク上のサイズ	3.4 GB (Thin Provisioning) 60.0 GB (シックプロビジョニング)
説明	NSX Manager は vSphere の VMware NSX の集中管理コンポーネントです。VMware NSX はネットワークの仮想プラットフォームで、ネットワークに仮想マシンの運用モデルを配信してデータセンター
追加の構成	vshield.vmttype = Manager vshield.vmversion = 6.2.4 vshield.vmbuild = 4292526

戻る

次へ

終了

キャンセル

NSX Manager インストール

承諾 > 次へ

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

✓ 1a ソースの選択

✓ 1b 詳細の確認

✓ 1c 使用許諾契約書の承諾

2 ターゲット

2a 名前およびフォルダの選択

2b リソースの選択

2c ストレージの選択

2d テンプレートのカスタマイズ

3 終了準備の完了

使用許諾契約書の承諾

続行する前に、このテンプレートに関連付けられた使用許諾契約書を確認して承諾する必要があります。

VMWARE エンド ユーザー使用許諾契約書

本エンド ユーザー使用許諾契約書の条項は、本ソフトウェアのインストールの際に表示されるいかなる条件にかかわらず、お客様のソフトウェアの使用について適用されます。

重要 - 注意してお読みください：本ソフトウェアのダウンロード、インストール、または使用によって、お客様（個人または法人組織）は本エンド ユーザー使用許諾契約書（以下、「本EULA」といいます）の条項に拘束されることに同意したものとみなされます。お客様が本EULAの条項に同意されない場合には、本ソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用しないでください。また、未使用の本ソフトウェアについては、削除するか、または30日以内にお客様が本ソフトウェアを購入された販売店に返品し、本ソフトウェアに対して支払済のライセンス料金がある場合には、払い戻しを請求してください。

評価版ライセンス 評価の目的で本ソフトウェアがライセンスされている場合、お客様による本ソフトウェアの使用は、非生産環境、かつ、ライセンスキーにより限定された期間においてのみ可能です。本 EULA の他の 規定にかかわらず、本ソフトウェアの評価版ライセンスは「現状のまま」提供され、明示的にも黙示的にも、いかなる補償、サポート、または保証 も受けることができません。

1. 定義

1.1 「関連会社」とは、ある時点における当事者について、その時点で 直接的または間接的に当該当事者が支配しているか、当該当事者と 共通の支配下にあるか、または当該当事者を支配する団体を意味します。「支配」とは、当該団体の発行済み株式全体の 50% 以上に相当する所有権、議決権、または類似の影響力があることを意味します。

1.2 「ドキュメンテーション」とは、通常、VMware が本ソフトウェア とともにお客様に提供するドキュメンテーションを意味

承諾

戻る

次へ

終了

キャンセル

NSX Manager インストール

名前を定義 > 次へ

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

✓ 1a ソースの選択

✓ 1b 詳細の確認

✓ 1c 使用許諾契約書の承諾

2 ターゲット

✓ 2a 名前およびフォルダの選択

2b リソースの選択

2c ストレージの選択

2d テンプレートのカスタマイズ

3 終了準備の完了

名前およびフォルダの選択

デプロイされたテンプレートの名前と場所を指定します

名前: CC-NSX1

フォルダまたはデータセンターの選択

検索

CCVC1.eucdemo.local

CCDC

選択したフォルダにエンティティが配置され、権限の適用先として使用されます。

エンティティの名前は、各 vCenter Server 仮想マシン フォルダ内で一意である必要があります。

戻る

次へ

終了

キャンセル

NSX Manager インストール

リソースの選択 > 次へ

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

✓ 1a ソースの選択

✓ 1b 詳細の確認

✓ 1c 使用許諾契約書の承諾

2 ターゲット

✓ 2a 名前およびフォルダの選択

2b リソースの選択

2c ストレージの選択

2d テンプレートのカスタマイズ

3 終了準備の完了

リソースの選択

デプロイされたテンプレートの実行場所を選択します

デプロイされたテンプレートの実行場所の選択

検索

▼ CCDC

▶ CCCluster

デプロイされたテンプレートを実行するクラスタ、ホスト、vApp、またはリソースプールを選択します

戻る

次へ

終了

キャンセル

vmware®

48

ストレージの選択 > 次へ



NSX Manager インストール

ネットワークのセットアップ > 次へ

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

✓ 1a ソースの選択

✓ 1b 詳細の確認

✓ 1c 使用許諾契約書の承諾

2 ターゲット

✓ 2a 名前およびフォルダの選択

✓ 2b リソースの選択

✓ 2c ストレージの選択

✓ 2d ネットワークのセットアップ

2e テンプレートのカスタマイズ

3 終了準備の完了

ネットワークのセットアップ

デプロイされたテンプレートが使用するネットワークを構成します

ソース	ターゲット	構成
VSMgmt	DPortGroup VLAN24	✓

IP プロトコル: IPv4

IP の割り当て: 静的 - 手動 ⓘ

ソース: VSMgmt - 説明

このネットワークからこの仮想マシンに接続できます。

ターゲット: DPortGroup VLAN24 - プロトコル設定

このネットワークに必要な構成はありません

戻る

次へ

終了

キャンセル

NSX Manager インストール

テンプレートのカスタマイズ (1/4)

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

1a ソースの選択

1b 詳細の確認

1c 使用許諾契約書の承諾

2 ターゲット

2a 名前およびフォルダの選択

2b リソースの選択

2c ストレージの選択

2d ネットワークのセットアップ

2e テンプレートのカスタマイズ

3 終了準備の完了

テンプレートのカスタマイズ

このソフトウェア ソリューションのデプロイ プロパティをカスタマイズします

1 個のプロパティに無効な値があります

次を表示... すべて折りたたむ...

ユーザーは、構成を確認するために NSX Manager の Web UI または CLI を使用する必要があります。

2 個の設定

CLI 「admin」 ユーザー パスワード

この仮想マシンのデフォルトの CLI ユーザーのパスワード。

パスワードの入力

パスワードの確認

CLI 権限モードのパスワード

この仮想マシンの CLI 権限モードのパスワード。

パスワードの入力

パスワードの確認

ネットワークプロパティ

7 個の設定

DNS

2 個の設定

サービスの構成

2 個の設定

VMware Customer Experience Improvement Program

1 個の設定

戻る

次へ

終了

キャンセル

NSX Manager インストール

テンプレートのカスタマイズ (2/4)

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

✓ 1a ソースの選択

✓ 1b 詳細の確認

✓ 1c 使用許諾契約書の承諾

2 ターゲット

✓ 2a 名前およびフォルダの選択

✓ 2b リソースの選択

✓ 2c ストレージの選択

✓ 2d ネットワークのセットアップ

✓ 2e テンプレートのカスタマイズ

✓ 3 終了準備の完了

テンプレートのカスタマイズ

このソフトウェア ソリューションのデプロイプロパティをカスタマイズします

すべてのプロパティに有効な値があります

次を表示... すべて折りたたむ...

▼ ネットワークプロパティ	7 個の設定
ホスト名	この仮想マシンのホスト名。 CC-NSX1.eucdemo.local
ネットワーク 1 IPv4 アドレス	このインターフェイスの IPv4 アドレス。 172.16.24.202
ネットワーク 1 ネットマスク	このインターフェイスのネットマスク。 255.255.252.0
デフォルト IPv4 ゲートウェイ	この仮想マシンのデフォルト ゲートウェイ。 172.16.27.254
ネットワーク 1 IPv6 アドレス	このインターフェイスの IPv6 アドレス。
ネットワーク 1 IPv6 接頭辞	このインターフェイスの IPv6 接頭辞。
デフォルト IPv6 ゲートウェイ	この仮想マシンのデフォルト IPv6 ゲートウェイ。
▶ DNS	2 個の設定
▶ サービスの構成	2 個の設定

戻る 次へ 終了 キャンセル

NSX Manager インストール

テンプレートのカスタマイズ (3/4)

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

✓ 1a ソースの選択

✓ 1b 詳細の確認

✓ 1c 使用許諾契約書の承諾

2 ターゲット

✓ 2a 名前およびフォルダの選択

✓ 2b リソースの選択

✓ 2c ストレージの選択

✓ 2d ネットワークのセットアップ

✓ 2e テンプレートのカスタマイズ

✓ 3 終了準備の完了

テンプレートのカスタマイズ

このソフトウェア ソリューションのデプロイ プロパティをカスタマイズします

すべてのプロパティに有効な値があります

次を表示... すべて折りたたむ...

ユーザーは、構成を確認するために NSX Manager の Web UI または CLI を使用する必要があります。	2 個の設定
ネットワークプロパティ	7 個の設定
DNS	2 個の設定
DNS サーバリスト	この仮想マシンの DNS サーバリスト（スペース区切り）。 172.16.24.3
ドメイン検索リスト	この仮想マシンのドメイン検索リスト（スペース区切り）。 eucdemo.local
サービスの構成	2 個の設定
VMware Customer Experience Improvement Program	1 個の設定

戻る

次へ

終了

キャンセル

NSX Manager インストール

テンプレートのカスタマイズ (4/4)

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

2 ターゲット

3 終了準備の完了

1a ソースの選択

1b 詳細の確認

1c 使用許諾契約書の承諾

2a 名前およびフォルダの選択

2b リソースの選択

2c ストレージの選択

2d ネットワークのセットアップ

2e テンプレートのカスタマイズ

テンプレートのカスタマイズ

このソフトウェア ソリューションのデプロイ プロパティをカスタマイズします

すべてのプロパティに有効な値があります

次を表示... すべて折りたたむ...

ユーザーは、構成を確認するために NSX Manager の Web UI または CLI を使用する必要があります。	2 個の設定
ネットワークプロパティ	7 個の設定
DNS	2 個の設定
サービスの構成	2 個の設定
NTP サーバリスト	この仮想マシンの NTP サーバリスト (スペース区切り)。 172.16.101.1
SSH の有効化	セキュリティ上の理由で SSH サービスの有効化は推奨されません。 <input checked="" type="checkbox"/>
VMware Customer Experience Improvement Program	1 個の設定 VMware's Customer Experience Improvement Program ("CEIP") provides VMware with information about your organization's use of VMware products and services on a regular basis in association with this product. This information does not personally identify any individual. For additional information regarding this program, please visit the VMware Trust & Assurance Center at http://www.vmware.com/resources/ceip . If you do not wish to participate in VMware's CEIP for this product, you should uncheck the box below. You may join the VMware Customer Experience Improvement Program. <input checked="" type="checkbox"/>

戻る

次へ

終了

キャンセル

NSX Manager インストール

デプロイ後にパワーオン > 終了

OVF テンプレートのデプロイ

1 ソース

✓ 1a ソースの選択

✓ 1b 詳細の確認

✓ 1c 使用許諾契約書の承諾

2 ターゲット

✓ 2a 名前およびフォルダの選択

✓ 2b リソースの選択

✓ 2c ストレージの選択

✓ 2d ネットワークのセットアップ

✓ 2e テンプレートのカスタマイズ

✓ 3 終了準備の完了

終了準備の完了

選択した設定を確認してからウィザードを終了してください。

OVF ファイル	C:\Users\limoto\Downloads\VMware-NSX-Manager-6.2.4-4292526.ova
ダウンロード サイズ	2.6 GB
ディスク上のサイズ	60.0 GB
名前	CC-NSX1
ターゲット	CCCluster
データストア	vsanDatastore
フォルダ	CC-MGMT
ディスクストレージ	仮想マシン ストレージ ポリシーでの定義どおり
ネットワークのマッピング	VSMgmt ~ DPortGroup VLAN24
IP の割り当て	静的 - 手動、IPv4
プロパティ	ホスト名 = CC-NSX1.eucdemo.local ネットワーク 1 IPv4 アドレス = 172.16.24.202 ネットワーク 1 ネットマスク = 255.255.252.0 デフォルト IPv4 ゲートウェイ = 172.16.27.254 ネットワーク 1 IPv6 アドレス = ネットワーク 1 IPv6 接頭辞 = デフォルト IPv6 ゲートウェイ = DNS サーバ リスト = 172.16.24.3 ドメイン検索リスト = eucdemo.local NTP サーバ リスト = 172.16.101.1 SSH の有効化 = True = True

☒ デプロイ後にパワーオン

戻る

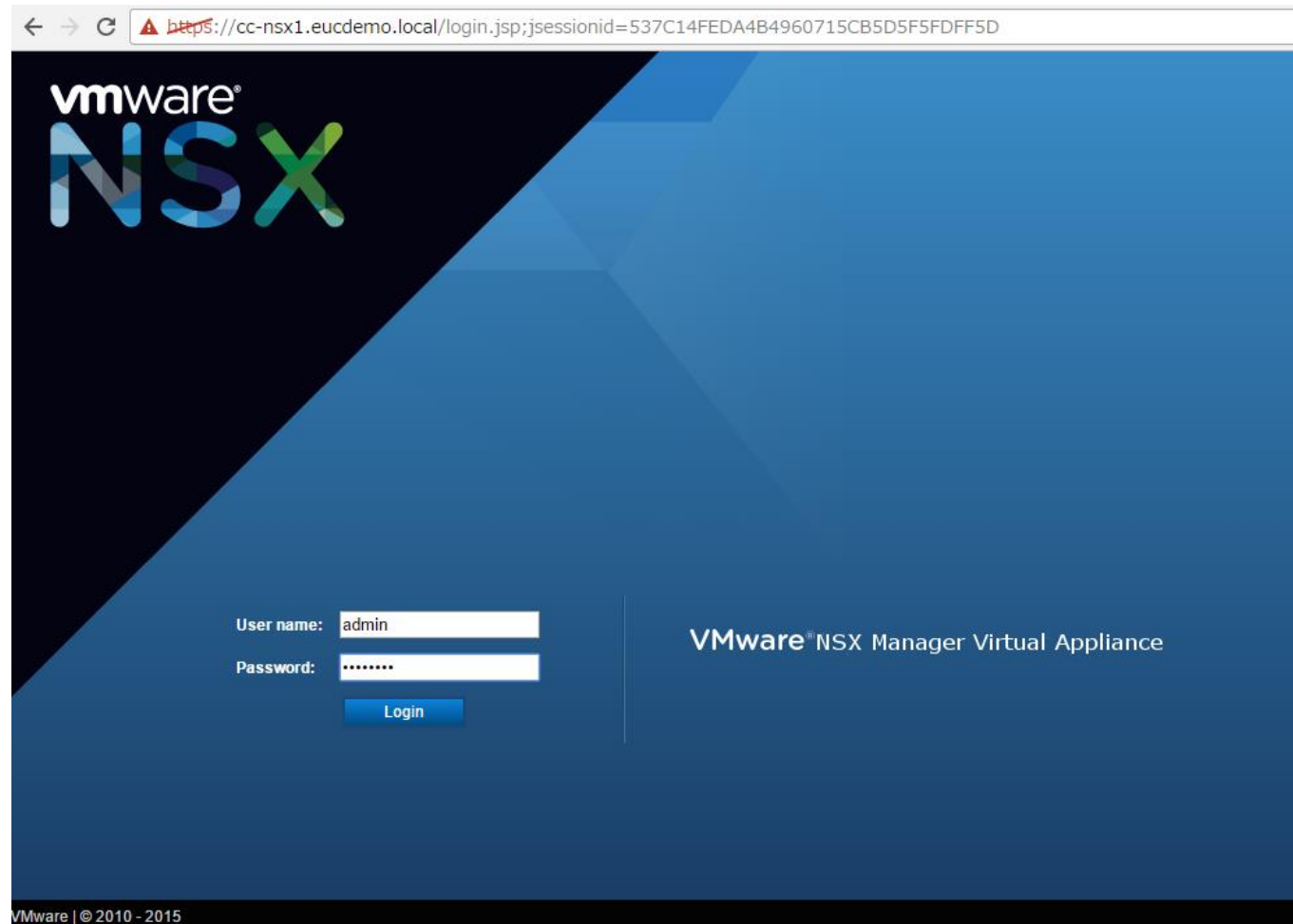
次へ

終了

キャンセル

NSX Manager インストール

https://<NSX Manager - IP> アクセス



NSX Manager インストール

Manage vCenter Registration




NSX Manager Virtual Appliance Management

 View Summary	 Download Tech Support Log
 Manage Appliance Settings	 Backup & Restore
 Manage vCenter Registration	 Upgrade

NSX Manager インストール

vCenter Server > Edit



IP: 172.16.24.202 Version: 6.2.4 Build 4292526
Name: CC-NSX1 User: admin

SummaryManage

SETTINGS

GeneralNetworkSSL CertificatesBackups & RestoreUpgrade

COMPONENTS

NSX Management Service

Lookup Service URL

For vCenter versions 5.5 and above, you may configure Lookup Service and provide the SSO administrator credentials to register NSX Management Service as a solution user. It is also recommended to set the NTP server for SSO configuration to work correctly.

Lookup Service URL:

Edit

vCenter Server

Connecting to a vCenter server enables NSX Management Service to display the VMware Infrastructure inventory. HTTPS port (443) needs to be opened for communication between NSX Management Service, ESX and VC. For a full list of ports required, see section 'Client and User Access' of Chapter 'Preparing for Installation' in the 'NSX Installation and Upgrade Guide'.

If your vCenter server is hosted by a vCenter Server Appliance, please ensure that appropriate CPU and memory reservation is given to this appliance VM. After successful configuration of vCenter on NSX Manager, you need to log out of any active client sessions on vSphere Web Client and log back in to enable NSX user interface components.

vCenter Server:

Edit

NSX Manager インストール

vCenter 接続情報 入力 > OK

vCenter Server

Connecting to a vCenter server enables NSX Management Service to display the VMware Infrastructure inventory. HTTPS port (443) needs to be opened for communication between NSX Management Service, ESX and VC. For a full list of ports required, see section 'Client and User Access' of Chapter 'Preparing for Installation' in the 'NSX Installation and Upgrade Guide'.

If your vCenter server is hosted by a vCenter Server Appliance, please ensure that appropriate CPU and memory reservation is given to this appliance VM. After successful configuration of vCenter on NSX Manager, you need to log out of any active client sessions on vSphere Web Client and log back in to enable NSX user interface components.

vCenter Server:

ccvc1.eucdemo.local

vCenter User Name:

administrator@vsphere.local

Password:

.....

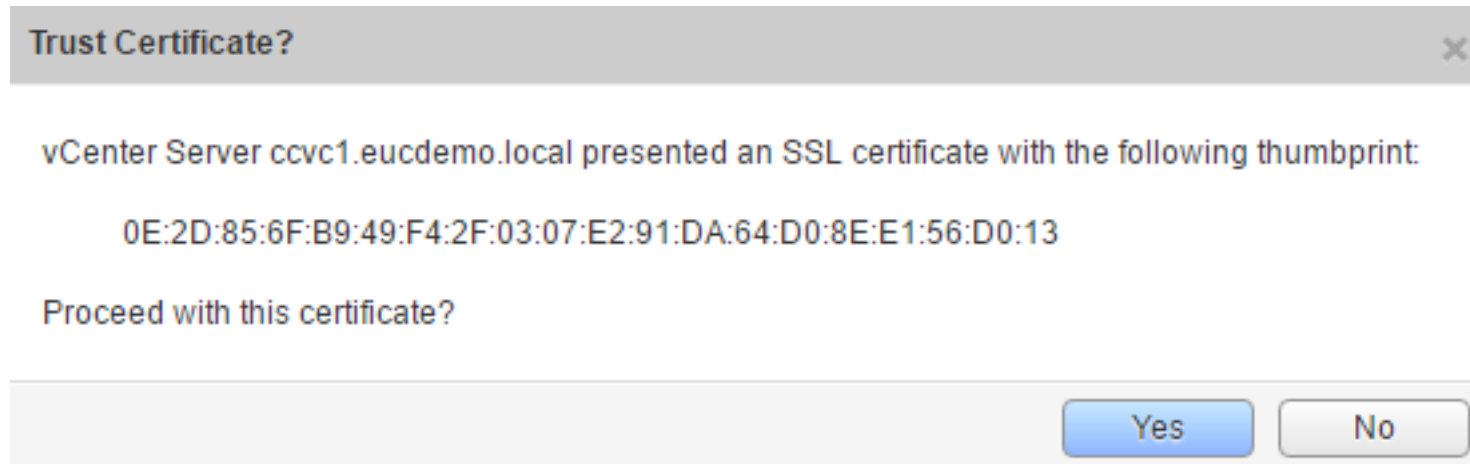
☐ Modify plugin script download location

OK

Cancel

NSX Manager インストール

Trust Certificate > Yes



NSX Manager インストール

Status : Connected を確認

vmware
NSX

IP: 172.16.24.202 Version: 6.2.4 Build 4292526
Name: CC-NSX1 User: admin

Summary

Manage

SETTINGS

General

Network

SSL Certificates

Backups & Restore

Upgrade

COMPONENTS

NSX Management Service

Lookup Service URL

Edit

For vCenter versions 5.5 and above, you may configure Lookup Service and provide the SSO administrator credentials to register NSX Management Service as a solution user. It is also recommended to set the NTP server for SSO configuration to work correctly.

Lookup Service URL:

vCenter Server

Edit

Connecting to a vCenter server enables NSX Management Service to display the VMware Infrastructure inventory. HTTPS port (443) needs to be opened for communication between NSX Management Service, ESX and VC. For a full list of ports required, see section 'Client and User Access' of Chapter 'Preparing for Installation' in the 'NSX Installation and Upgrade Guide'.

If your vCenter server is hosted by a vCenter Server Appliance, please ensure that appropriate CPU and memory reservation is given to this appliance VM. After successful configuration of vCenter on NSX Manager, you need to log out of any active client sessions on vSphere Web Client and log back in to enable NSX user interface components.

vCenter Server:	ccvc1.eucdemo.local
vCenter User Name:	administrator@vsphere.local
Status:	<div>Connected</div> - Last successful inventory update was on Thu, 13 Oct 2016 05:59:48 GMT <div></div>

NSX Manager インストール

Lookup Service URL > Edit

vmware
NSX

IP: 172.16.24.202 Version: 6.2.4 Build 4292526
Name: CC-NSX1 User: admin

Summary

Manage

SETTINGS

General

Network

SSL Certificates

Backups & Restore

Upgrade

COMPONENTS

NSX Management Service

Lookup Service URL

Edit

For vCenter versions 5.5 and above, you may configure Lookup Service and provide the SSO administrator credentials to register NSX Management Service as a solution user. It is also recommended to set the NTP server for SSO configuration to work correctly.

Lookup Service URL:

vCenter Server

Edit

Connecting to a vCenter server enables NSX Management Service to display the VMware Infrastructure inventory. HTTPS port (443) needs to be opened for communication between NSX Management Service, ESX and VC. For a full list of ports required, see section 'Client and User Access' of Chapter 'Preparing for Installation' in the 'NSX Installation and Upgrade Guide'.

If your vCenter server is hosted by a vCenter Server Appliance, please ensure that appropriate CPU and memory reservation is given to this appliance VM. After successful configuration of vCenter on NSX Manager, you need to log out of any active client sessions on vSphere Web Client and log back in to enable NSX user interface components.

vCenter Server:	ccvc1.eucdemo.local
vCenter User Name:	administrator@vsphere.local
Status:	● Connected - Last successful inventory update was on Tue, 18 Oct 2016 02:11:07 GMT

NSX Manager インストール

vCenter 情報 入力 > OK

Lookup Service URL

For vCenter versions 5.5 and above, you may configure Lookup Service and provide the SSO administrator credentials to register NSX Management Service as a solution user. It is also recommended to set the NTP server for SSO configuration to work correctly.

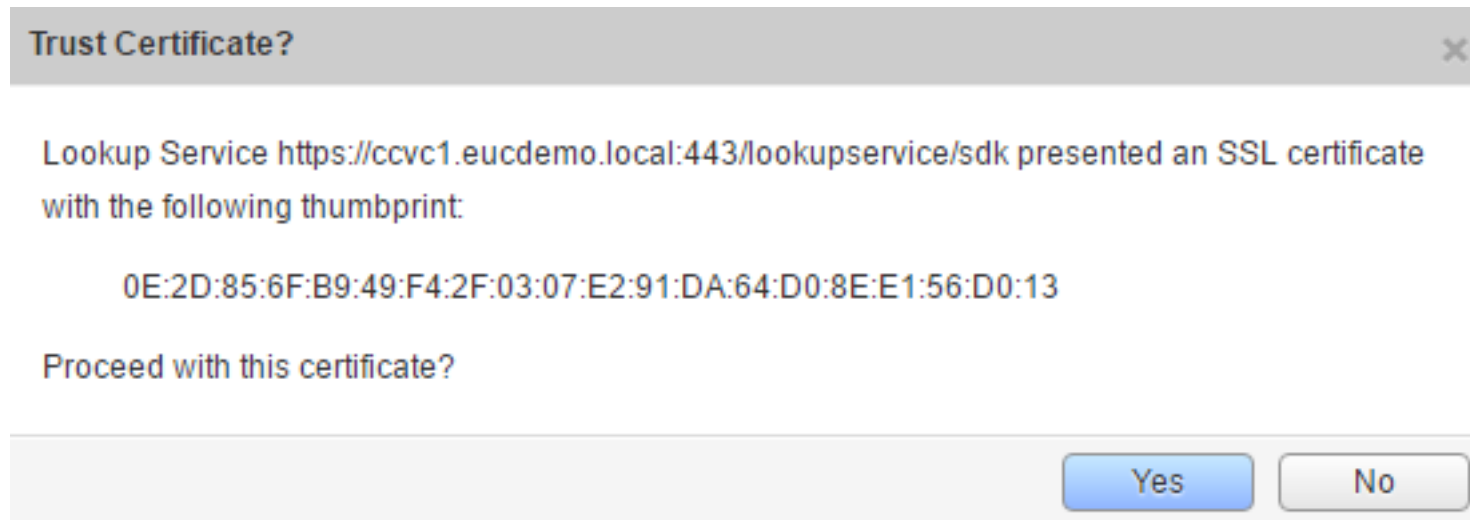
Lookup Service Host:	<input type="text" value="ccvc1.eucdemo.local"/>
Lookup Service Port:	<input type="text" value="443"/>
	<i>Enter port 443 for vSphere 6.0, for vSphere 5.5 use 7444.</i>
Lookup Service URL:	<input type="text" value="https://ccvc1.eucdemo.local:443/lookupservice/sdk"/>
SSO Administrator User Name:	<input type="text" value="administrator@vsphere.local"/>
Password:	<input type="password" value="....."/>

OK

Cancel

NSX Manager インストール

Trust Certificate > Yes



NSX Manager インストール

Status : Connected を確認

vmware
NSX

IP: 172.16.24.202 Version: 6.2.4 Build 4292526
Name: CC-NSX1 User: admin

Summary

Manage

SETTINGS

General

Network

SSL Certificates

Backups & Restore

Upgrade

COMPONENTS

NSX Management Service

Lookup Service URL

Unconfigure Edit

For vCenter versions 5.5 and above, you may configure Lookup Service and provide the SSO administrator credentials to register NSX Management Service as a solution user. It is also recommended to set the NTP server for SSO configuration to work correctly.

Lookup Service URL:	https://ccvc1.eucdemo.local:443/lookupservice/sdk
SSO Administrator User Name:	administrator@vsphere.local
Status:	● Connected ↻

vCenter Server

Edit

Connecting to a vCenter server enables NSX Management Service to display the VMware Infrastructure inventory. HTTPS port (443) needs to be opened for communication between NSX Management Service, ESX and VC. For a full list of ports required, see section 'Client and User Access' of Chapter 'Preparing for Installation' in the 'NSX Installation and Upgrade Guide'.

If your vCenter server is hosted by a vCenter Server Appliance, please ensure that appropriate CPU and memory reservation is given to this appliance VM. After successful configuration of vCenter on NSX Manager, you need to log out of any active client sessions on vSphere Web Client and log back in to enable NSX user interface components.

vCenter Server:	ccvc1.eucdemo.local
vCenter User Name:	administrator@vsphere.local
Status:	● Connected - Last successful inventory update was on Tue, 18 Oct 2016 02:11:07 GMT ↻

NSX Manager インストール

vCenter ログイン

← → ↻ <https://ccvc1.eucdemo.local/vsphere-client/?csp>

vmware®

ユーザー名: administrator@vsphere.local

パスワード:

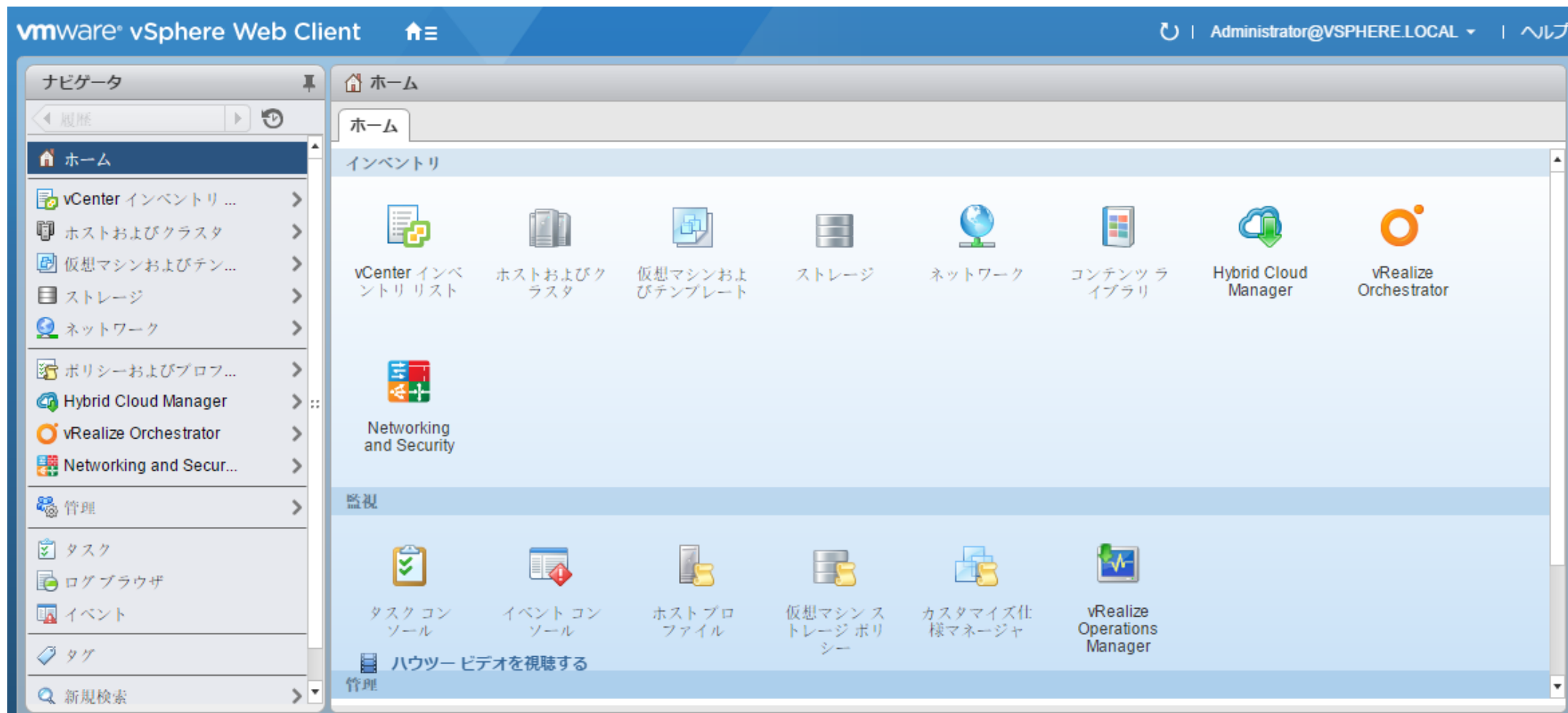
☐ Windows セッション認証を使用してください

ログイン

VMware® vCenter™ Single Sign-On

NSX Manager インストール

Networking and Security が表示されることを確認



NSX Manager インストール

参考) サマリ

vmware® vSphere Web Client Administrator@VSPHER

ナビゲータ

Networking and S...

NSX Manager 1

172.16.24.202

172.16.24.202 アクション

はじめに サマリ 監視 管理

172.16.24.202

ID: 4212838B-BAAD-4EC2-1AF7-690A689D1162

IP アドレス: 172.16.24.202

バージョン: 6.2.4.4292526

▼ ライセンス情報

ライセンス キー	4J6VQ-DTHEQ-58TX9-00AU6-3T952
エディション	NSX for vShield Endpoint (CPUs)
有効期限	なし
VXLAN 利用状況	CPU 数: 0, 仮想マシン数: 0, 同時実行ユーザー数: 0
DFW 利用状況	CPU 数: 0, 仮想マシン数: 0, 同時実行ユーザー数: 0

▼ カスタマ エクスペリエンス改善プログラム

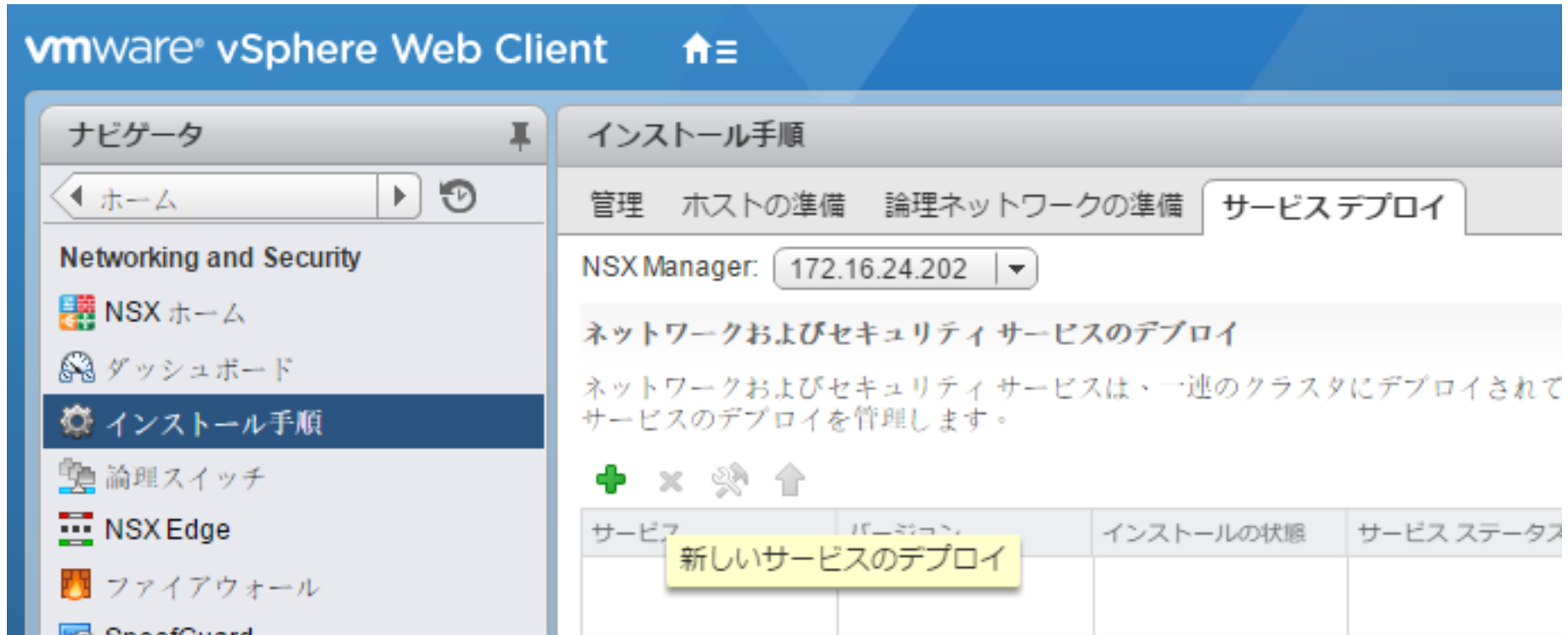
参加状況	参加中
スケジュール	毎週月曜日 2AM
前回の収集日時	--

編集...

Guest Introspection サービスのデプロイ

Guest Introspection サービスのデプロイ

インストール手順 > サービスデプロイ > 新しいサービスのデプロイ



vmware® vSphere Web Client

ナビゲータ

- ホーム
- Networking and Security
 - NSX ホーム
 - ダッシュボード
 - インストール手順**
 - 論理スイッチ
 - NSX Edge
 - ファイアウォール
 - SnafGuard

インストール手順

管理 ホストの準備 論理ネットワークの準備 **サービスデプロイ**

NSX Manager: 172.16.24.202

ネットワークおよびセキュリティ サービスのデプロイ

ネットワークおよびセキュリティ サービスは、一連のクラスタにデプロイされてサービスのデプロイを管理します。

+ × 上

サービス	パーミッション	インストールの状態	サービス ステータス
新しいサービスのデプロイ			

Guest Introspection > 次へ

vmware®

クラスタの選択 > 次へ



ストレージ及びネットワークの選択 > 次へ

vmware®

(補足)

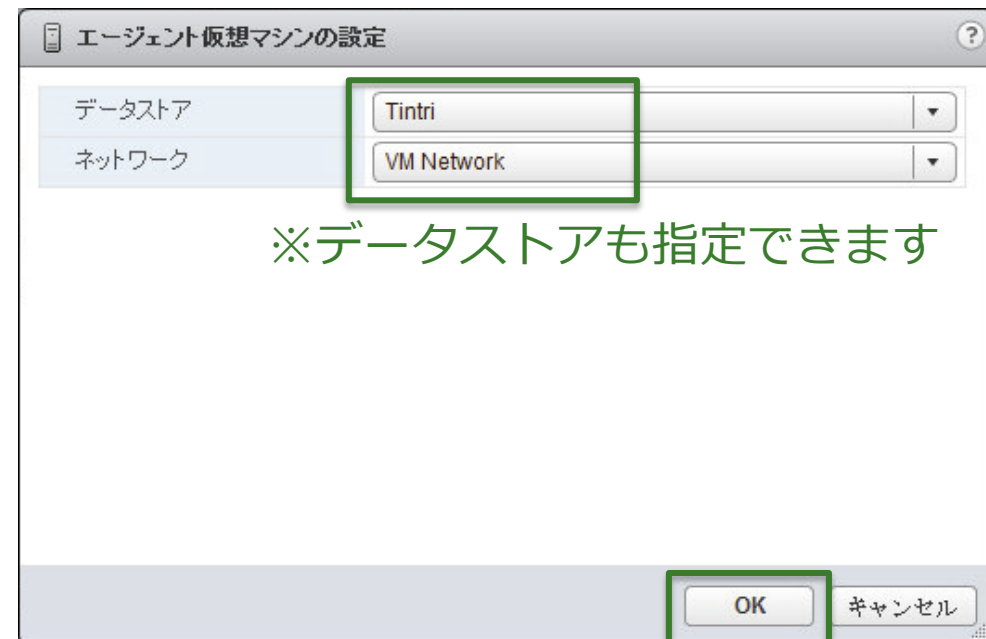
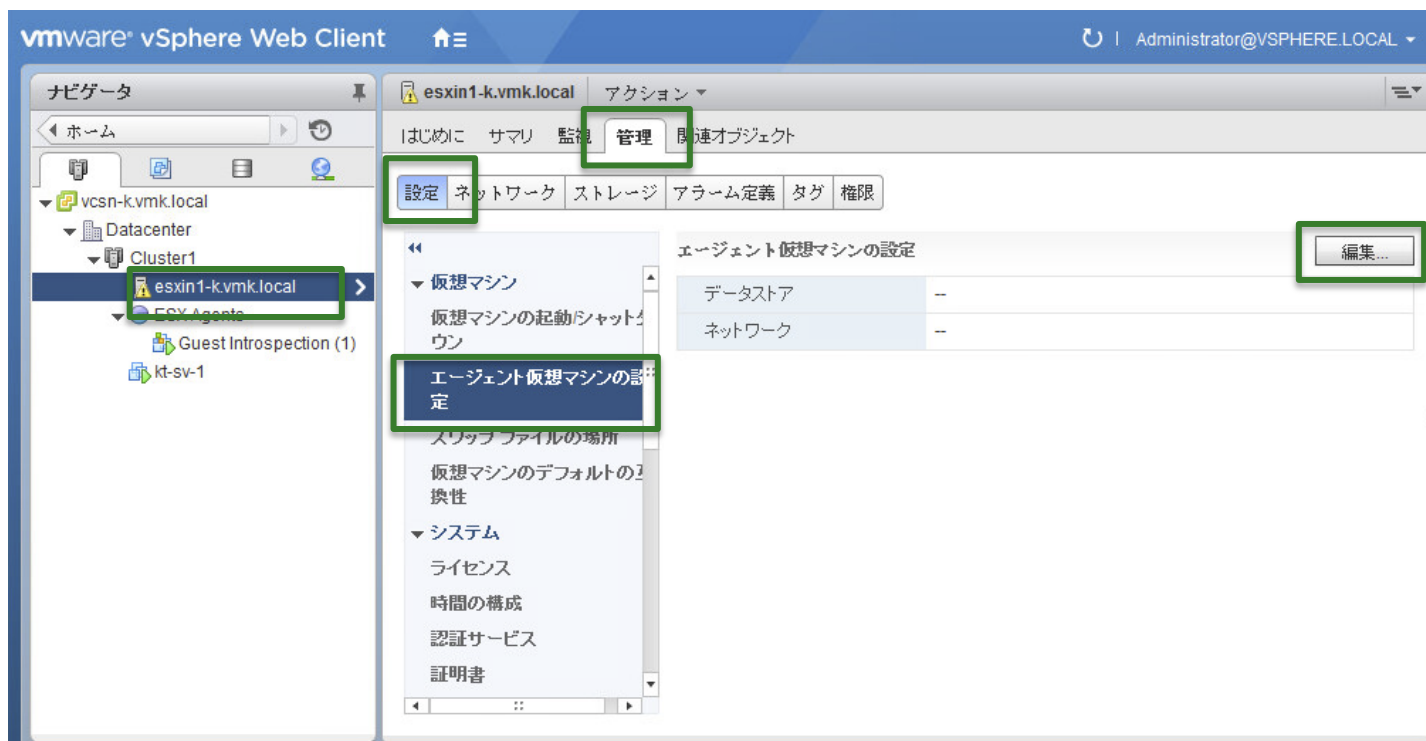
Guest Introspection サービスのデプロイ

標準スイッチ利用の場合、ネットワークを「ホスト上が指定済み」のみ選択可能となる。
その場合は事前にクラスタ内の各ホストにてエージェント仮想マシンの指定を設定する必要あり。

[illegible]

(補足) Guest Introspection サービスのデプロイ

(補足スライド)



終了



Guest Introspection サービスのデプロイ

インストールの状態：成功 サービスステータス：接続中となることを確認

The screenshot shows the VMware vSphere Web Client interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories like 'Networking and Security' and 'Tools'. The main content area is titled 'インストール手順' (Installation Steps) and shows the 'サービスデプロイ' (Service Deploy) step. A table lists the installed services, with 'Guest Introspection' (Guest Intros...) showing a status of '接続中' (Connecting).

サービス	バージョン	インストールの状態	サービス ステータス	クラスター	データストア	ポート グループ	IP アドレス範囲
Guest Intros...	6.2.3	✓ 成功しました	✓ 接続中	CCCluster	vsanDatasto...	DPortGroup ...	DHCP

NSX 6.2.4でのGuest Introspectionのバージョンは
NSX 6.2.3 または、6.2.4と表示される場合がある
(Issue 1730017)

http://pubs.vmware.com/Release_Notes/en/nsx/6.2.4/releasenotes_nsx_vsphere_624.html

Guest Introspection サービスのデプロイ

参考) Guest Introspection がデプロイされている

The screenshot displays the VMware vSphere Client interface. The left pane shows the inventory tree with the path: CCVC1.eucdemo.local > CCDC > CCCluster > ESX Agents > Guest Introspection (1). The right pane shows the details for 'Guest Introspection (1)'.

Guest Introspection (1)

はじめに | サマリ | リソース割り当て | パフォーマンス | タスクおよびイベント

全般

製品:	VMware USVM
バージョン:	6.0.0.0 (6.0.0.0 Build 3929821)
ベンダー:	VMware Inc.
ゲスト OS:	SUSE Linux Enterprise 11 (64 ビット)
仮想マシンのバージョン:	8
CPU:	2 vCPU
メモリ:	1024 MB
メモリ オーバーヘッド:	
VMware Tools:	② 実行中 (管理対象ゲスト)
IP アドレス:	172.16.13.14 すべてを表示
DNS 名:	localhost
EVC モード:	該当なし
状態:	パワーオン
ホスト:	euc-r630-01.eucdemo.local
アクティブなタスク:	
vSphere HA 保護:	✔ 保護済み 🔍

NSX & Deep Security 連携設定

NSX & Deep Security 連携設定

Deep Security Manager にログイン

← → ↻ <https://cc-dsm1.eucdemo.local:4119/SignIn.screen?session=invalidate>

Deep Security

ログイン

ユーザ名:

パスワード:

☐ 多要素認証を使用する

Copyright © 2015 Trend Micro Inc. All rights reserved

NSX & Deep Security 連携設定

コンピュータ > 新規 > VMware vCenterの追加



NSX & Deep Security 連携設定

vCenter接続情報を記入 > 次へ



VMware vCenterの追加ウィザード - Google Chrome

<https://cc-dsm1.eucdemo.local:4119/VirtualWizard.screen?>

追加するvCenterの次の情報を指定してください。

サーバ

サーバのアドレス:

サーバのポート:

名前

名前:

説明:

資格情報

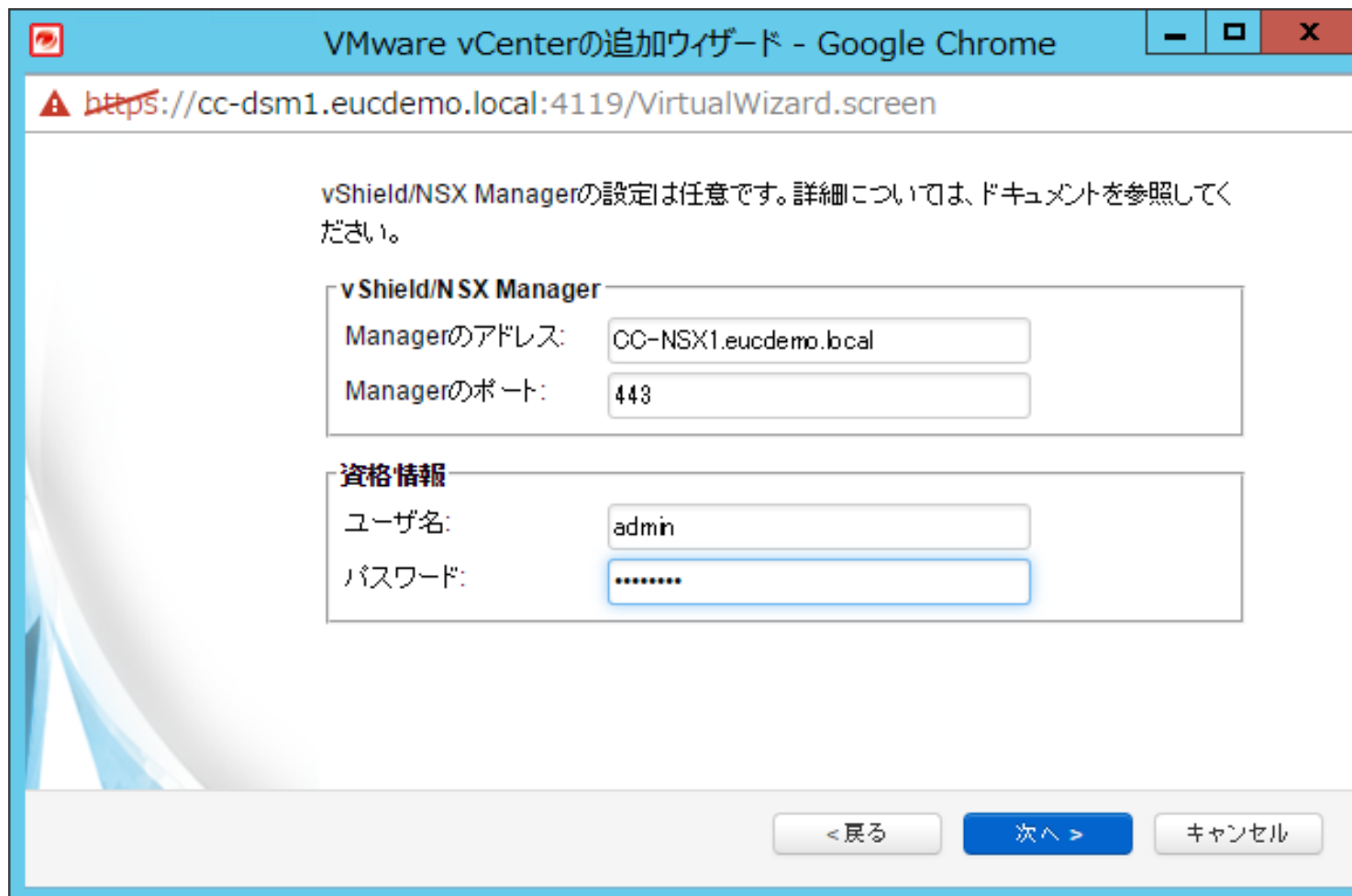
ユーザ名:

パスワード:

< 戻る 次へ > キャンセル

NSX & Deep Security 連携設定

NSX Manager 接続情報を記入 > 次へ



VMware vCenterの追加ウィザード - Google Chrome

<https://cc-dsm1.eucdemo.local:4119/VirtualWizard.screen>

vShield/NSX Managerの設定は任意です。詳細については、ドキュメントを参照してください。

vShield/NSX Manager

Managerのアドレス:

Managerのポート:

資格情報

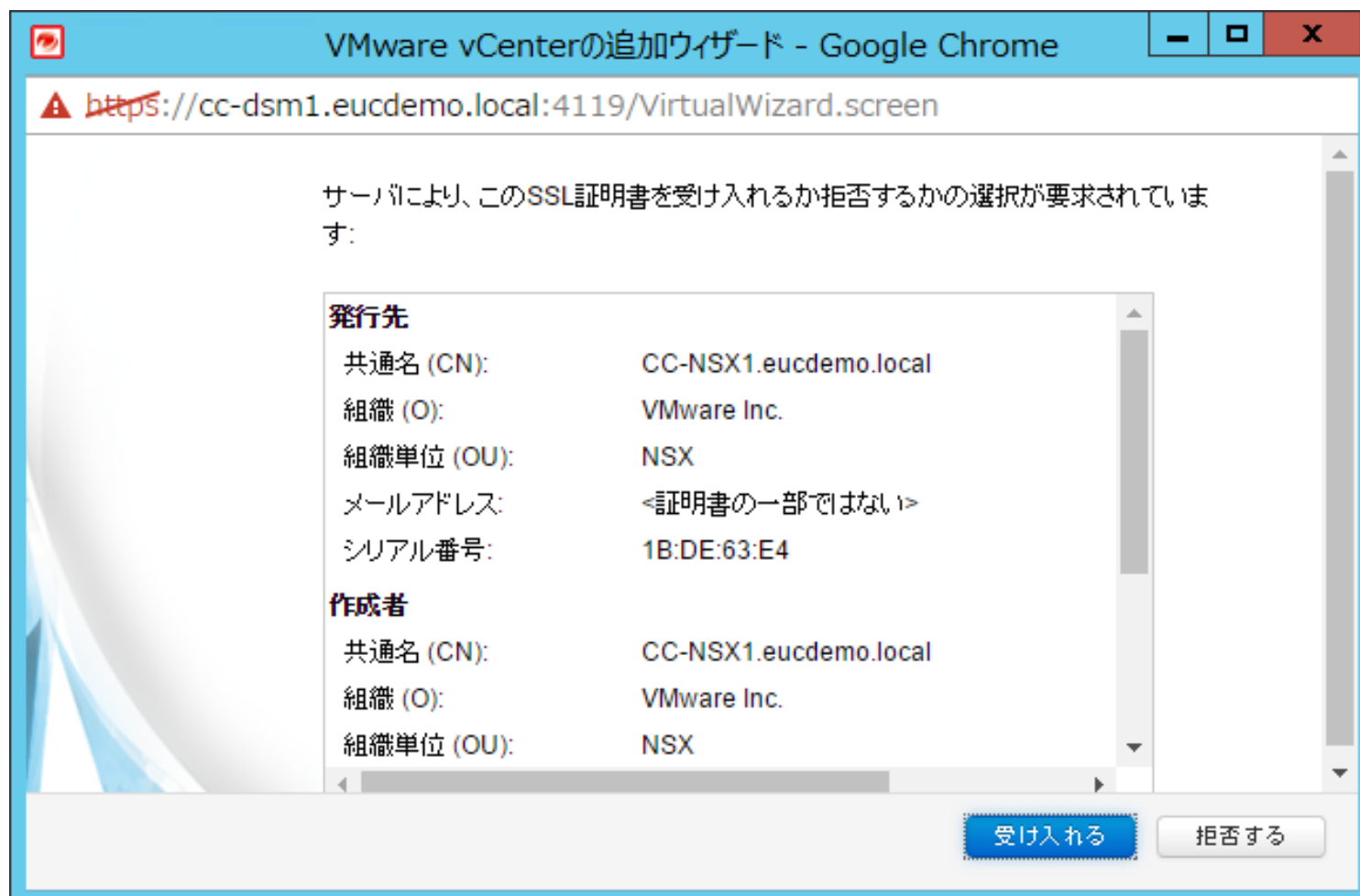
ユーザ名:

パスワード:

< 戻る 次へ > キャンセル

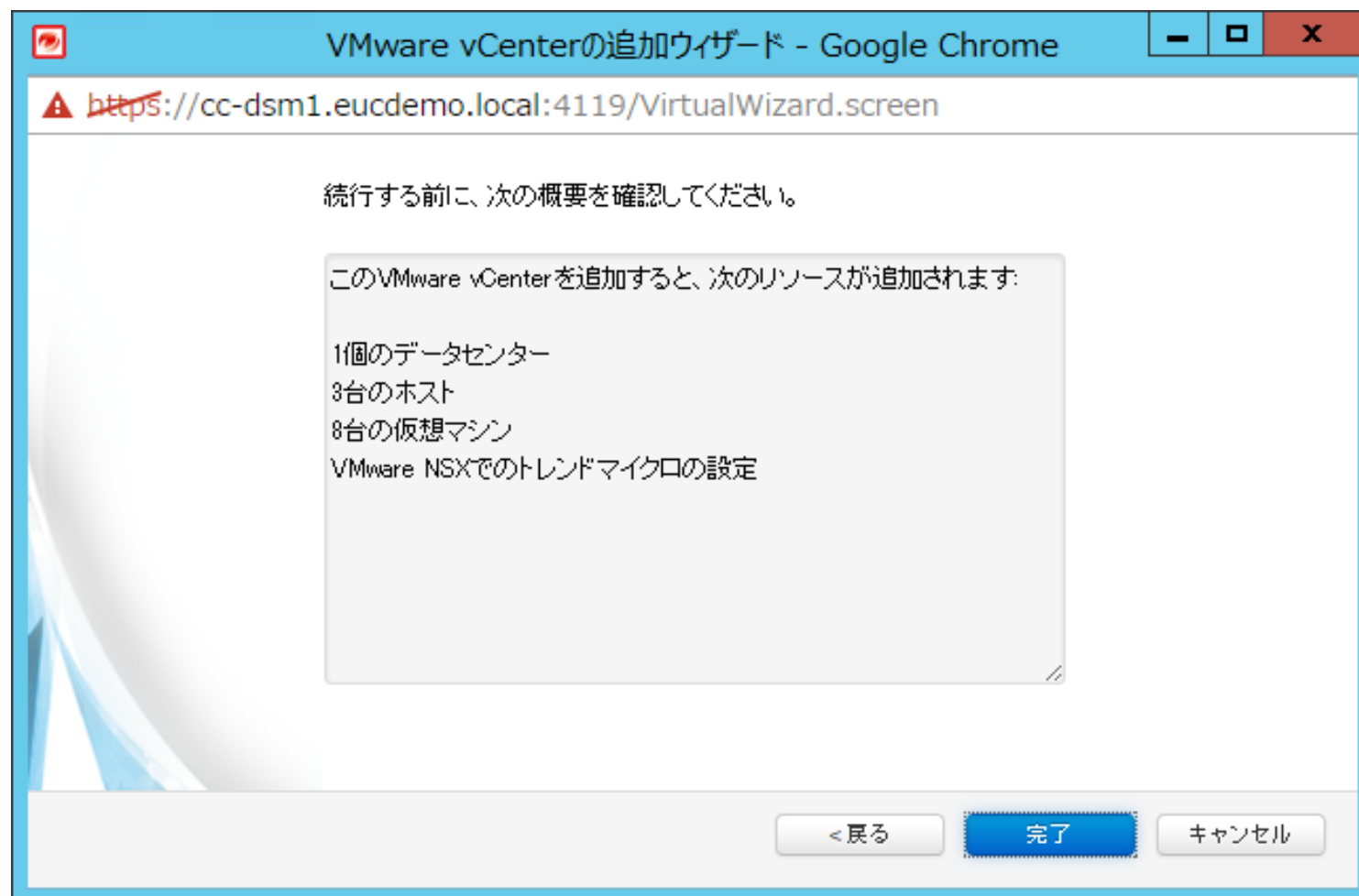
NSX & Deep Security 連携設定

受け入れる



NSX & Deep Security 連携設定

完了



NSX & Deep Security 連携設定

閉じる



NSX for vShiled Endpointの場合、ここで作成されるイベントベースタスクでは、NSXセキュリティグループに追加されたVMは自動的に有効化されないでチェックを外しておく。
※Network Instrospectionサービスが利用出来るNSX有償版では自動的に有効化されるのでチェックを付けたままで問題ないです。

NSX & Deep Security 連携設定

ESXiが表示されていることを確認する

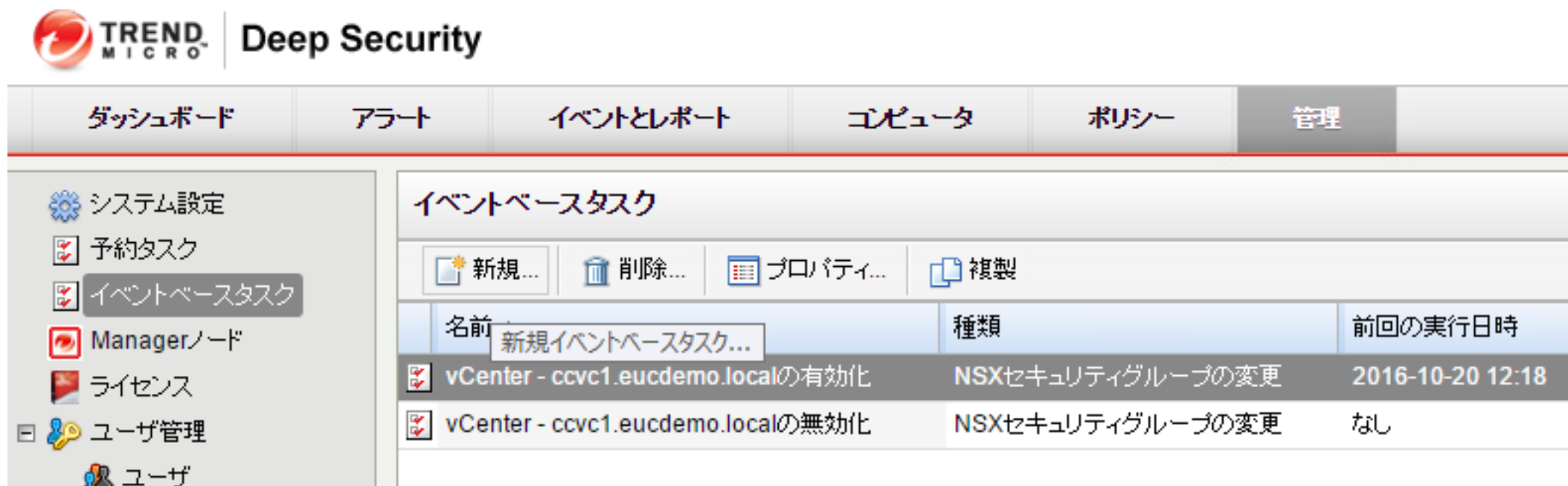


The screenshot shows the Trend Micro Deep Security console. The top navigation bar includes 'ダッシュボード', 'アラート', 'イベントとレポート', 'コンピュータ' (selected), 'ポリシー', and '管理'. The 'コンピュータ' section is active, displaying a list of managed computers. The left sidebar shows a tree view with 'vCenter - ccvc1.eucdemo.local' selected. The main content area shows a table of computers with columns for name, description, platform, policy, status, and last update. The table lists three ESXi hosts under the 'CCDC' cluster, all marked as '非管理対象' (Not Managed).

名前	説明	プラットフォーム	ポリシー	ステータス	ポリシーの送信の成功
コンピュータ (1)					
CC-DSM1.eucdemo.local	Microsoft Win...	Deep Security...	管理対象 (オンライン)	3 時間 前	
コンピュータ > vCenter - ccvc1.eucdemo.local > ホストおよびクラスター > CCDC > CCDCcluster (3)					
euc-r630-01.eucdemo.local	VMware ESXi ...	なし	非管理対象		
euc-r630-02.eucdemo.local	VMware ESXi ...	なし	非管理対象		
euc-r630-03.eucdemo.local	VMware ESXi ...	なし	非管理対象		
コンピュータ > vCenter - ccvc1.eucdemo.local > 仮想マシン > CCDC (2)					

NSX & Deep Security 連携設定

管理 > イベントベースタスク > 新規イベントベースタスク



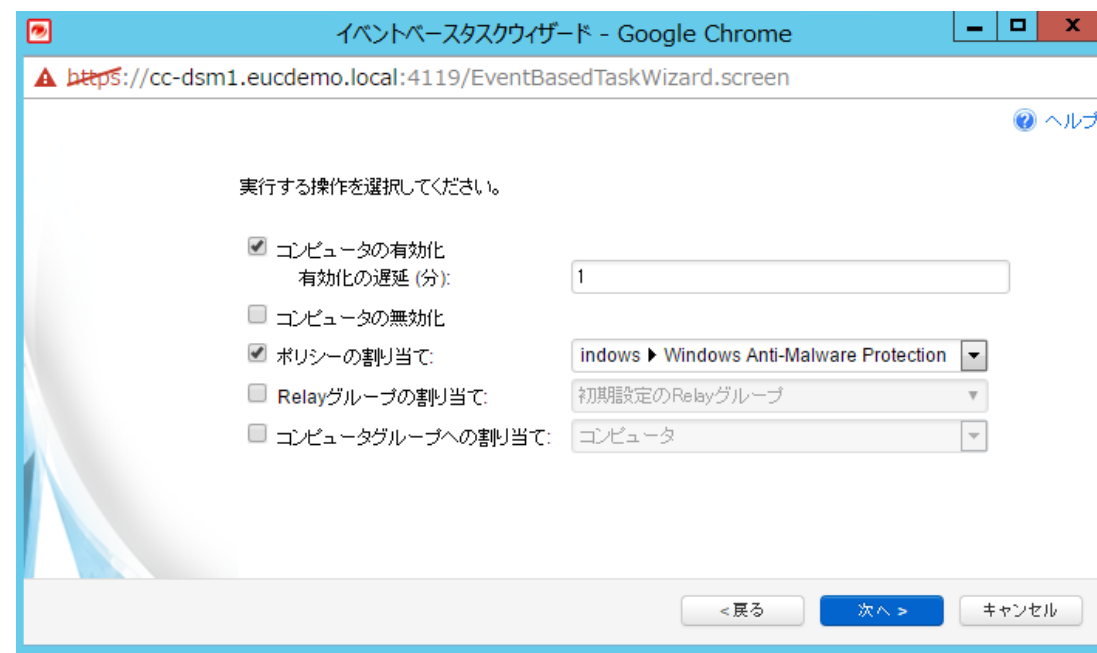
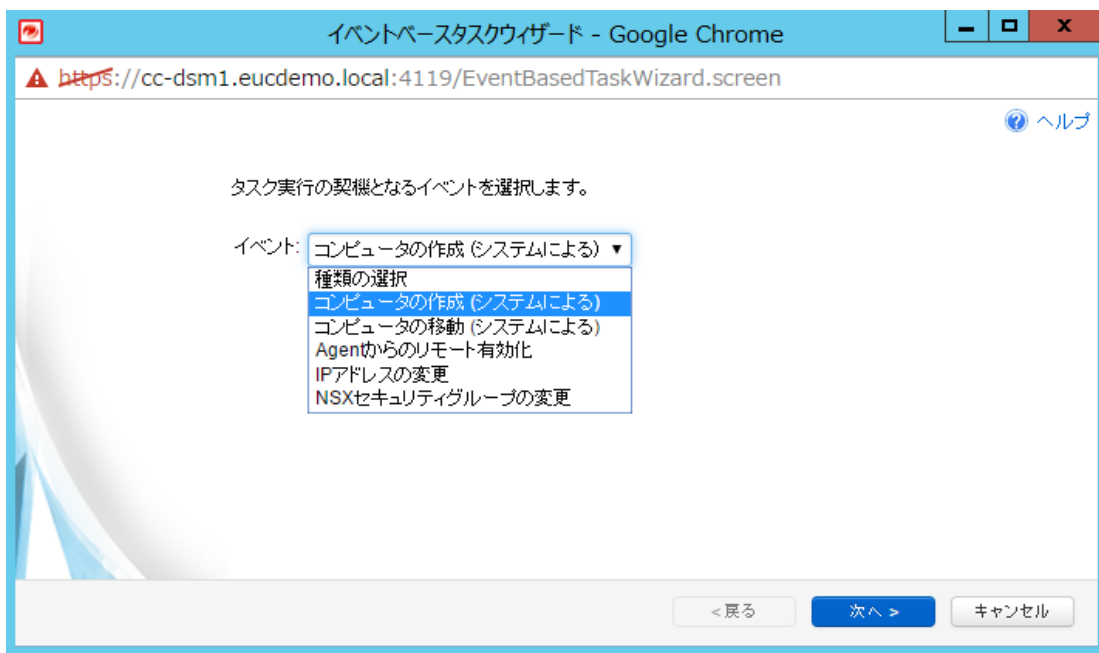
The screenshot displays the Trend Micro Deep Security management interface. The top navigation bar includes tabs for 'ダッシュボード' (Dashboard), 'アラート' (Alerts), 'イベントとレポート' (Events and Reports), 'コンピュータ' (Computers), 'ポリシー' (Policies), and '管理' (Management). The left sidebar contains a tree view with options like 'システム設定' (System Settings), '予約タスク' (Scheduled Tasks), 'イベントベースタスク' (Event-based Tasks), 'Managerノード' (Manager Nodes), 'ライセンス' (Licenses), 'ユーザ管理' (User Management), and 'ユーザ' (Users). The main content area is titled 'イベントベースタスク' (Event-based Task) and features a toolbar with '新規...' (New...), '削除...' (Delete...), 'プロパティ...' (Properties...), and '複製' (Copy). Below the toolbar is a table listing existing tasks.

名前	種類	前回の実行日時
新規イベントベースタスク...		
vCenter - ccvc1.eucdemo.localの有効化	NSXセキュリティグループの変更	2016-10-20 12:18
vCenter - ccvc1.eucdemo.localの無効化	NSXセキュリティグループの変更	なし

NSX & Deep Security 連携設定

コンピュータの作成 > 次へ

コンピュータの有効化,ポリシーの割り当て > 次へ



NSX & Deep Security 連携設定

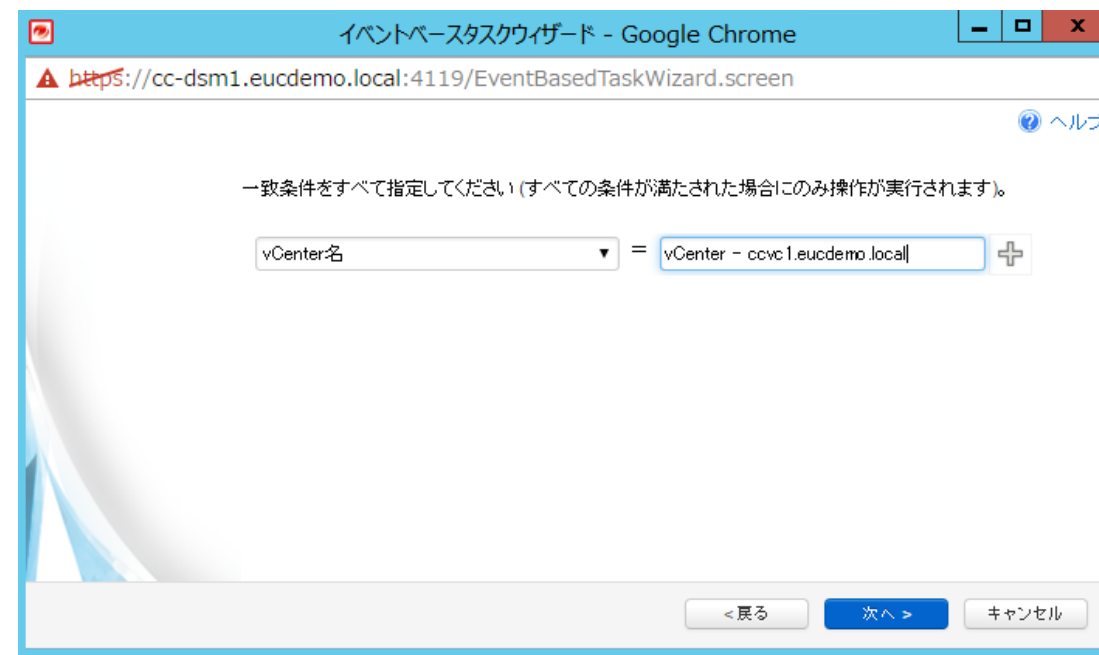
(参考) 条件指定

<http://esupport.trendmicro.com/solution/ja-JP/1111498.aspx>

本書は、vCenterを指定して利用した
(下記の部分をコピー)

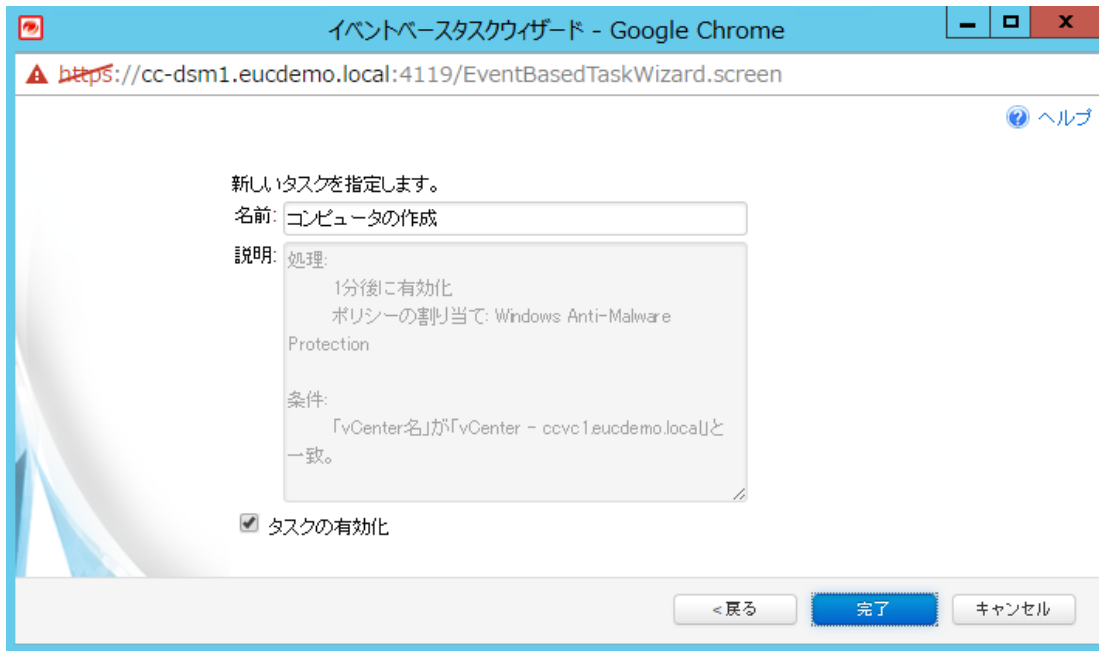


vCenter 選択 > 条件指定に従い記載 > 次へ



NSX & Deep Security 連携設定

完了



イベントベースタスクウィザード - Google Chrome

https://cc-dsm1.eucdemo.local:4119/EventBasedTaskWizard.screen

ヘルプ

新しいタスクを指定します。

名前: コンピュータの作成

説明:

処理:
1分後に有効化
ポリシーの割り当て: Windows Anti-Malware Protection

条件:
「vCenter名」が「vCenter - ccvc1.eucdemo.local」と一致。

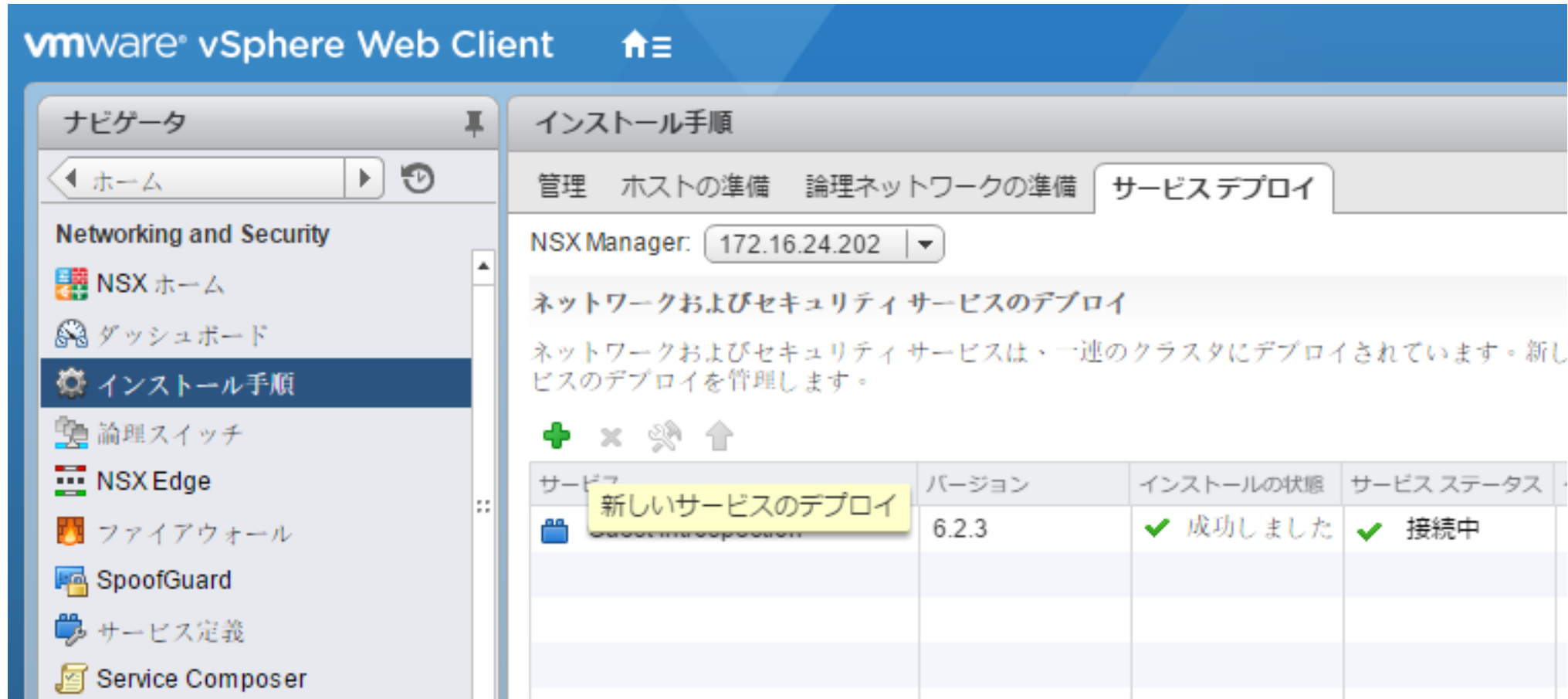
☒ タスクの有効化

< 戻る 完了 キャンセル

Deep Security サービスのデプロイ

Deep Security サービスのデプロイ

Networking and Security > インストール手順 > サービスデプロイ > 新しいサービスのデプロイ



vmware® vSphere Web Client

ナビゲータ

- ホーム
- Networking and Security
 - NSX ホーム
 - ダッシュボード
 - インストール手順
 - 論理スイッチ
 - NSX Edge
 - ファイアウォール
 - SpoofGuard
 - サービス定義
 - Service Composer

インストール手順

管理 ホストの準備 論理ネットワークの準備 サービスデプロイ

NSX Manager: 172.16.24.202

ネットワークおよびセキュリティ サービスのデプロイ

ネットワークおよびセキュリティ サービスは、一連のクラスタにデプロイされています。新しいサービスのデプロイを管理します。

サービス	バージョン	インストールの状態	サービス ステータス
新しいサービスのデプロイ	6.2.3	✓ 成功しました	✓ 接続中

Deep Security サービスのデプロイ

Trend Micro Deep Security をチェック > 次へ

ネットワークおよびセキュリティ サービスのデプロイ

1 サービスおよびスケジュールの選択

2 クラスターの選択

3 ストレージおよび管理ネットワークの選択

4 設定の確認

サービスおよびスケジュールの選択

デプロイするネットワークおよびセキュリティ サービスを選択します（複数選択可）。デプロイ スケジュールを指定することもできます。

サービスの選択：

Q フィルタ

<input type="checkbox"/>	名前	説明	カテゴリ
<input type="checkbox"/>	VMware Data Security	Discovery of sensitive data at rest	
<input type="checkbox"/>	Guest Introspection	Base service for all solutions based o...	
<input checked="" type="checkbox"/>	Trend Micro Deep Security	仮想マシンとデスクトップのための...	
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			

スケジュールを指定する：
☒ 今すぐデプロイする ☐ デプロイをスケジュール設定する 18:38

戻る

次へ

終了

キャンセル

クラスターの選択 > 次へ

vmware®

Deep Security サービスのデプロイ

ストレージとネットワークの選択 > 次へ

ネットワークおよびセキュリティ サービスのデプロイ

✓ 1 サービスおよびスケジュールの選択

✓ 2 クラスタの選択

3 ストレージおよび管理ネットワークの選択

4 設定の確認

ストレージおよび管理ネットワークの選択

使用するサービスごとにネットワークおよび IP アドレス範囲を割り当てます。

サービス	クラスタ	データストア	ネットワーク	IP 割り当て
Trend Micro Deep ...	CCLuster	vsanDatastore ▼	DPortGroup VL... ▼	DHCP 変更

戻る

次へ

終了

キャンセル

(補足)

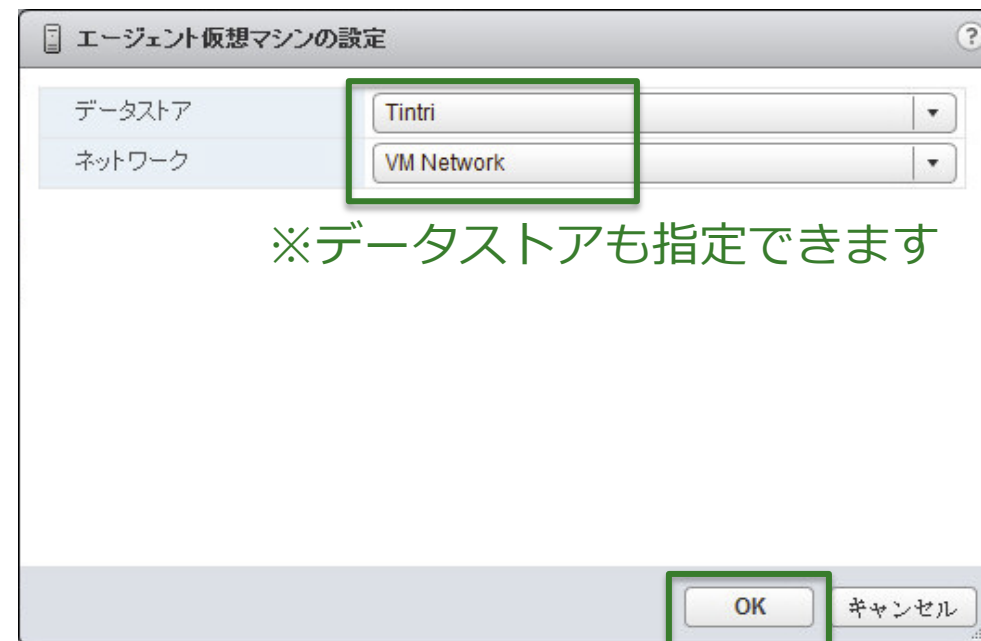
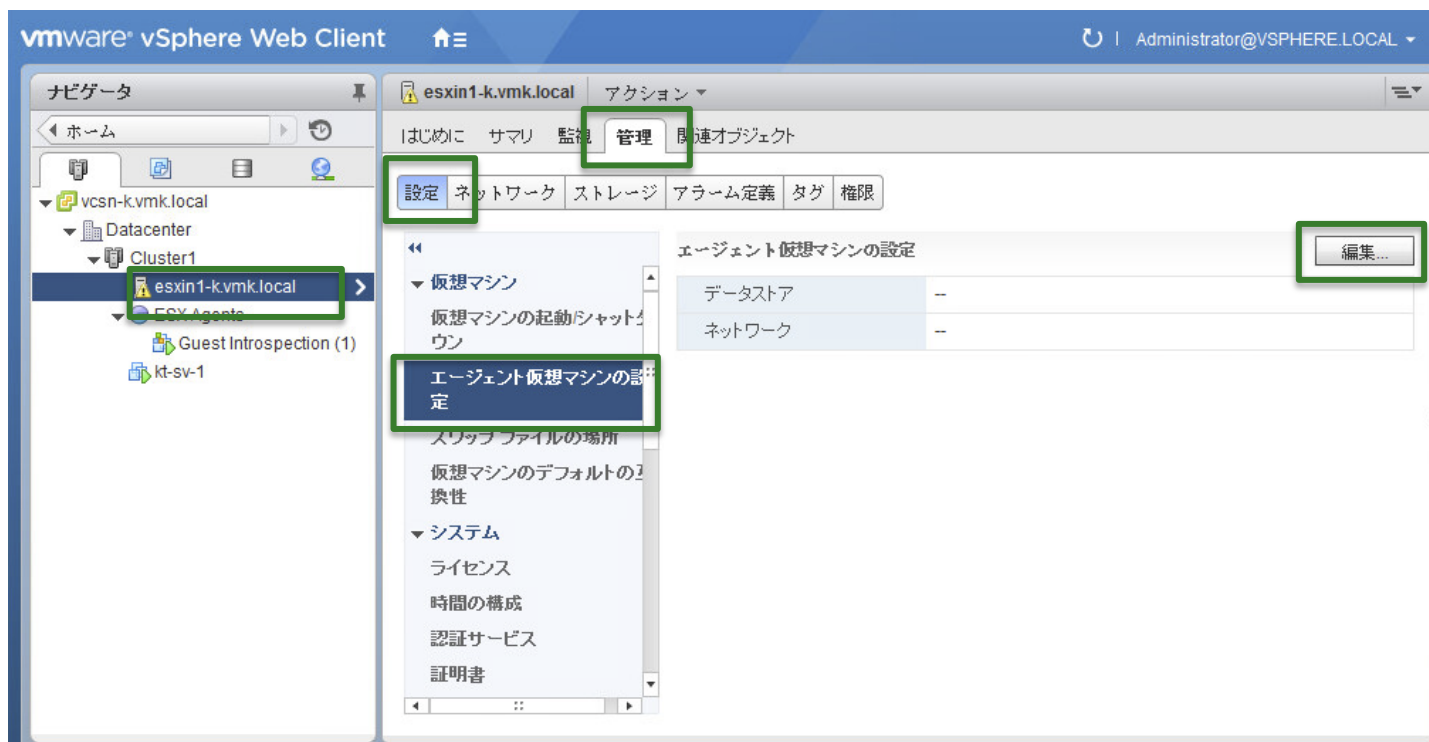
Deep Security サービスのデプロイ

標準スイッチ利用の場合、ネットワークを「ホスト上が指定済み」のみ選択可能となる。
その場合は事前にクラスタ内の各ホストにてエージェント仮想マシンの指定を設定する必要あり。

[illegible]

(補足) Deep Security サービスのデプロイ

DSVAのインストール先としては各ホストのデータストア上にインストールしてください。
もし共有ストレージ上にインストールする場合は、DSVAがStorage vMotionされないように設計する。



KB: VMware NSX for vSphere 6.x でサービス仮想マシン (SVM) が移行されると ESXi ホストの問題が発生する可能性がある
https://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en_US&cmd=displayKC&externalId=2144144

Deep Security サービスのデプロイ

終了

ネットワークおよびセキュリティ サービスのデプロイ

1 サービスおよびスケジュールの選択

2 クラスタの選択

3 ストレージおよび管理ネットワークの選択

4 設定の確認

設定の確認

ウィザードを終了する前に設定を確認してください。

スケジュール時刻: 現在

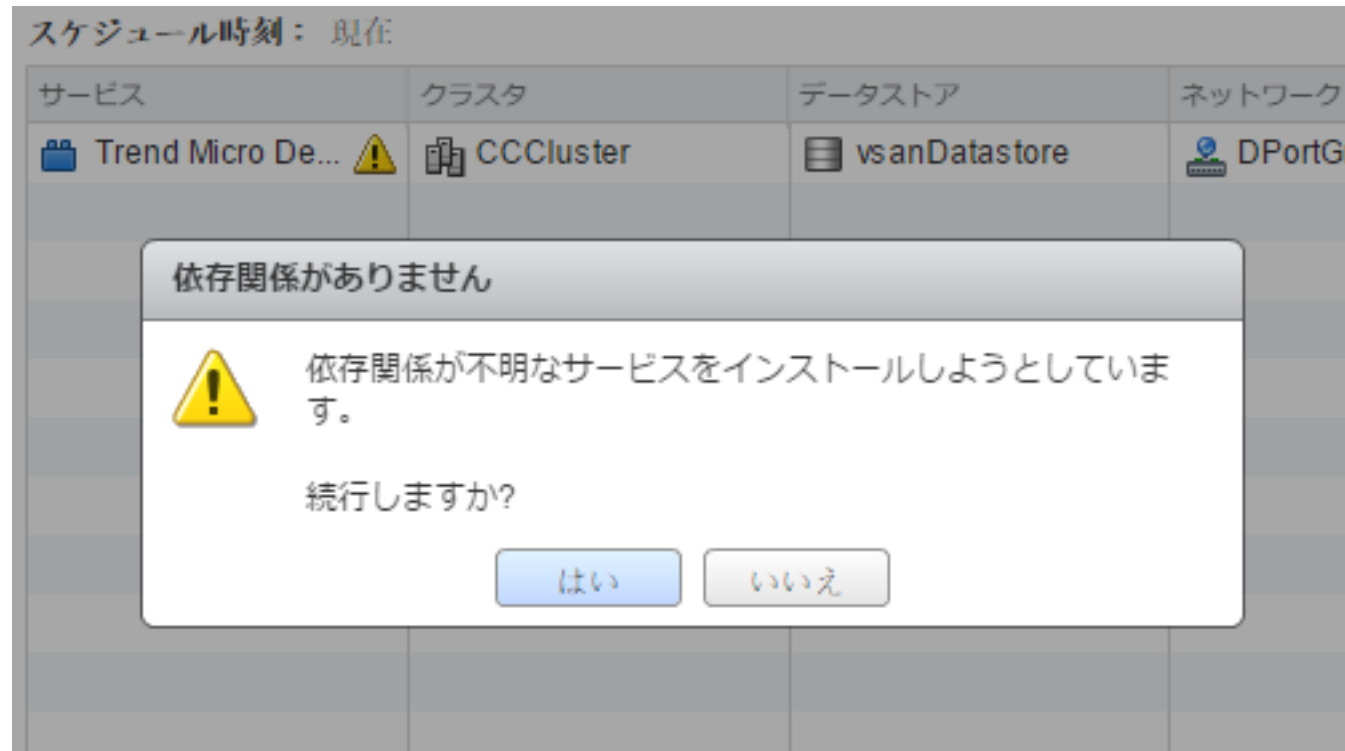
サービス	クラスタ	データストア	ネットワーク	IP 割り当て
Trend Micro De...	CCCluster	vsanDatastore	DPortGroup VLAN12	DHCP

戻る 次へ 終了 キャンセル

<!>が出るのは、問題なし。下記KB参照願います。
<https://success.trendmicro.com/solution/1114473>

Deep Security サービスのデプロイ

はい



<!>が出るのは、問題なし。下記KB参照願います。
<https://success.trendmicro.com/solution/1114473>

Deep Security サービスのデプロイ

(しばらくすると) インストールの状態は“失敗”、サービスステータスは“接続中”となる

vmware® vSphere Web Client 18:47 に更新 | Administrator@VSPHERE.LOCAL | ヘルプ

ナビゲータ

- ホーム
- Networking and Security
 - NSX ホーム
 - ダッシュボード
 - インストール手順
 - 論理スイッチ
 - NSX Edge
 - ファイアウォール
 - SpoofGuard
 - サービス定義
 - Service Composer
 - Data Security
 - ツール
 - フロー モニタリング
 - アクティビティ モニ...
 - トレースフロー

インストール手順

管理 ホストの準備 論理ネットワークの準備 サービスデプロイ

NSX Manager: 172.16.24.202

ネットワークおよびセキュリティサービスのデプロイ

ネットワークおよびセキュリティ サービスは、一連のクラスタにデプロイされています。新しいサービスを追加したり、既存のサービスを削除したりして、ここでサービスのデプロイを管理します。

サービス	バージョン	インストールの状態	サービスステータス	クラスタ	データストア	ポートグループ	IP アドレス範囲
Guest Introspection	6.2.3	成功しまし...	接続中	CCCluster	vsanData...	DPortGrou...	DHCP
Trend Micro Deep Security	9.6	失敗	接続中	CCCluster	vsanData...	DPortGrou...	DHCP

<失敗>が出るのは、問題なし。下記KB参照願います。
<https://success.trendmicro.com/solution/1114473>

2 項目

Deep Security サービスのデプロイ

参考) Deep Security がホスト毎にデプロイされている

仮想マシンについて

仮想マシンは、物理コンピュータと同様に、オペレーティング システムおよびアプリケーションを実行するソフトウェア コンピュータです。仮想マシン上にインストールしたオペレーティング システムのことを、ゲスト オペレーティング システム (ゲスト OS) といいます。

仮想マシンはそれぞれ隔離されたコンピュータ環境であるため、それらの仮想マシンを、デスクトップまたはワークステーション環境として、あるいはテスト環境として使用したり、サーバ アプリケーションの統合に使用したりできます。

vCenter Server では、仮想マシンはホスト上またはクラスター上で実行されます。同一のホストで多数の仮想マシンを実行できます。

基本タスク

- 仮想マシンのシャットダウン
- 仮想マシンのサスペンド
- 仮想マシン設定の編集

最近のタスク

名前	ターゲット	ステータス	詳細	開始者
仮想マシンの再構成	Trend Micro Deep Security (3)	完了		VSPHERE.LO...
仮想マシンの再構成	Trend Micro Deep Security (2)	完了		VSPHERE.LO...
仮想マシンのパワーオン	Trend Micro Deep Security (3)	完了		
XXX eam.agent.enable.label not f...	euc-r630-03.eucdemo.local	完了		com.vmware....
仮想マシンの再構成	Trend Micro Deep Security (3)	完了		VSPHERE.LO...
仮想マシンの再構成	Trend Micro Deep Security (1)	完了		VSPHERE.LO...
仮想マシンのパワーオン	Trend Micro Deep Security (2)	完了		
XXX eam.agent.enable.label not f...	euc-r630-02.eucdemo.local	完了		com.vmware....

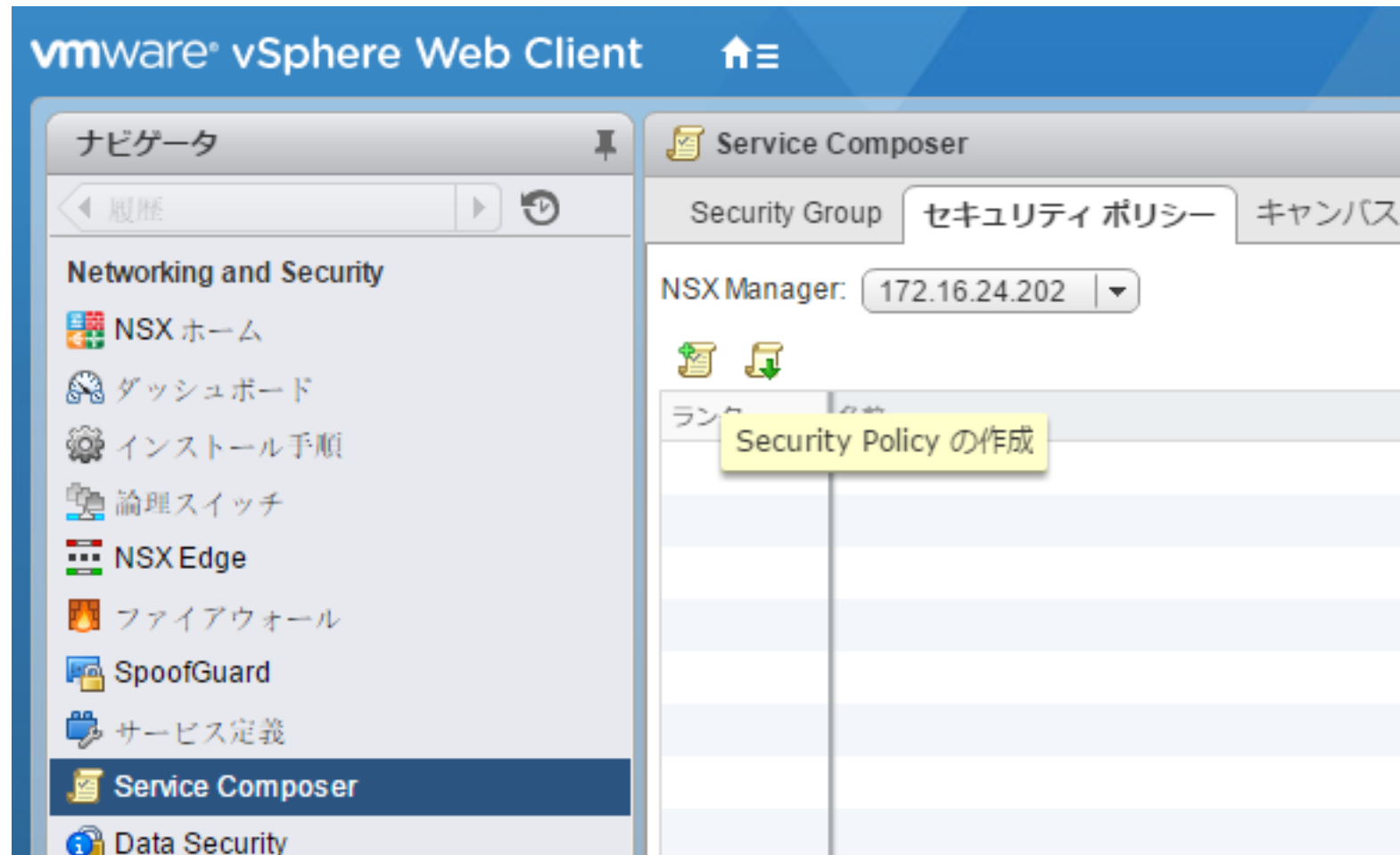
正常にデプロイされない場合は、必要なモジュールがDSM上に展開されない可能性があります。

「Appendix 1: モジュールの追加」を参照願います。

Security Group & Policy 設定

Security Group & Policy 設定

Service Composer > セキュリティ ポリシー > Security Policy の作成



Security Group & Policy 設定

“名前：” を記入 > 次へ

The screenshot shows the 'New Security Policy' (新規セキュリティ ポリシー) wizard in VMware. The left sidebar lists five steps, all marked with green checkmarks: 1. Name and Description (名前および説明), 2. Guest Introspection Service (ゲスト イントロスペクション サービス), 3. Firewall Rules (ファイアウォール ルール), 4. Network Introspection Service (ネットワーク イントロスペクション サービス), and 5. Completion (終了準備の完了). The main area is for step 1, where the 'Name' (名前) field is filled with 'Policy1'. The 'Description' (説明) field is empty. Below these fields is an unchecked checkbox for 'Inheritance' (セキュリティ ポリシーの継承) and a 'Parent Policy' (親ポリシー) dropdown menu. A 'Details' (詳細オプション) section is collapsed. At the bottom, there are four buttons: 'Back' (戻る), 'Next' (次へ), 'Finish' (終了), and 'Cancel' (キャンセル). The 'Next' button is highlighted in blue.

新規セキュリティ ポリシー

✓ 1 名前および説明

✓ 2 ゲスト イントロスペクション サービス

✓ 3 ファイアウォール ルール

✓ 4 ネットワーク イントロスペクション サービス

✓ 5 終了準備の完了

名前: Policy1

説明:

☐ セキュリティ ポリシーの継承

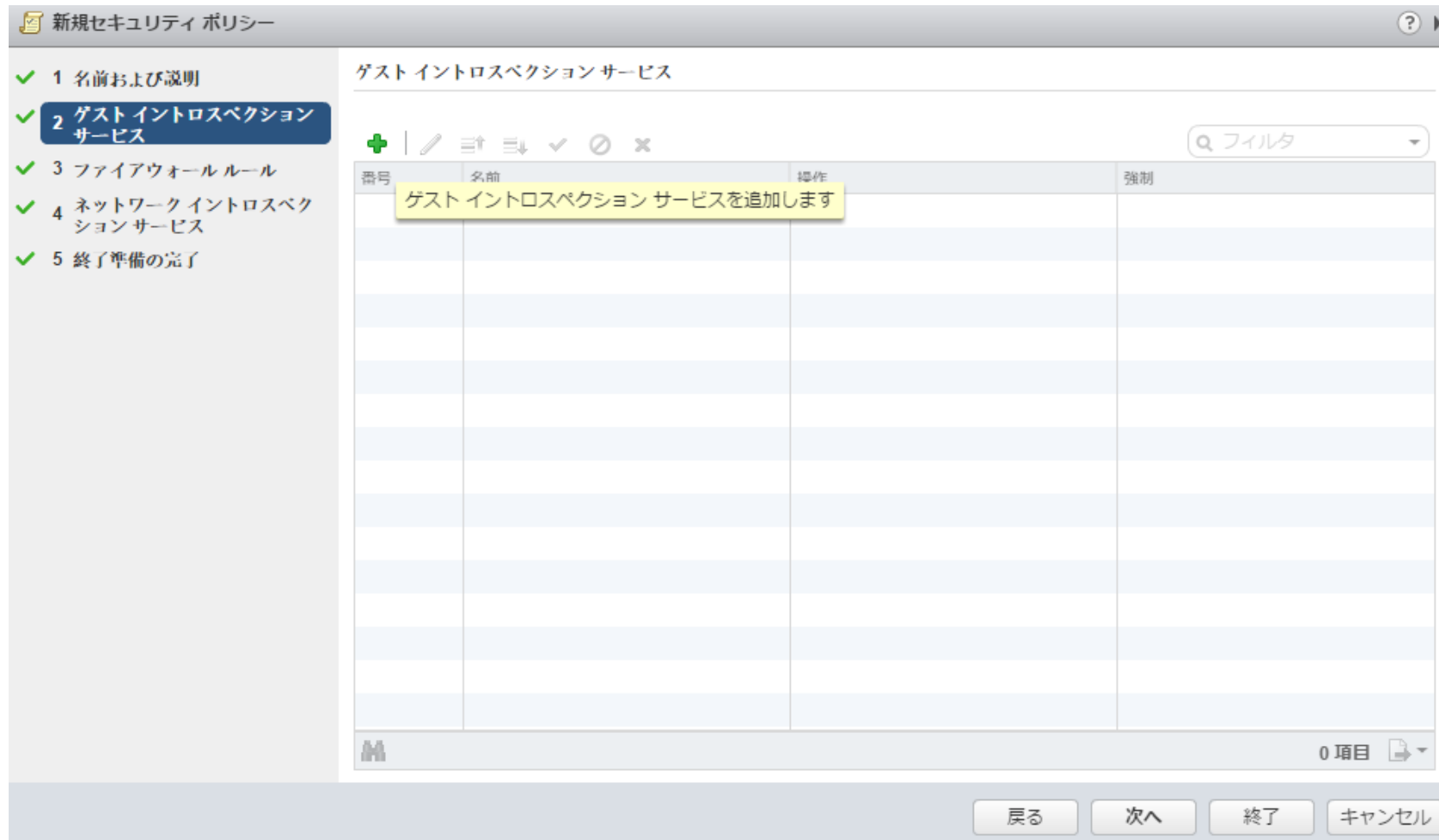
親ポリシー:

▶ 詳細オプション

戻る 次へ 終了 キャンセル

Security Group & Policy 設定

“ゲストイントロスペクションサービスを追加します” を選択



Security Group & Policy 設定

“名前:”を記入 > サービス名: Trend Micro Deep Security >
SP: Default(EBT)… > OK > 終了



ゲストイントロスペクション サービスの追加

名前: GI Service1

説明:

操作: ☒ 適用 ☐ ブロック

サービス種別: Anti Virus

サービス名: Trend Micro Deep Security

サービスプロファイル: Default (EBT) (IDS IPS, Anti Virus, File Integrity ...)

状態: ☒ 有効 ☐ 無効

強制: ☒ 可 ☐ なし

選択したサービス プロファイルは、複数のサービス カテゴリをサポートしており、強制的に適用されます。

OK キャンセル

Security Group & Policy 設定

Service Composer > Security Group > 新規 Security Group

The screenshot shows the VMware vSphere Web Client interface. The left sidebar (ナビゲータ) lists various components under 'Networking and Security', with 'Service Composer' selected. The main panel displays the 'Service Composer' configuration for 'Security Group'. It includes a tab for 'Security Group' and 'セキュリティ ポリシー', an 'NSX Manager' dropdown set to '172.16.24.202', and a table for managing security groups. A yellow tooltip '新規 Security Group' is visible over the first row of the table.

名前	説明	セキ:
新規 Security Group		4

Security Group & Policy 設定

“名前:” を記述 > 次へ

新規 Security Group

✓ 1 名前および説明

✓ 2 動的メンバーシップの定義

✓ 3 含めるオブジェクトの選択

✓ 4 除外するオブジェクトの選択

✓ 5 終了準備の完了

名前および説明

名前: * Security Group 1

説明:

ス... グローバル

戻る

次へ

終了

キャンセル

Security Group & Policy 設定

(ここではInstant Clone VMが自動的に登録されるように、InstantClone の接頭語を記載)
環境に合わせて、適用条件を設定 > 終了

新規 Security Group

- ✓ 1 名前および説明
- ✓ **2 動的メンバーシップの定義**
- ✓ 3 含めるオブジェクトの選択
- ✓ 4 除外するオブジェクトの選択
- ✓ 5 終了準備の完了

動的メンバーシップの定義

オブジェクトがこの Security Group の一部となるために満たす必要がある動的メンバーシップ基準を指定します。

+

メンバーシップ基準 1

一致 任意 の基準と一致するメンバー

基準の詳細

追加

仮想マシン名 先頭が CC-IC01

戻る 次へ 終了 キャンセル

Security Group & Policy 設定

(設定通りのVMが対象になっていることを確認する)

The screenshot displays the VMware vSphere Web Client interface. On the left, the 'ナビゲータ' (Navigator) pane shows the 'Service Composer' section selected under 'Networking and Security'. The main area shows the 'Security Group' configuration for 'Security Group 1'. The 'NSX Manager' is set to '172.16.24.202'. A table lists the security group members:

名前	説明	セキュリティ ポリ...
Activity Monitoring...		4
Security Group 1		0

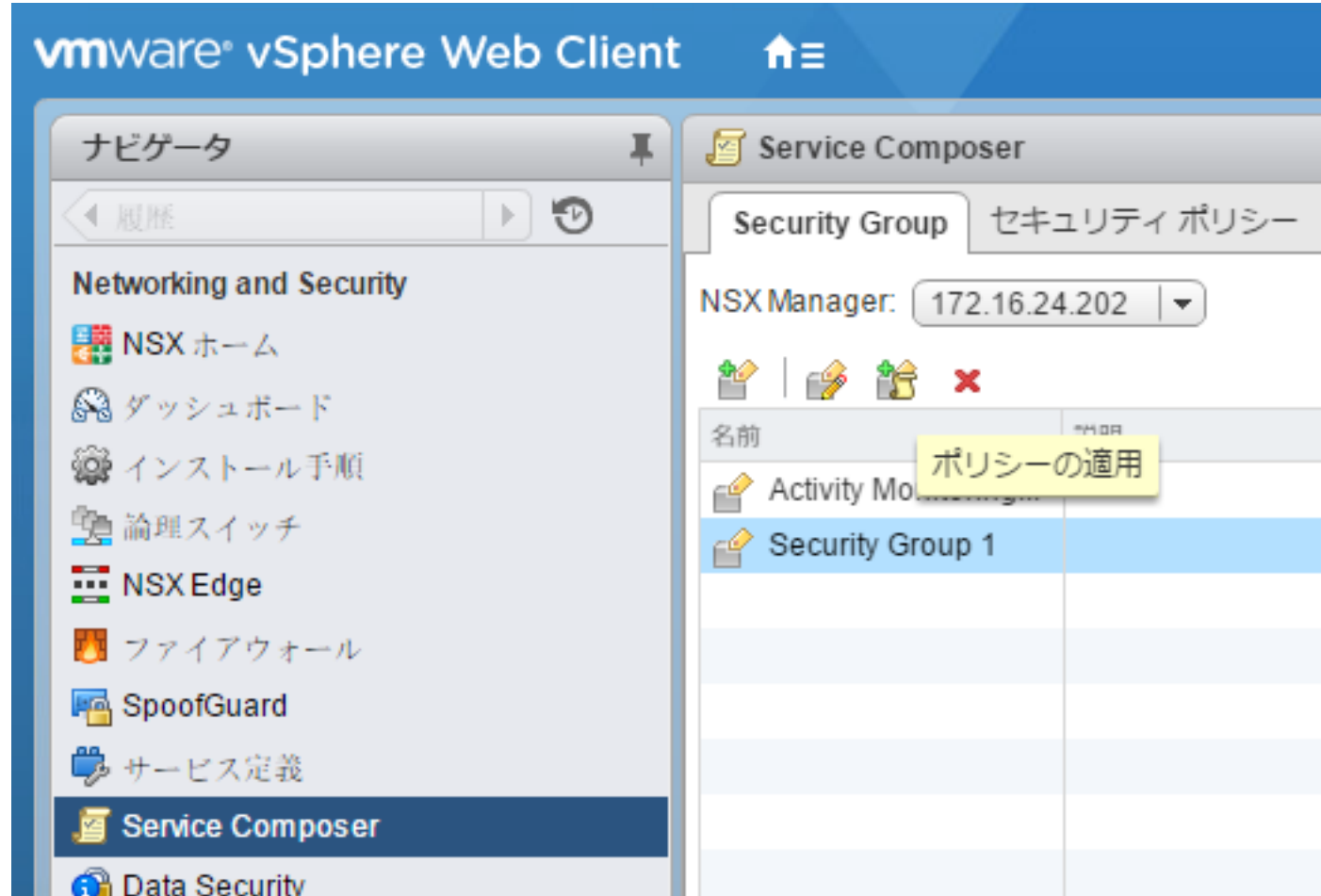
A modal window titled 'Security Group 1 - 仮想マシン' is open, showing a list of virtual machines (VMs) under the '仮想マシン' tab. The list includes:

- CC-IC01-01
- CC-IC01-02
- CC-IC01-03

The modal also shows a search filter 'フィルタ' and a timestamp '2016/10/17 13:34 時点のメンバー'.

Security Group & Policy 設定

(先ほど作成したSGを選択) > ポリシーの適用



Security Group & Policy 設定

ポリシーを選択 > OK


Security Group 1 - ポリシーの適用


適用するセキュリティ ポリシーの選択:

フィルタ

(1) 個の選択されたオブジェクト

Q フィルタ

	名前	説明	適用先
<input checked="" type="checkbox"/>	 Policy1		



1 項目

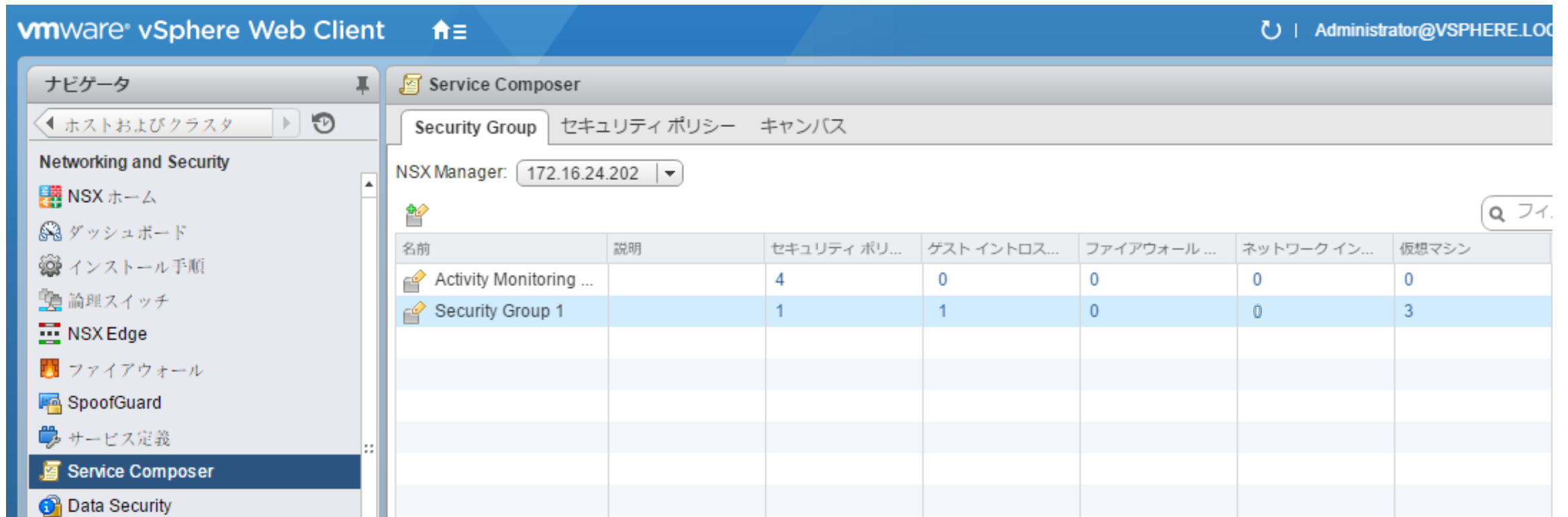
新規セキュリティ ポリシー...

OK

キャンセル

Security Group & Policy 設定

(設定した通りにポリシーが適用されていることを確認)



vmware® vSphere Web Client Administrator@VSPHERE.LOC

ナビゲータ

Service Composer

Security Group セキュリティ ポリシー キャンパス


NSX Manager: 172.16.24.202

名前	説明	セキュリティ ポリ...	ゲスト イントロス...	ファイアウォール ...	ネットワーク イン...	仮想マシン
Activity Monitoring ...		4	0	0	0	0
Security Group 1		1	1	0	0	3

Security Group & Policy 設定

(動作確認) 実際にVMを作成してテストする。

VMが作成された際にタスクが実行されることを確認する。前回の実行日時が更新されればOK



The screenshot shows the Trend Micro Deep Security console interface. The top navigation bar includes the Trend Micro logo, the product name 'Deep Security', and the user 'MasterAdmin' with a 'Logout' link. Below this is a main navigation bar with tabs: 'Dashboard', 'Alerts', 'Events and Reports', 'Computers', 'Policies', and 'Management' (which is selected). On the left side, there is a sidebar menu with options: 'System Settings', 'Scheduled Tasks', 'Event-based Tasks' (highlighted), 'Manager Nodes', 'Licenses', 'User Management', 'Users', and 'Roles'. The main content area is titled 'Event-based tasks' and contains a search bar and action buttons: 'New...', 'Delete...', 'Properties...', and 'Copy'. Below these is a table with the following data:

名前 ▲	種類	前回の実行日時	有効	詳細
<input checked="" type="checkbox"/> vCenter - ccvc1.eucdemo.localの有効化	NSXセキュリティグループの変更	2016-10-20 12:18		5分後に有効化
<input checked="" type="checkbox"/> vCenter - ccvc1.eucdemo.localの無効化	NSXセキュリティグループの変更	なし		コンピュータの無効化
<input checked="" type="checkbox"/> コンピュータの作成	コンピュータの作成 (システムによる)	2016-11-10 17:08	✓	1分後に有効化. ポリシーの割り当て: Windows Anti-Mal...

Security Group & Policy 設定

(動作確認) VM作成時に有効化のタスクが実行されることを確認する

The screenshot displays the Trend Micro Deep Security management interface. The left sidebar shows a hierarchical tree of the environment: コンピュータ > vCenter - ccvc1.eucdemo.local > Datacenters > CCDC > CC-Desktops > CC-IC01. The main panel is titled 'CC-IC01' and includes filters for 'サブグループを含む' and 'グループ別'. Below the filters are buttons for '新規', '削除...', '詳細...', '処理', 'イベント', 'エクスポート', and '列...'. A table lists the members of the CC-IC01 group, showing their names, descriptions, platforms, policies, and status.

名前 ▲	説明	プラットフォーム	ポリシー	ステータス
コンピュータ > vCenter - ccvc1.eucdemo.local > Datacenters > CCDC > CC-Desktops > CC-IC01 (3)				
(CC-IC01-01)		Microsoft Win...	Windows Anti-Malware Prot...	有効化中 (遅延)
CC-IC01-02.eucdemo.local (CC-IC01-02)		Microsoft Win...	Windows Anti-Malware Prot...	● 管理対象 (オンライン)
CC-IC01-03.eucdemo.local (CC-IC01-03)		Microsoft Win...	Windows Anti-Malware Prot...	● 管理対象 (オンライン)

動作確認

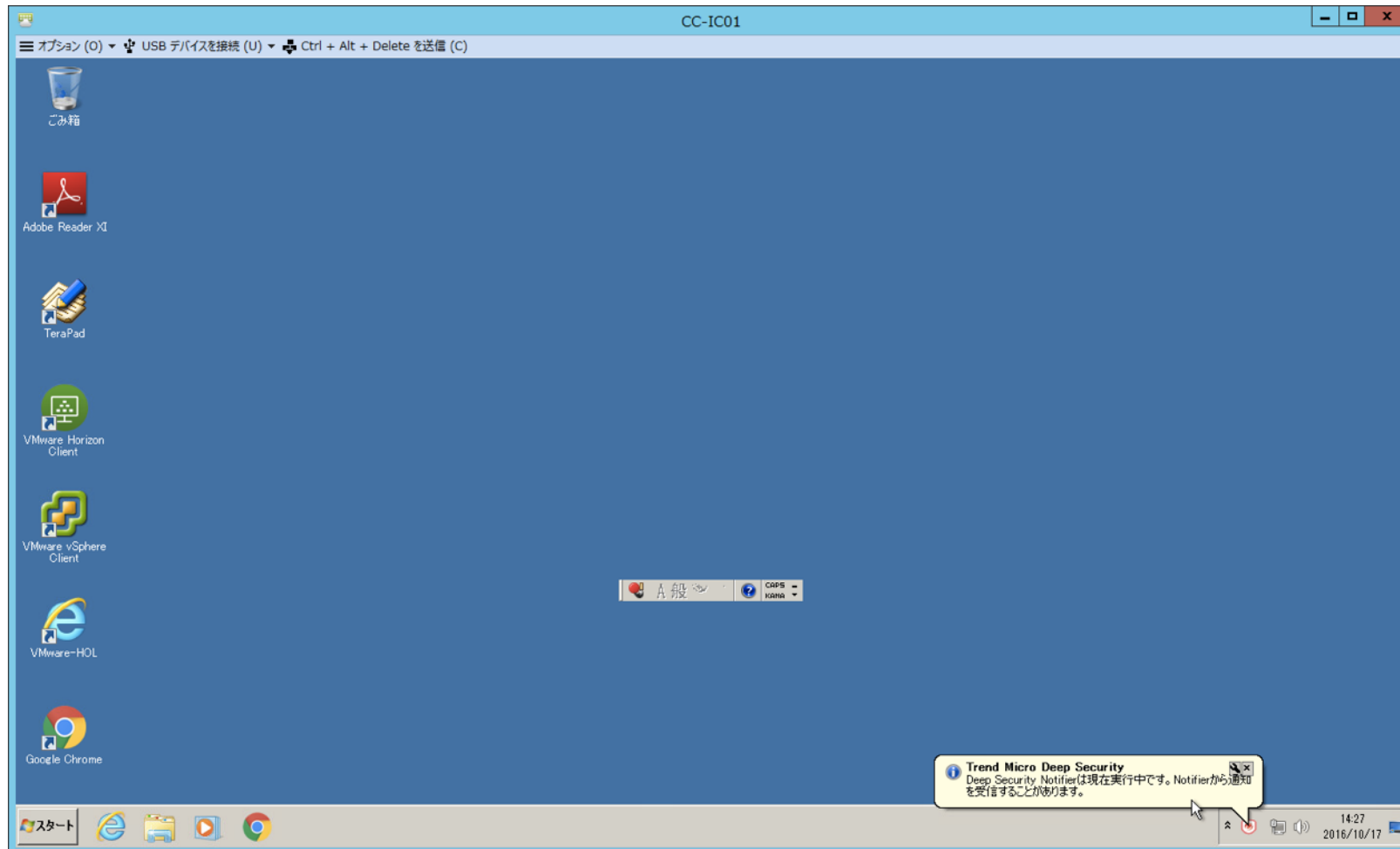
動作確認

以下の環境が、仮想デスクトップに準備されていること

- NSX File Introspection がインストールされていること
 - 「Appendix 2: NSX File Introspection インストール」 を参照願います。
- Deep Security Notifier がインストールされていること
 - 「Appendix 3: Notifier インストール」 を参照願います。
- 仮想デスクトップが Deep Security Manager 上で “管理対象（オンライン）” であること
 - 「NSX & Deep Security 連携設定」 を参照願います。

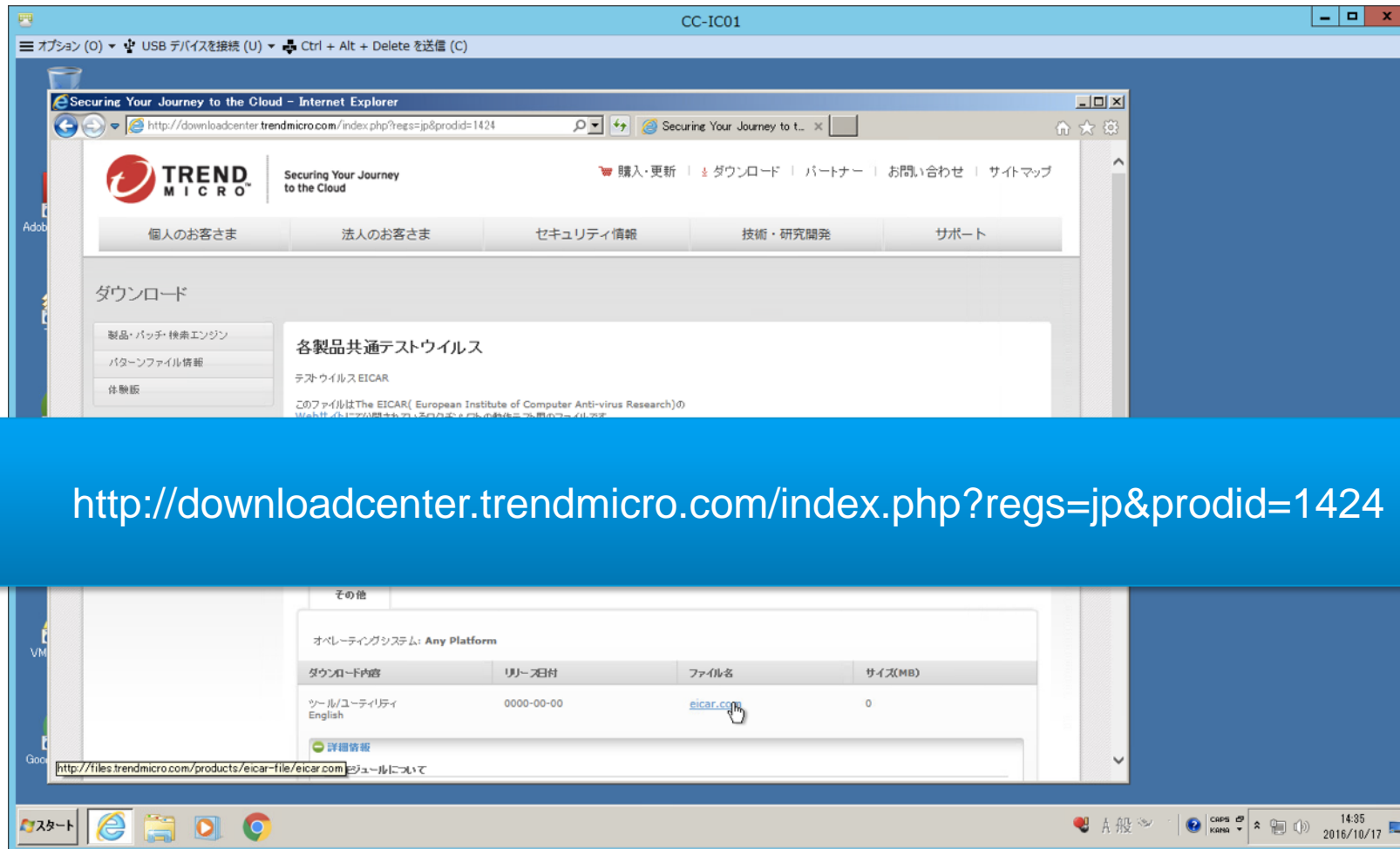
動作確認

仮想デスクトップにログインする



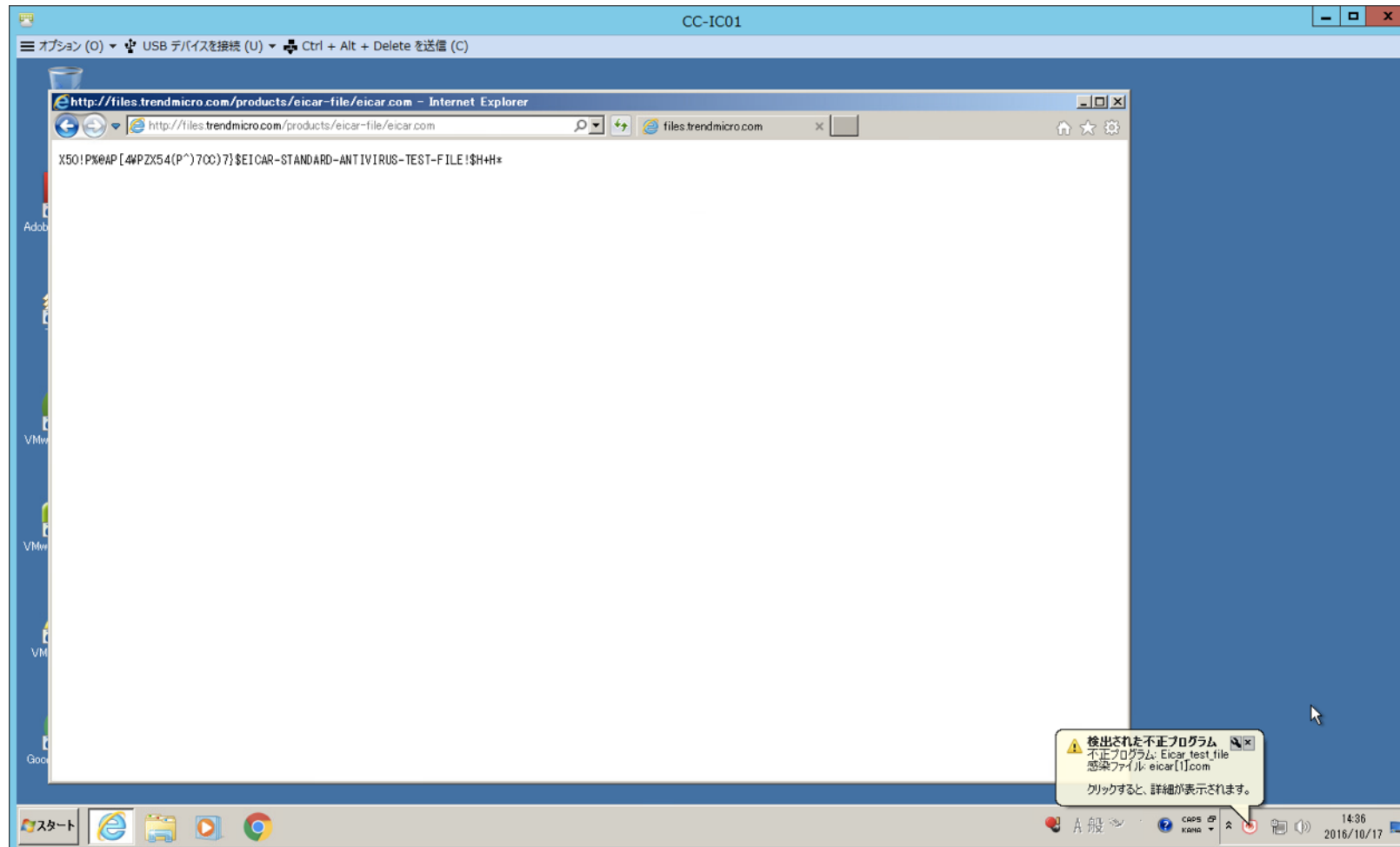
動作確認

テストファイルダウンロード



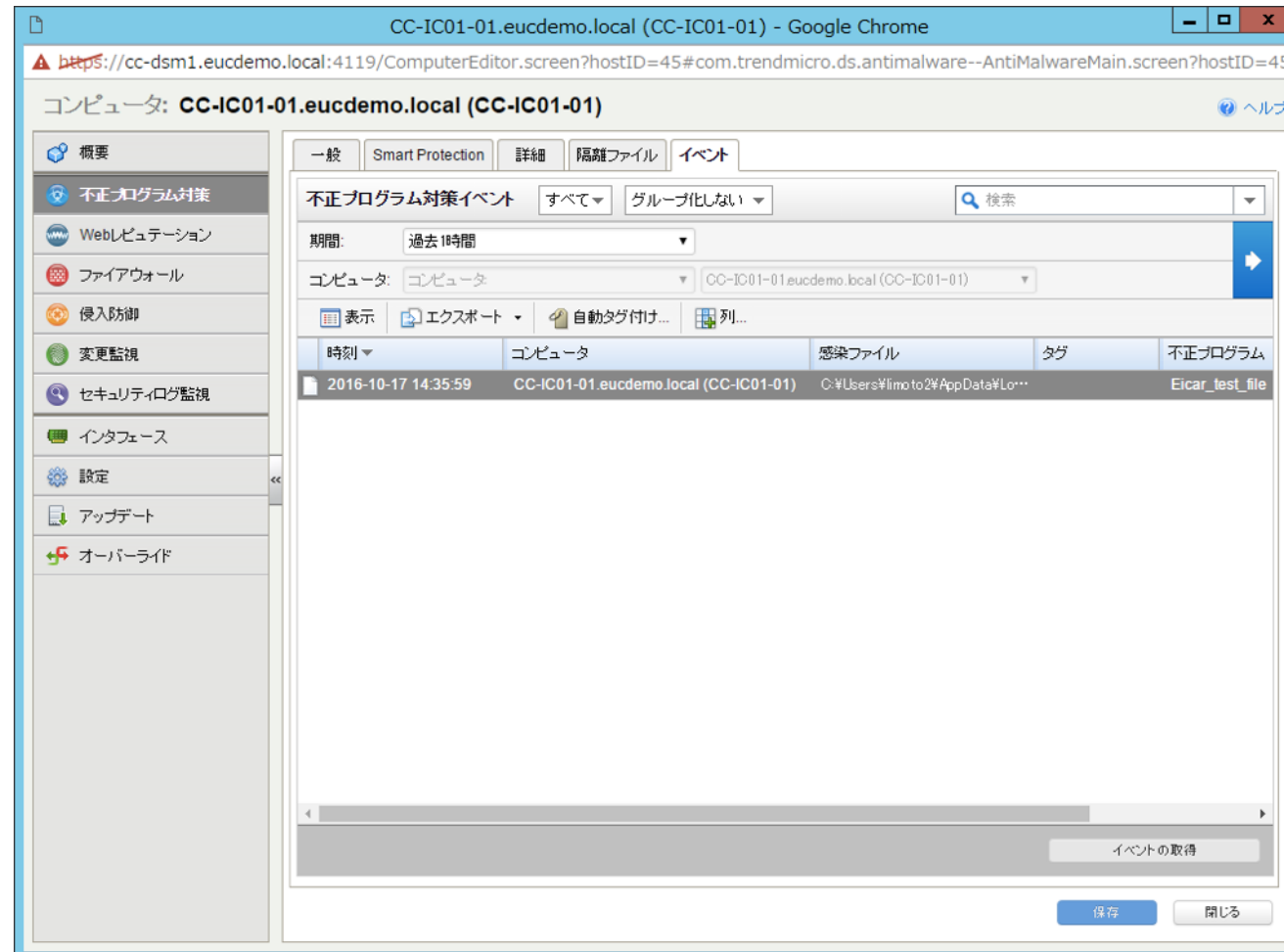
動作確認

Notifier によって不正プログラム検知通知がポップアップする



動作確認

(参考) DS Manager 側にて、該当VMのイベントを取得した状態



Appendix 1: モジュールの追加

ダウンロードモジュールが不足していた場合の対応

モジュールの追加

不足モジュールのダウンロード

Deep Security Virtual Appliance 9.5



Deep Security Virtual Appliance (以下、DSVA) 9.6 を使用する場合は、Deep Security Manager 9.6 に DSVA 9.5 (Build 2022) と Red Hat Enterprise Linux 6 (x64) の Deep Security Agent (以下、DSA) 9.6 パッケージをインポートし、DSVA 9.5 を配置後、有効化してください。有効化時に、DSVA 9.5 が DSA 9.6 によって DSVA 9.6 にアップグレードされます。

[他のバージョンを見る](#)

プロダクト・アップデート

Patch

オペレーティングシステム: Virtual Appliance

ダウンロード内容	リリース日付	ファイル名	サイズ(MB)
インストールプログラム Build: 2022.00 日本語版	2015-01-08	Appliance-ESX-9.5.2-2022.x86-64.zip Deep Security Virtual Appliance 9.5 (Build 2022)	548

詳細情報

このモジュールについて

ファイル名: Appliance-ESX-9.5.2-2022.x86_64.zip
SHA256 checksum: c659e8953a49a710c6a943a1c355a966856ba784bda9c4372d0c0e2c8caeb69a

VMware ESXi 5.x 用 Filter Driver については、[Patch] タブの [詳細情報] セクションから取得ください。

Deep Security Virtual Appliance 9.5 を最新バージョンにアップグレードする場合は以下モジュールが必要です。

- Deep Security Virtual Appliance 9.5 (Build 2022)
- 最新の Deep Security Agent 9.5 ([Patch] タブに公開されています。)
- 最新の Filter Driver ([Patch] タブに公開されています。)

Deep Security Virtual Appliance 9.6 にアップグレードする場合は以下モジュールが必要です。


- Deep Security Virtual Appliance 9.5 (Build 2022)
- 最新の Deep Security Agent 9.6 (Deep Security Virtual Appliance 9.6 に公開されています。)

インストールの注意事項

Deep Security Virtual Appliance (以下、DSVA) 9.5 には以下の問題が確認されています。本問題は、DSVA 9.5 Service Pack 1 Patch 1 (Build 4017) にて修正されていますので、DSVA 9.5 Service Pack 1 (Build 9.5.3.2754) 以下をご利用のお客さまは、DSVA 9.5 Service Pack 1 Patch 1 以降へアップグレードしてください。

モジュールの追加

管理 > アップデート > ソフトウェア > ローカル > インポート

 **Deep Security**

ダッシュボード アラート イベントとレポート コピュータ ポリシー **管理**

システム設定

予約タスク

イベントベースタスク

Managerノード

ライセンス

ユーザ管理

システム情報

アップデート

セキュリティ

ソフトウェア

ダウンロードセンター

ローカル

Relayグループ

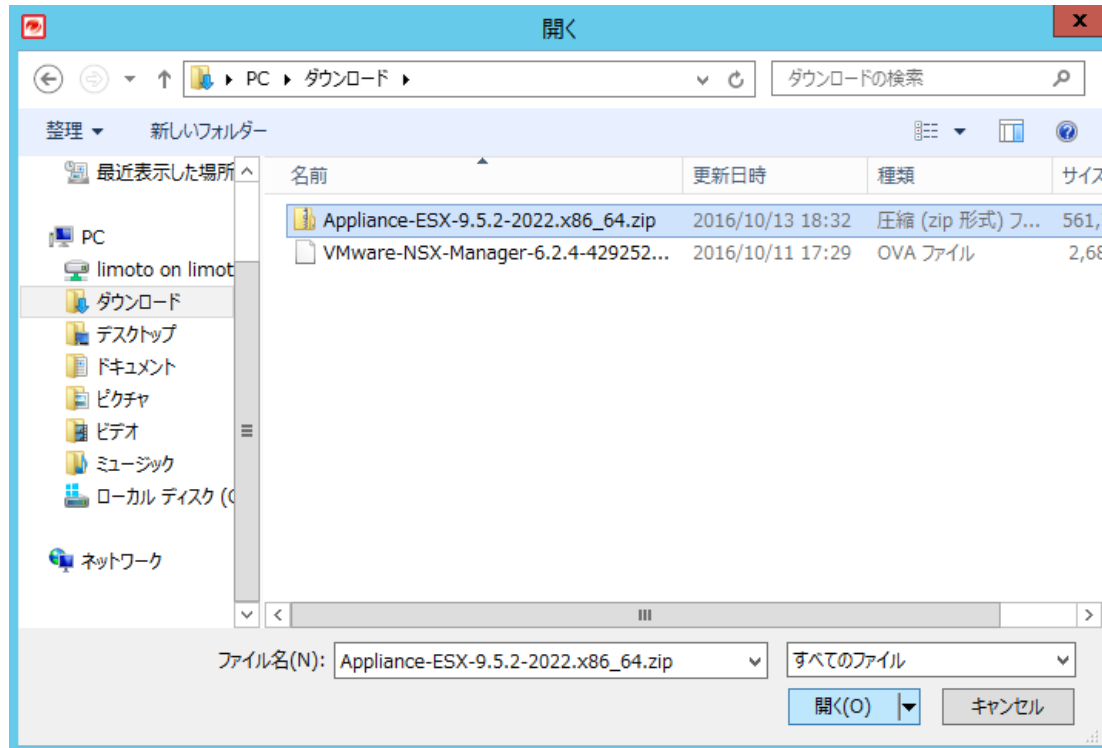
ローカルソフトウェア グループ化しない ▼

インポート... 削除... プロパティ... エクスポート ▼ インストールスクリプトの生成...

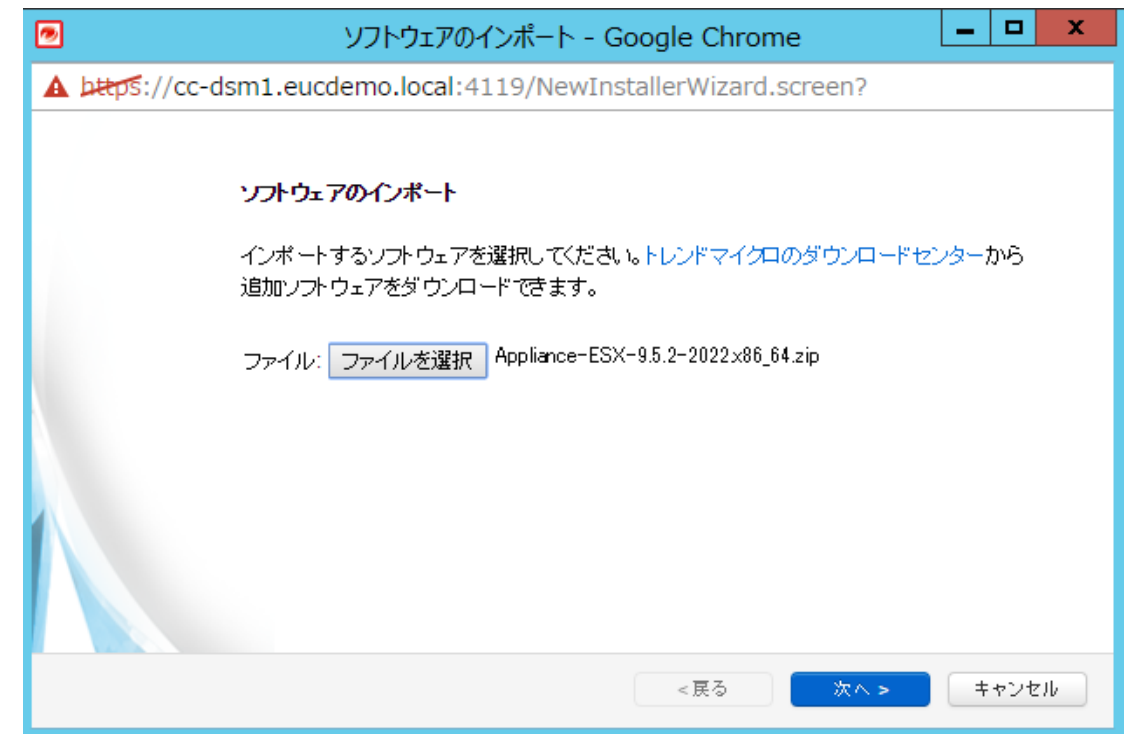
名前 ▲	インポート...	プラットフォーム	バージョン	最新版	インポート済み
Agent-RedHat_EL6-9.6.2-7314.x86_64.zip		Red Hat Enterprise 6 (64 bit)	9.6.2.7314	✓	2016-10-13 13:22
Agent-Windows-9.6.2-7256.i386.zip		Microsoft Windows (32 bit)	9.6.2.7256	✓	2016-10-13 13:22
Agent-Windows-9.6.2-7256.x86_64.zip		Microsoft Windows (64 bit)	9.6.2.7256	✓	2016-10-13 13:23
KernelSupport-RedHat_EL6-9.6.2-7494.x...		Red Hat Enterprise 6 (64 bit)	9.6.2.7494	✓	2016-10-13 13:25

モジュールの追加

モジュールの選択

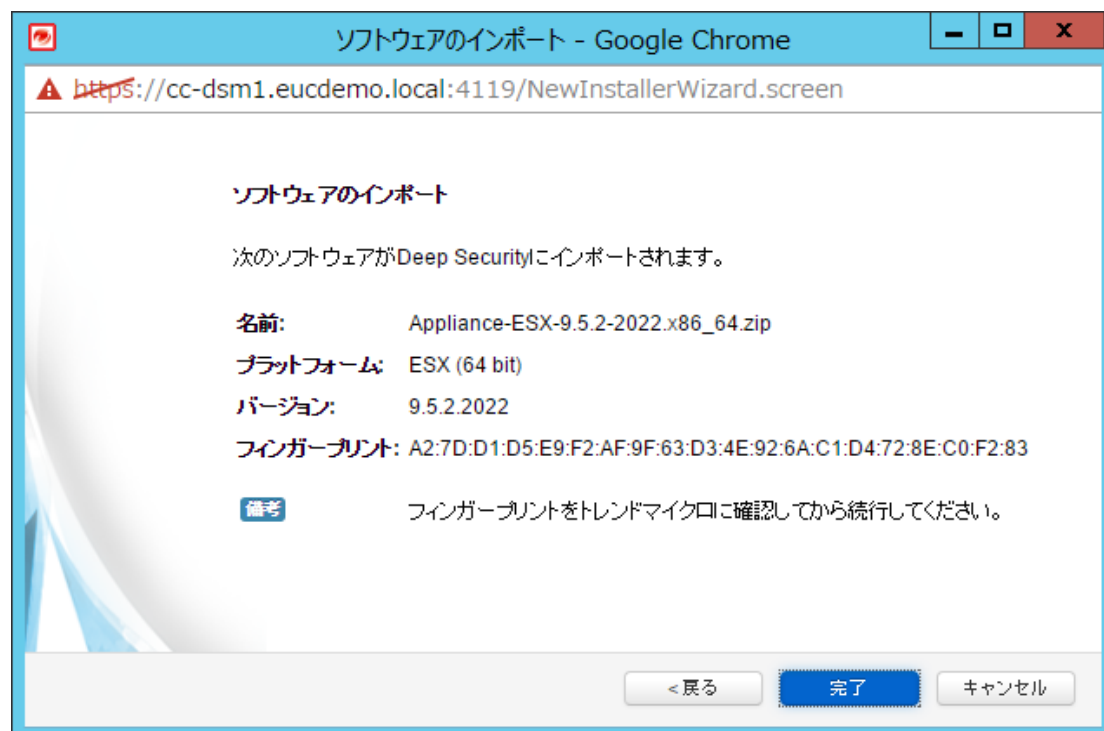


次へ

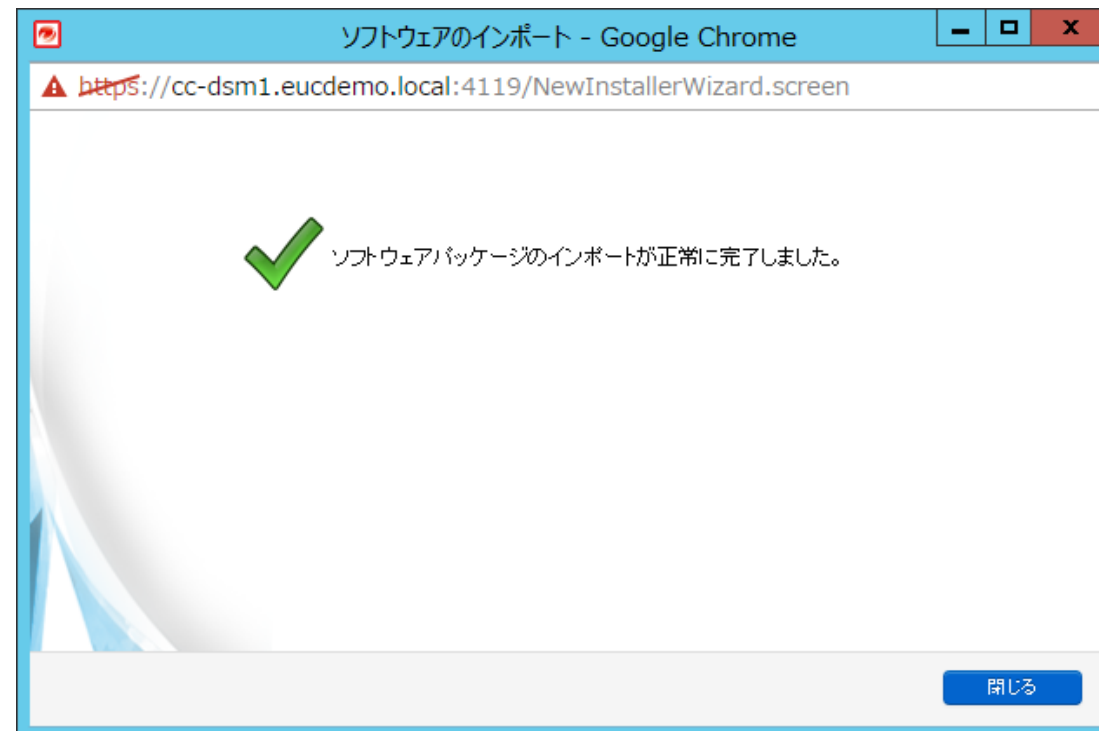


モジュールの追加

完了



閉じる



モジュールの追加

モジュールが追加されていることを確認

ダッシュボード

アラート

イベントとレポート

コンピュータ

ポリシー

管理

システム設定

予約タスク

イベントベースタスク

Managerノード

ライセンス

ユーザ管理

システム情報

アップデート

セキュリティ

ソフトウェア

ダウンロードセンター

ローカル

Relayグループ

ローカルソフトウェア

グループ化しない

インポート...

削除...

プロパティ...

エクスポート

インストールスクリプトの生成...

名前	プラットフォーム	バージョン	最新版	インポート済み
Agent-RedHat_EL6-9.6.2-7314.x86_64.zip	Red Hat Enterprise 6 (64 bit)	9.6.2.7314	✓	2016-10-13 13:22
Agent-Windows-9.6.2-7256.i386.zip	Microsoft Windows (32 bit)	9.6.2.7256	✓	2016-10-13 13:22
Agent-Windows-9.6.2-7256.x86_64.zip	Microsoft Windows (64 bit)	9.6.2.7256	✓	2016-10-13 13:23
Appliance-ESX-9.5.2-2022.x86_64.zip	ESX (64 bit)	9.5.2.2022	✓	2016-10-13 18:33
KernelSupport-RedHat_EL6-9.6.2-7494.x...	Red Hat Enterprise 6 (64 bit)	9.6.2.7494	✓	2016-10-13 13:25

Virtual Applianceソフトウェアの最新バージョンは9.5です。
Virtual Appliance 9.5をインポートすると、最新の9.6 Red Hat 6 Agentパッケージが自動的にインポートされます。このパッケージを使用して、Virtual Applianceの保護モジュールプラグインがバージョン9.6にアップグレードされます。
参考: Deep_Security_96_Install_Guide_nsx_JP.pdf (p.63)

Appendix 2: NSX File Introspection インストール

仮想デスクトップにNSX File Introspection インストール

NSX File Introspectionインストール

VMware Tools のインストール > 次へ

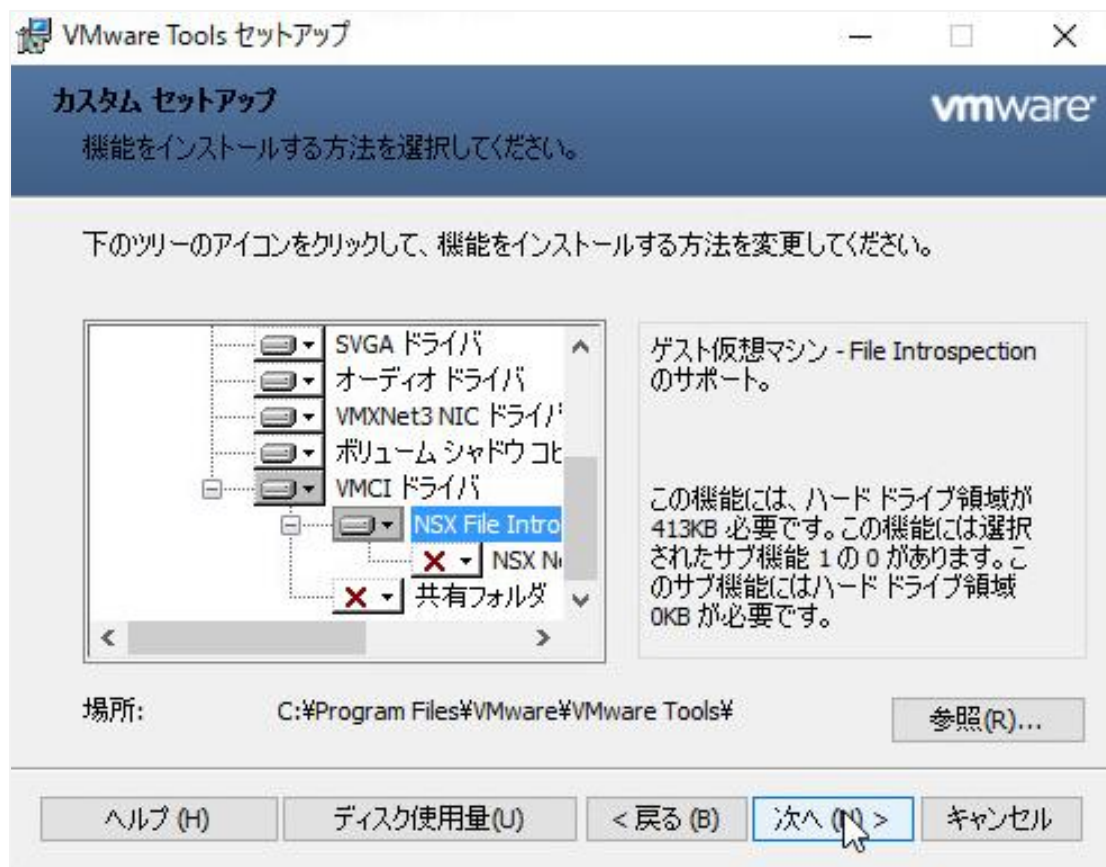


カスタム > 次へ

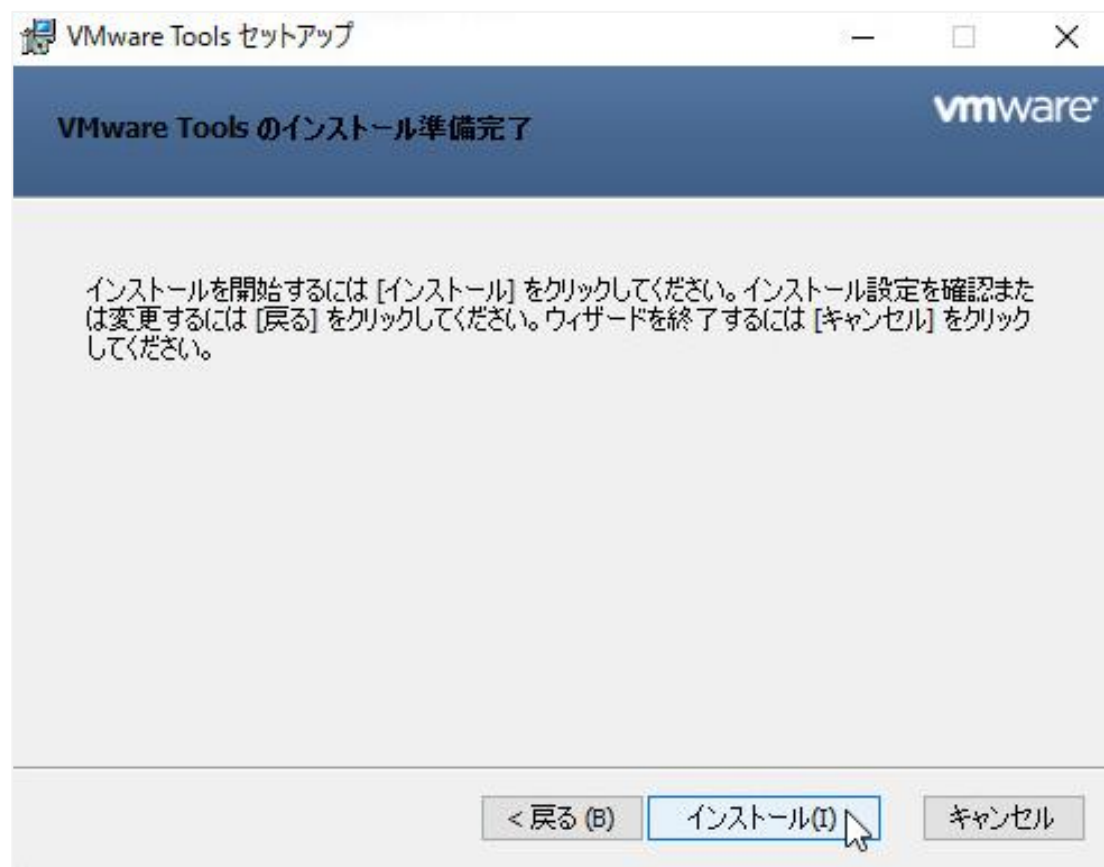


NSX File Introspectionインストール

NSX File Introspection を選択 > 次へ



インストール



Appendix 3: Notifier インストール

Notifier インストール

インストール

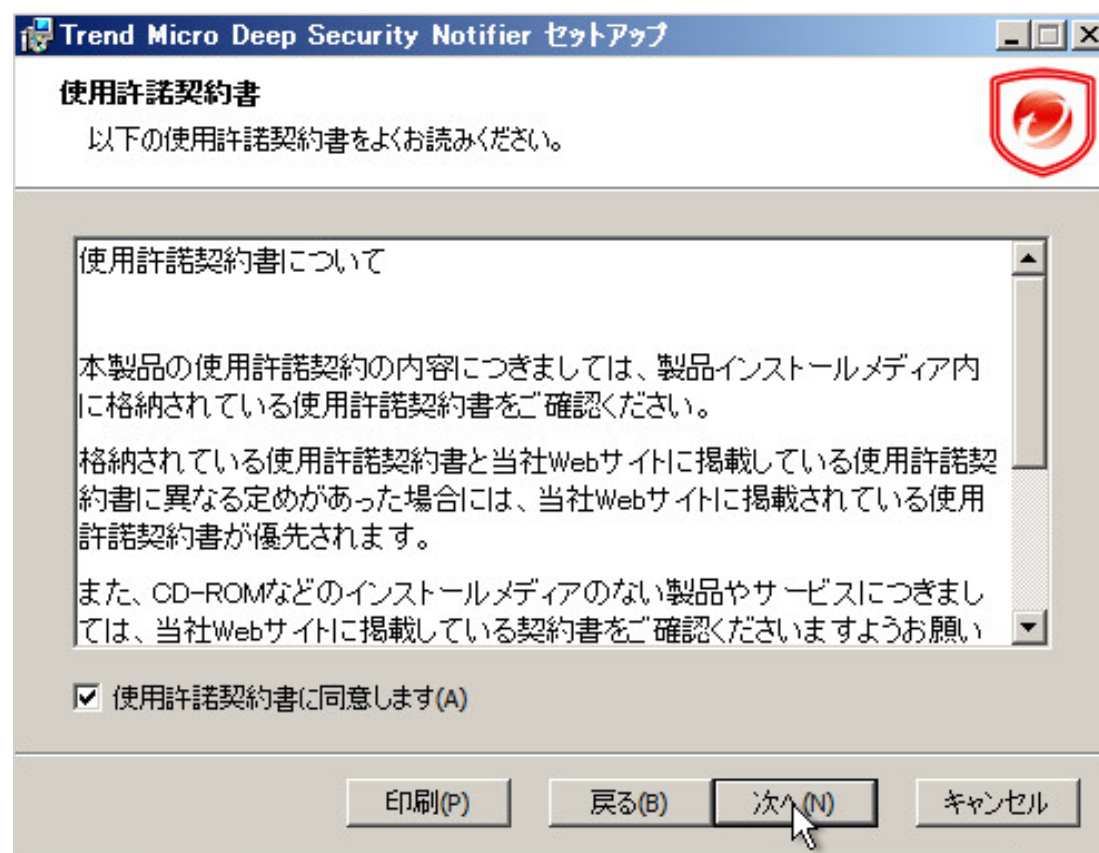


Notifier インストール

次へ



同意 > 次へ



Notifier インストール

インストール



完了



The bottom-left corner of the image features a series of overlapping geometric shapes. From the bottom-left, there is a dark green triangle, followed by a medium green triangle, then a light green triangle, and finally a light blue triangle extending towards the top-left. These shapes are layered, with the light blue triangle being the topmost layer in that area.

vmware®